

刈谷市  
子育て支援に関する  
アンケート調査結果報告書

令和6年3月

刈谷市



# 目次

---

---

<b>第1章 調査概要</b> .....	<b>1</b>
1 調査の目的.....	1
2 調査対象及び調査方法 .....	1
3 調査票の回収状況 .....	2
4 報告書の見方.....	2
5 調査結果の概略.....	3
<b>第2章 調査結果</b> .....	<b>7</b>
1 居住地域の状況について .....	7
2 対象の子どもと家族の状況について .....	9
3 子どもの育ちをめぐる環境について .....	13
4 保護者の就労状況について .....	20
5 平日の定期的な幼稚園や保育所などの利用状況について .....	32
6 地域の子育て支援事業の利用状況について .....	44
7 土曜・休日や長期休暇期間中の「定期的」な教育・保育事業の 利用希望について .....	48
8 病気の際の対応について .....	53
9 不定期の教育・保育事業や一時預かり等の利用について .....	61
10 就学前児童の小学校就学後及び小学生児童の放課後の過ごし方について.....	69
11 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について.....	82
12 刈谷市の子育てサービス、子育てに関連する分野の満足度について .....	93
13 子育て全般について.....	99
<b>第3章 自由意見</b> .....	<b>113</b>
1 就学前児童保護者 .....	113
2 小学生児童保護者 .....	120

## 第1章 調査概要

### 1 調査の目的

「市町村子ども計画」を策定するにあたって、刈谷市に在住する就学前・小学生の児童を持つ保護者の現状やニーズを把握し、施策の方向性の検討や、教育・保育事業の需要量の見込みを設定するうえでの基礎資料とするため、本調査を実施しました。

### 2 調査対象及び調査方法

#### ① 調査票「子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査（就学前児童用）」

	今回調査	前回調査
調査地域	刈谷市全域	刈谷市全域
調査対象者	刈谷市内在住の「就学前児童」の保護者	刈谷市内在住の「就学前児童」の保護者
標本数	2,000名	2,000名
標本抽出方法	住民基本台帳より無作為抽出	住民基本台帳より無作為抽出
調査期間	令和5年11月27日～12月22日	平成30年11月9日～11月30日
調査方法	郵送配布、回収については郵送及びWebアンケートを併用して実施	郵送による配布・回収
調査実施期間	刈谷市	刈谷市

#### ② 調査票「子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査（小学生用）」

	今回調査	前回調査
調査地域	刈谷市全域	刈谷市全域
調査対象者	刈谷市内在住の「小学生（1～3年生）児童」の保護者	刈谷市内在住の「小学生（1～3年生）児童」の保護者
標本数	1,000名	1,000名
標本抽出方法	住民基本台帳より無作為抽出	住民基本台帳より無作為抽出
調査期間	令和5年11月27日～12月22日	平成30年11月9日～11月30日
調査方法	郵送配布、回収については郵送及びWebアンケートを併用して実施	郵送による配布・回収
調査実施期間	刈谷市	刈谷市

### 3 調査票の回収状況

調査対象者	配布数（人）	回収数（人）	回収率（％）
今回調査	3,000	1,575	52.5
就学前児童の保護者	2,000	1,025	51.3
小学生の保護者	1,000	550	55.0
前回調査	3,000	2,076	69.2
就学前児童の保護者	2,000	1,377	68.9
小学生の保護者	1,000	699	69.9

### 4 報告書の見方

- グラフ・表中の「n」はアンケートの有効回収数を示しています。
- 比率はすべて百分率（％）で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。従って、合計が100.0%にならない場合もあります。
- 基数となるべき実数は、件数またはnとして掲載しました。比率は、この件数を100%として算出しています。
- 複数回答の場合、回答の合計比率が100.0%を超える場合があります。
- 本報告書の表の見出し及び文章中での回答選択肢の表現は、趣旨が変わらない程度に簡略化して掲載している場合があります。
- 報告書上の表記で、“就学前”は就学前の児童を持つ保護者、“小学生”は小学生の児童を持つ保護者を意味しています。
- 基数（件数・n）が少数のものについては、比率が拡大され有意差が生じやすいため、分析結果では基本的にふれないものとししました。

## 5 調査結果の概略

### (1) 家族の状況・子どもの育ちをめぐる環境について

子育て（教育を含む）を主に行っている人についてみると、就学前・小学生ともに「父母ともに」が半数以上と最も多く、次いで「主に母親」がともに4割弱となっています。

また、就学前・小学生ともに、子どもをみてもらえる親族・知人の状況は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が5割以上となっており、祖父母等の親族を始め何らかの支援が受けられる状況にある人が多い結果となっています。その一方で、子どもをみてもらえる親族・知人が「いずれもない」との回答も2割弱います。

### (2) 保護者の就労状況について

保護者の就労状況についてみると、産前産後休暇（以下「産休」という）・育児休業（以下「育休」という）・介護休業中も含め母親が就労している（フルタイム・パート・アルバイト等）割合は、就学前で70.0%、小学生で74.9%となっています。前回調査では、就学前で55.0%、小学生で71.0%となっており、就労している人が増えています。

現在未就労である母親のうち、今後就労希望がある割合は、就学前・小学生いずれも7割程度となっており、1年以内の就労を希望する母親の就労形態は、ほとんどが「パートタイム、アルバイト等」で週3～4日、1日4～5時間の就労を希望しています。

### (3) 平日の定期的な教育・保育事業の利用について

就学前の定期的な教育・保育事業の利用についてみると、全体の68.8%が「利用している」と回答しています。前回調査の64.8%よりも4.0ポイント増加しており、今後も母親の就労が増加すると、教育・保育事業の利用も増えていくことが予想されます。

現在利用している教育・保育事業としては、「認可保育所」（42.8%）、「認定こども園」（22.1%）が多くなっています。また、利用したいと考える教育・保育事業についても、「認可保育所」（49.2%）、「認定こども園」（38.2%）と「幼稚園+幼稚園の預かり保育」（36.2%）が多くなっています。

現在教育・保育事業を利用していない理由として、「子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で利用する必要がない」が64.9%と最も高く、次いで「子どもがまだ小さいため」が28.5%、「利用したいが、幼稚園や保育所などに空きがない」が13.6%となっています。

#### (4) 地域の子育て支援事業の利用について

地域子育て支援拠点事業の利用状況については「利用していない」が7割強、利用希望についても「新たに利用したり、利用日数を増やしたいと思わない」が7割強となっています。

前回調査との比較においても、利用状況及び利用日数のいずれも減少しています。

#### (5) 土曜・休日や長期休暇期間中の教育・保育事業の利用について

土曜・休日の教育・保育事業については、「ほぼ毎週（毎回）利用したい」との回答が土曜日で4.0%、日曜日で1.1%、祝日で16.9%となっています。

また、夏休み・冬休み・春休みの長期休暇期間中の教育・保育事業の利用については、「休みの期間中、週に数日利用したい」が38.9%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が23.6%と、合わせて6割以上が利用を希望しています。

#### (6) 子どもが病気の際の対応について

就学前では86.8%、小学生では85.6%の人が、子どもが病気やケガで普段利用している事業が利用できなかったことや学校を休まなければならなかった状況が「あった」と回答しており、その際の対応については、就学前・小学生ともに「母親が休んだ」と回答した人が多くなっています。

子どもが病気やケガの際の対応として父親や母親が休んだ人のうち、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思った人は、就学前で37.2%、小学生で14.0%となっており、小学生よりも就学前で利用希望が高くなっています。

一方、「利用したいとは思わない」は、就学前では6割以上、小学生では8割以上となっており、その理由としては「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」や「親が仕事を休んで対応する」が主となっています。

#### (7) 不定期の教育・保育事業や一時預かり等の利用について

就学前について、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的でその都度利用している事業については、84.1%が「利用していない」と回答しています。

このような不定期な事業の利用希望については、「利用する必要はない」が就学前で55.6%、小学生で69.8%となっています。一方、「利用したい」は就学前で42.5%、小学生で28.2%となっており、就学前で利用希望が高くなっています。

また、子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならない場合における、短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用希望は、就学前・小学生ともに「利用する必要はない」が9割程度を占め、「利用したい」は1割未満となっています。

## (8) 放課後の過ごし方について

小学校低学年時期の放課後の過ごし方の希望（小学生は実際の過ごし方）をみると、「自宅」（就学前：54.2%、小学生：74.5%）や「習い事」（就学前：48.2%、小学生：53.6%）、「放課後児童クラブ」（就学前：57.4%、小学生：29.8%）が多くなっています。前回調査との比較においては、就学前・小学生ともに「習い事」が減少し、「放課後児童クラブ」が増加しています。

小学校高学年時期の放課後の過ごし方の希望についても、就学前・小学生ともに「自宅」と「習い事」が多くなっています。前回調査との比較においては、就学前・小学生ともに「習い事」が減少し、「自宅」が増加しています。

## (9) 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

就学前について、育児休業の取得状況をみると、「取得した（取得中である）」は、母親では54.8%、父親では17.6%となり、前回調査より取得している人が多くなっています。

取得者は増えているものの、父親では「取得していない」が8割程度を占め、取得していない理由としては、「仕事が忙しかった」（51.0%）、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」（45.1%）が上位となっています。

育児休業を取得した母親のうち、65.5%は育児休業取得後、職場に復帰しています。育児休業の実際の取得期間としては「1歳～1歳6か月未満」が多いものの、勤め先に3歳まで休暇を取得できる制度があった場合は「3歳～3歳6か月未満」（47.3%）までの休暇を希望する人が多くなっています。

## (10) 子育てサービス、子育てに関連する分野の認知度・満足度について

刈谷市の子育てサービスの認知度は、18項目中3項目で9割以上、4項目で6割以上となっています。

満足度をみると、18項目中16項目で「満足（満足+やや満足）」が5割以上となっており、満足している人が多い状況です。

利用する・しないは個別の状況等であるものの、サービス等の認知度を上げることが重要です。

## (11) 子育て全般について

親族との状況をみると、「近距離」（「同居」+「同敷地内で別居（二世帯住宅を含む）」+「徒歩圏内」+「車や電車を使って30分以内のところ」）に『自分の父母』がいる方は就学前・小学生ともに4割強、『配偶者の父母』がいる方は就学前・小学生ともに3割強となっています。

実際に持つ予定の子どもの数は、就学前・小学生ともに「2人」（60.4%・54.7%）が最も高く、次いで「3人」（20.8%・25.6%）となっています。



また、前回調査と比較すると、3人以上を予定している方は、就学前・小学生ともに増加しています。

刈谷市の子育て施策の満足度は、“満足している”（「満足している」＋「やや満足している」）は、就学前では53.7%、小学生では44.9%となっています

一方、“不満がある”（「やや不満がある」＋「不満がある」）は、就学前では14.2%、小学生では12.7%となっています。

## 第2章 調査結果

## 1 居住地域の状況について

## (1) 居住地区

問 お住まいの小学区はどこですか。(就学前)

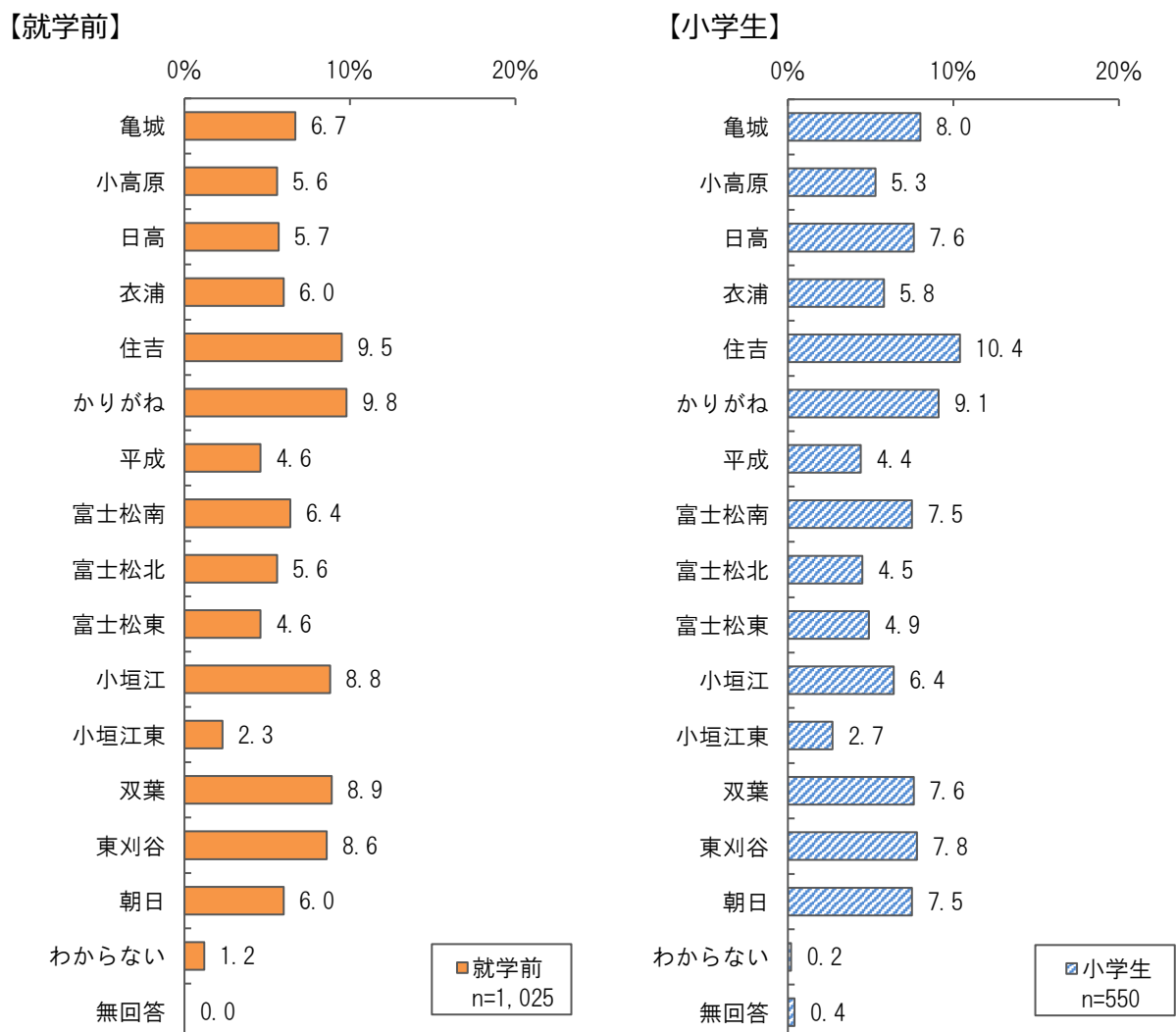
あて名のお子さんが通っている小学校はどこですか。(小学生)

【就学前：問1、小学生：問1】

○回答者の居住地区は、就学前では「かりがね」(9.8%)が最も高く、次いで「住吉」(9.5%)、「双葉」(8.9%)、「小垣江」(8.8%)となっています。

○小学生では「住吉」(10.4%)が最も高く、次いで「かりがね」(9.1%)、「亀城」(8.0%)、「東刈谷」(7.8%)となっています。

図表1 居住地区 <単数回答>



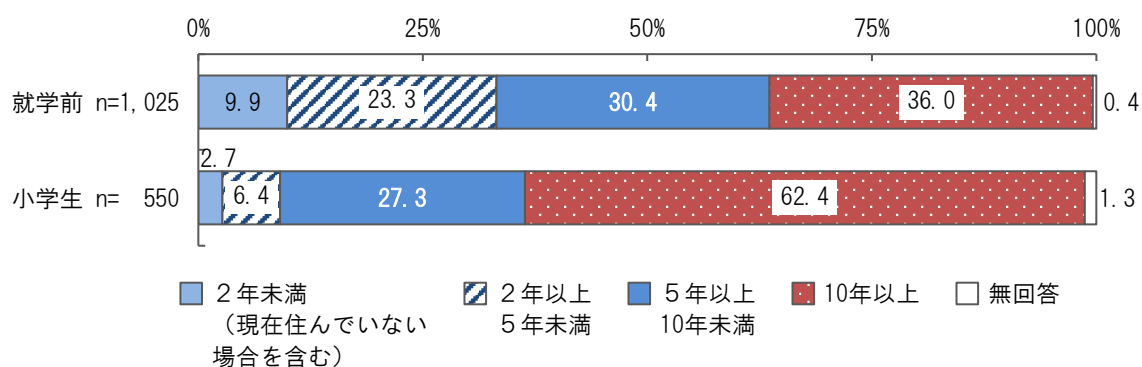
## (2) 保護者の刈谷市在住期間

問 保護者の方の刈谷市在住期間(令和5年11月1日現在)はどのくらいですか。  
【就学前：問2、小学生：問2】

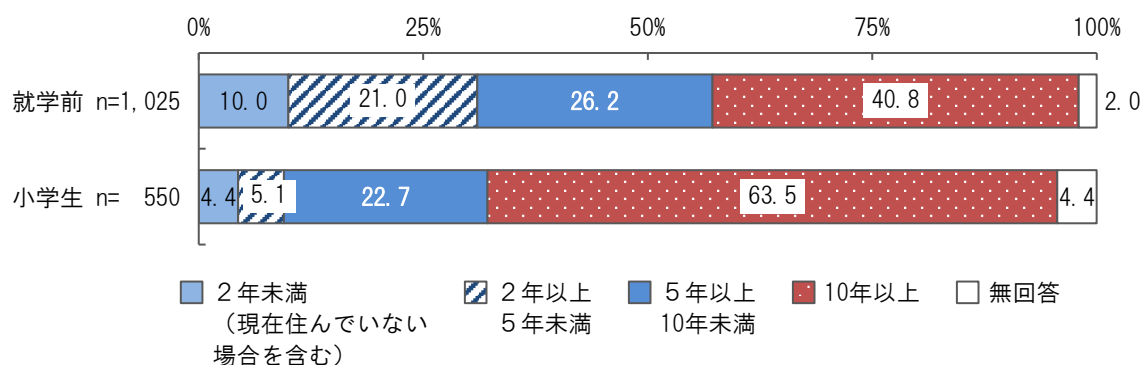
- 母親の刈谷市在住期間をみると、就学前では「10年以上」が36.0%と最も高く、次いで「5年以上10年未満」(30.4%)となっています。  
また、小学生でも「10年以上」が62.4%と最も高く、次いで「5年以上10年未満」(27.3%)となっています。
- 父親の刈谷市在住期間をみると、就学前では「10年以上」が40.8%と最も高く、次いで「5年以上10年未満」(26.2%)となっています。  
また、小学生でも「10年以上」が63.5%と最も高く、次いで「5年以上10年未満」(22.7%)となっています。

図表2 保護者の刈谷市在住期間 &lt;単数回答&gt;

## 【母親】



## 【父親】



## 2 対象の子どもと家族の状況について

### (1) 対象の子どもの年齢

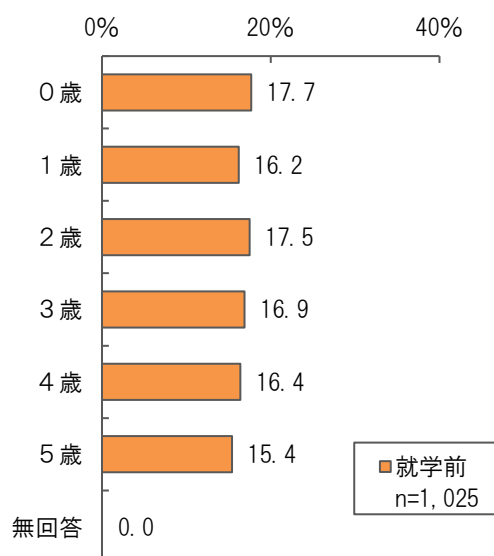
問 あて名のお子さんの生年月をご記入ください。

【就学前：問3、小学生：問3】

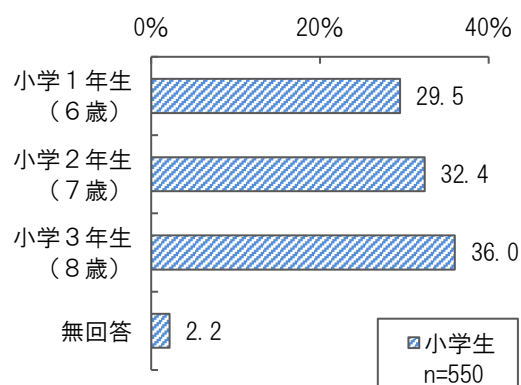
- 対象の子どもの年齢は、就学前ではすべての年齢でほぼ均等な回答となっています。
- 小学生ではいずれの学年（年齢）も3割前後となっていますが、「3年生（8歳）」の割合が36.0%とやや高くなっています。

図表3 対象の子どもの年齢 <数量回答>

#### 【就学前】



#### 【小学生】



(2) 子どもの人数・末子の年齢

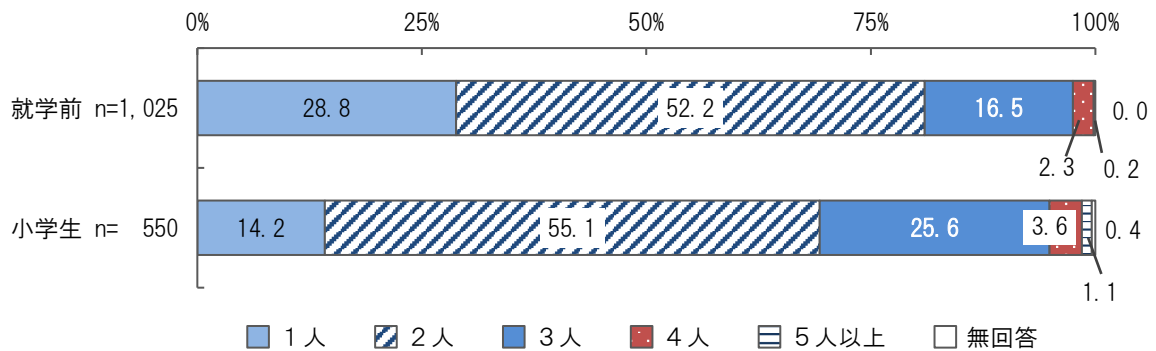
問 お子さんは何人いますか。あて名のお子さんを含めた人数をご記入ください。  
また、2人以上のお子さんがある場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

【就学前：問4、小学生：問4】

○子どもの人数は、就学前では「2人」が52.2%と最も高く、次いで「1人」(28.8%)、「3人」(16.5%)となっています。

また、小学生では「2人」が55.1%と最も高く、次いで「3人」(25.6%)、「1人」(14.2%)となっています。

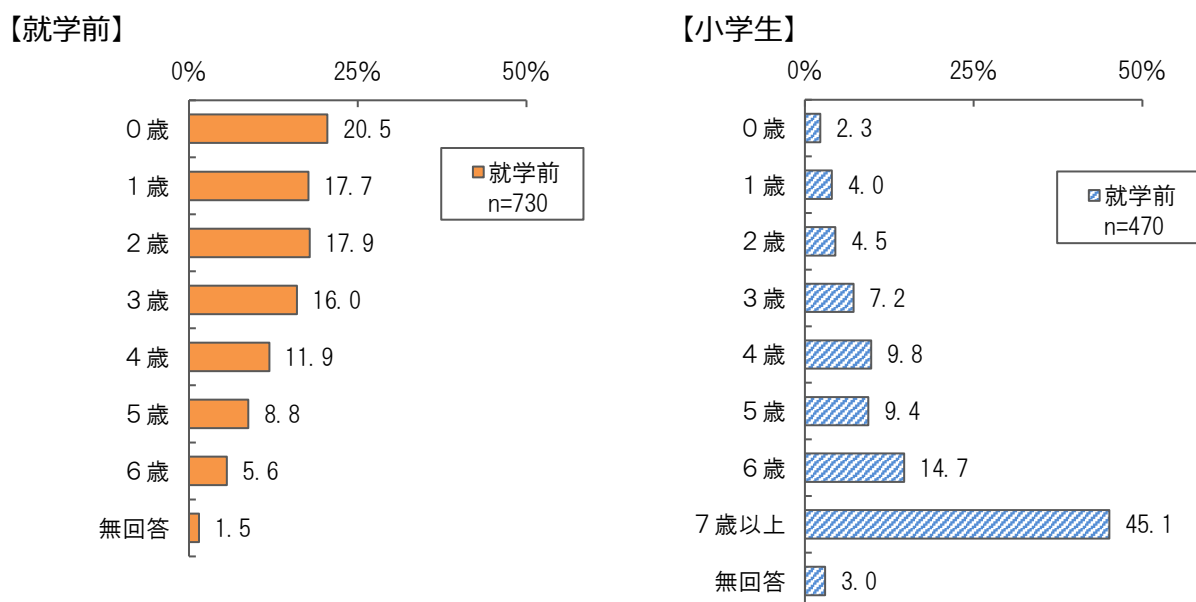
図表4 子どもの人数 (対象の子どもを含めた数) <数量回答>



○末子の年齢は、就学前では「0歳」が20.5%と最も高く、次いで「2歳」(17.9%)、「1歳」(17.7%)となっています。

○小学生では「7歳以上」が45.1%と最も高くなっています。

図表5 末子の年齢 <数量回答>



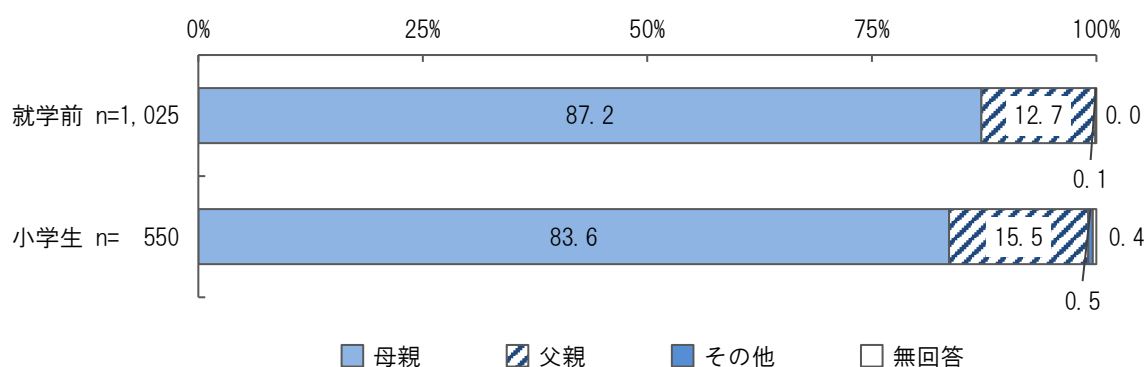
## (3) 調査票の回答者

問 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。

【就学前：問5、小学生：問5】

○調査票の回答者は、就学前・小学生ともに「母親」(87.2%・83.6%)が8割以上となっています。

図表6 調査票の回答者 <単数回答>



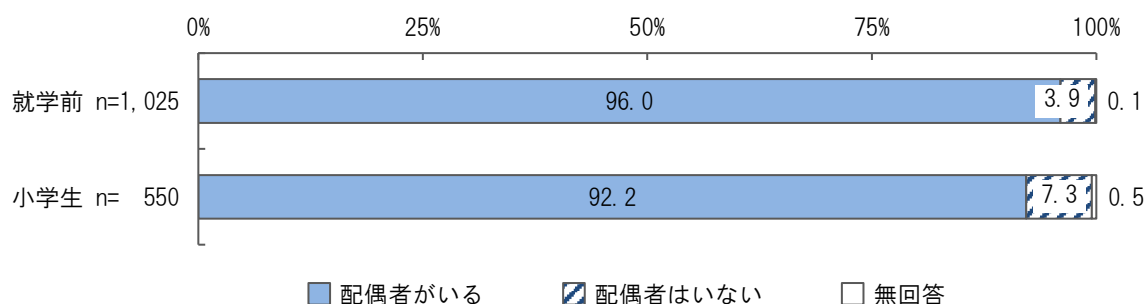
## (4) 回答者の配偶関係

問 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。

【就学前：問6、小学生：問6】

○回答者の配偶関係は、就学前・小学生ともに「配偶者がいる」(96.0%・92.2%)が9割以上となっています。

図表7 回答者の配偶関係 <単数回答>



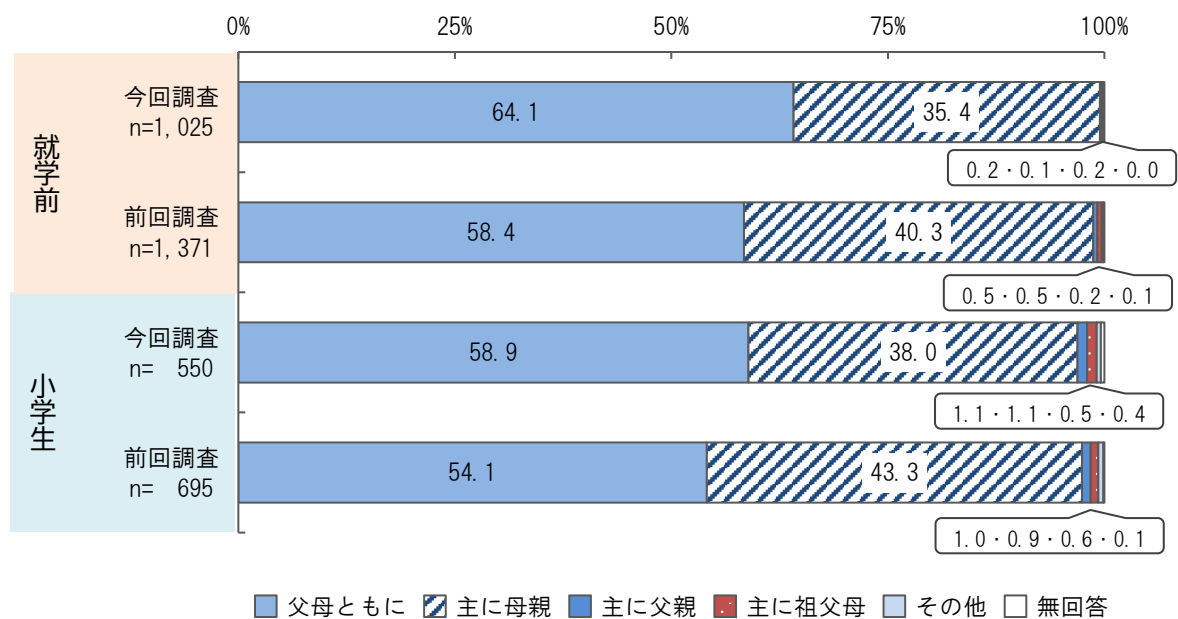
## (5) 子育てや教育を主に行っている方

問 あて名のお子さんの子育てや教育を主に行っているのはどなたですか。

【就学前：問7、小学生：問7】

- 子育てや教育を主に行っている方は、就学前・小学生ともに「父母ともに」（64.1%・58.9%）が最も高く、次いで「主に母親」（35.4%・38.0%）となっています。
- 前回調査と比較すると、就学前・小学生ともに「主に母親」は減少し、「父母ともに」は増加しています。

図表8 子育てや教育を主に行っている方 <単数回答>※前回調査比較



### 3 子どもの育ちをめぐる環境について

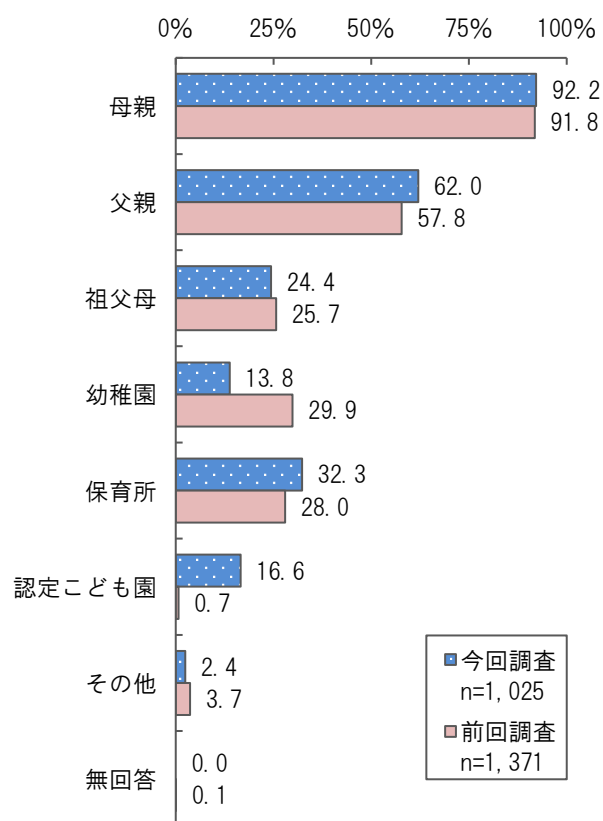
#### (1) 子育てや教育に日常的に関わっている方

問 あて名のお子さんの子育てや教育に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。

【就学前：問8】

- 子育てや教育に日常的に関わっている方は、「母親」が92.2%を占め最も高く、次いで「父親」(62.0%)、「保育所」(32.3%)となっています。
- 前回調査と比較すると、公立幼稚園が幼児園(認定こども園)に移行したことにより、「認定こども園」は15.9ポイント高くなっています。

図表9 子育てや教育に日常的に関わっている方 <複数回答> ※前回調査比較





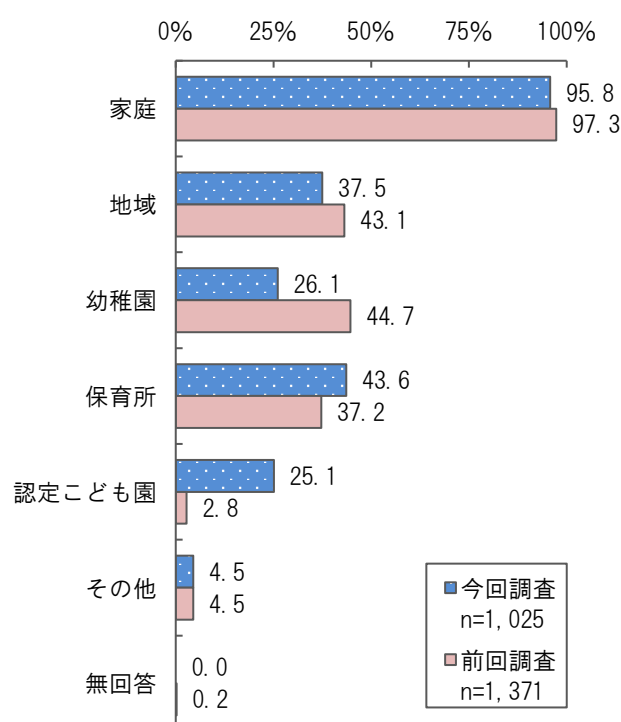
## (2) 子育てや教育に影響する環境

問 あて名のお子さんの子育てや教育に、影響すると思われる環境はどれですか。

【就学前：問9】

- 子育てや教育に影響すると思う環境は、「家庭」が95.8%を占め最も高く、次いで「保育所」(43.6%)、「地域」(37.5%)となっています。
- 前回調査と比較すると、公立幼稚園が幼児園(認定こども園)に移行したことにより、「幼稚園」が18.6ポイント低くなり、「認定こども園」は22.3ポイント高くなっています。

図表10 子育てや教育に影響する環境 <複数回答> ※前回調査比較



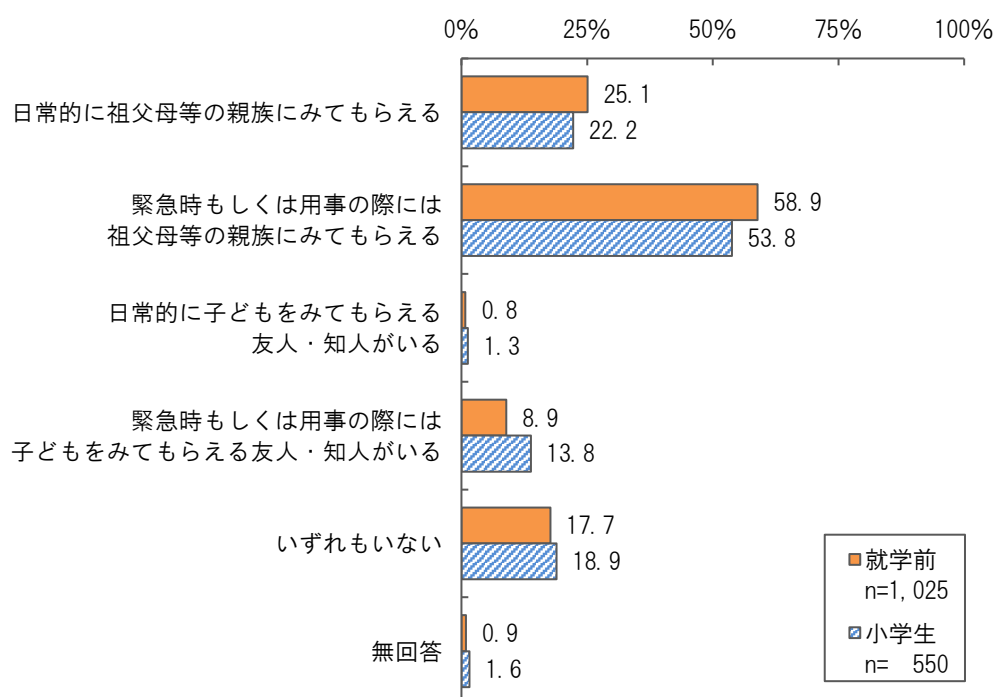
## (3) 子どもをみてもらえる親族・知人の有無

問 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。

【就学前：問10、小学生：問8】

○子どもをみてもらえる親族・知人の有無をみると、就学前・小学生ともに「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」(58.9%・53.8%)が最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(25.1%・22.2%)となっています。一方、「いずれもない」は就学前では17.7%、小学生では18.9%となっています。

図表11 子どもをみてもらえる親族・知人の有無 <複数回答>



## (4) 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況

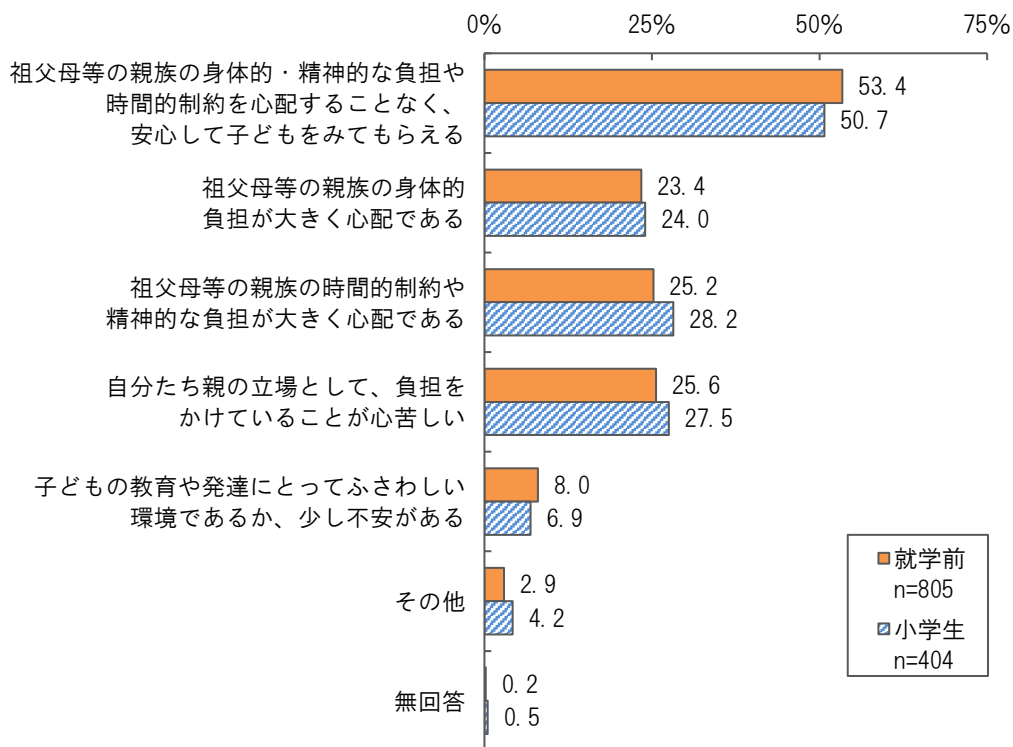
『(3) 子どもをみてもらえる親族・知人の有無』で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」を回答した方のみ

問 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

【就学前：問10-1、小学生：問8-1】

- 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況については、就学前・小学生ともに「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」(53.4%・50.7%)が最も高く、次いで、就学前では「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(25.6%)、小学生では「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」(28.2%)となっています。

図表12 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況 <複数回答>



## (5) 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況

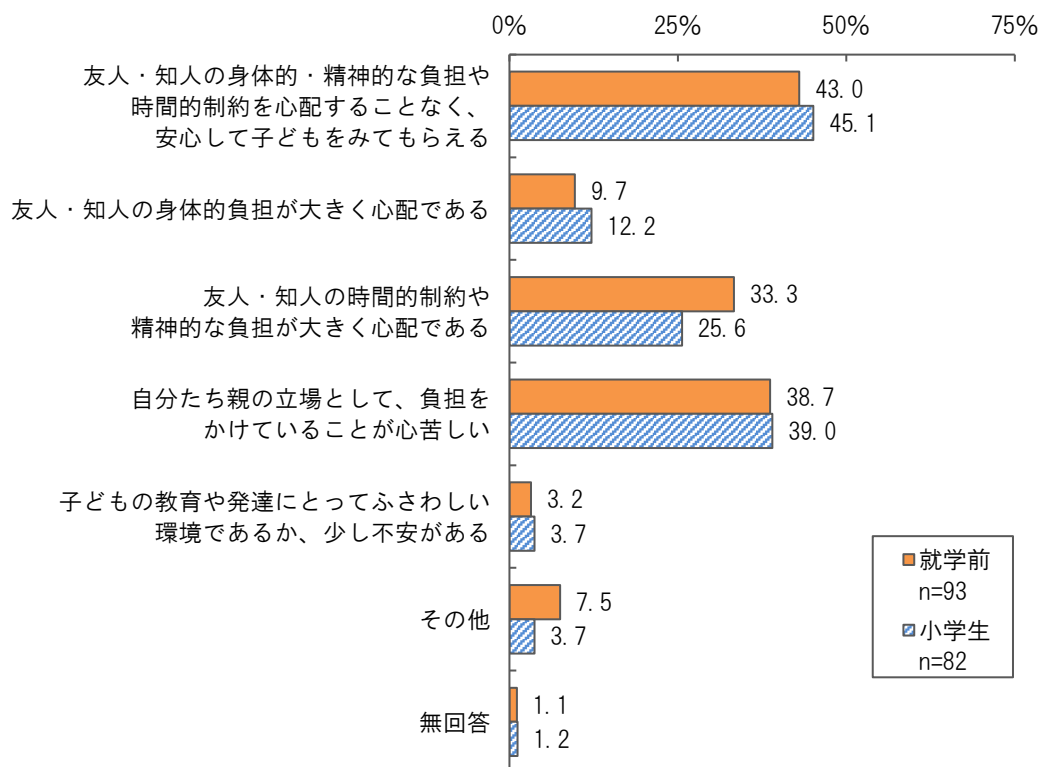
『(3) 子どもをみてもらえる親族・知人の有無』で「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」または「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」を回答した方のみ

問 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

【就学前：問10-2、小学生：問8-2】

○友人・知人にお子さんをみてもらっている状況については、就学前・小学生ともに「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」（43.0%・45.1%）が最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」（38.7%・39.0%）となっています。

図表13 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況 <複数回答>



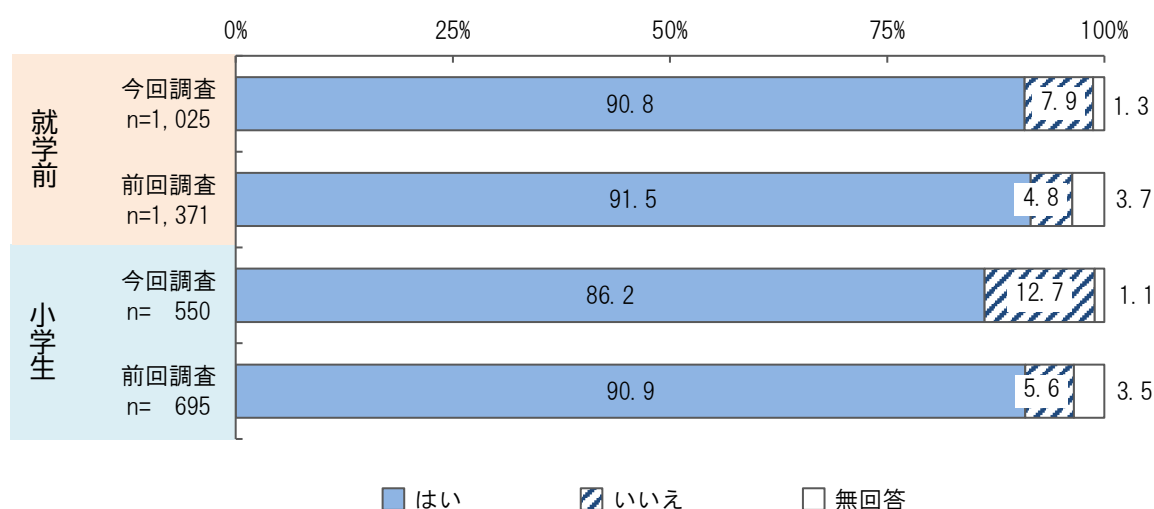
## (6) 子育てや教育に関して相談できる人や場所の有無

問 お子さんの子育てや教育をする上で、気軽に相談できる人や場所はありますか。

【就学前：問11、小学生：問9】

- 子育てや教育に関して相談できる人や場所の有無をみると、「はい」（相談できる人がいる・場所がある）は、就学前では90.8%、小学生では86.2%となっています。
- 前回調査と比較すると、大きな変化はみられないものの、小学生では「いいえ」（相談できる人がいない・場所がない）が7.1ポイント高くなっています。

図表14 子育てや教育に関して相談できる人や場所の有無 <単数回答> ※前回調査比較



## (7) 相談先

『(6) 子育てや教育に関して相談できる人や場所の有無』で「はい」と回答した方のみ

問 お子さんの子育てや教育に関して、気軽に相談できる人や場所は誰(どこ)ですか。

【就学前：問11-1、小学生：問9-1】

○相談できる人がいる・場所があると回答した方の相談先をみると、就学前では「祖父母等の親族」が82.0%と最も高く、次いで「友人・知人」(73.4%)、「園の先生」(43.6%)となっています。

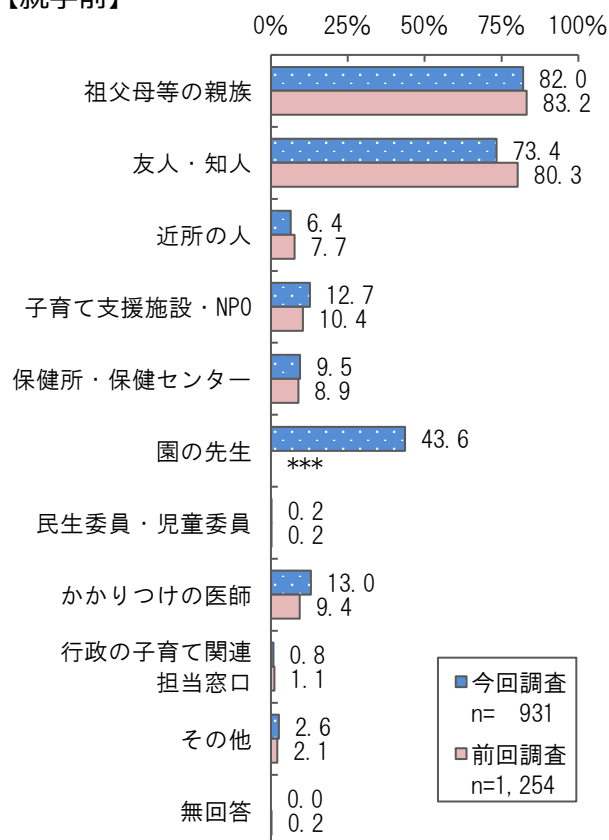
また、前回調査と比較すると、「友人・知人」は6.9ポイント低く、「かかりつけの医師」は3.6ポイント高くなっています。

○小学生では、「友人・知人」が77.4%と最も高く、次いで「祖父母等の親族」(73.6%)、「小学校の先生」(24.7%)となっています。

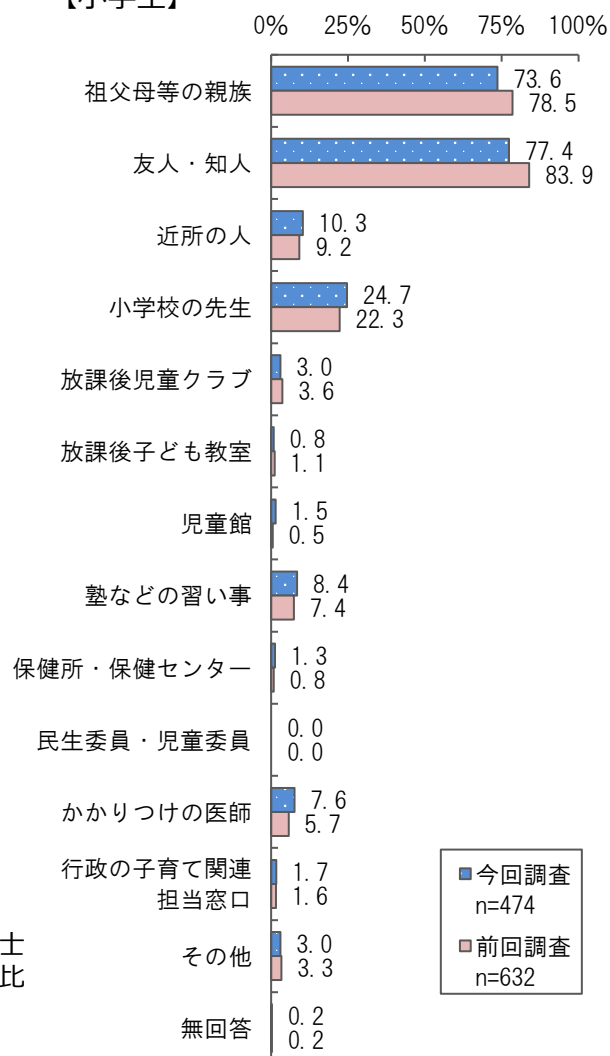
また、前回調査と比較すると、「友人・知人」は6.5ポイント低くなっています。

図表15 相談先 &lt;複数回答&gt;※前回調査比較

## 【就学前】



## 【小学生】



※「園の先生」は前回調査の選択肢では「保育士(19.1%)」「幼稚園教諭(17.1%)」と違うため比較していません。

## 4 保護者の就労状況について

### (1) 保護者の就労状況

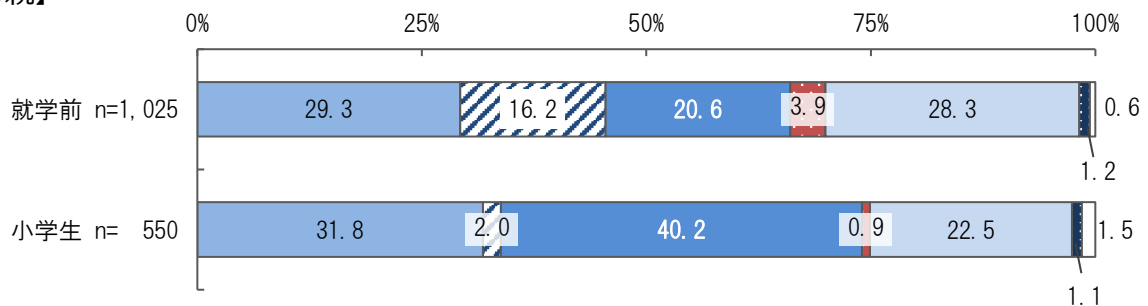
問 保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

【就学前：問13、小学生：問11】

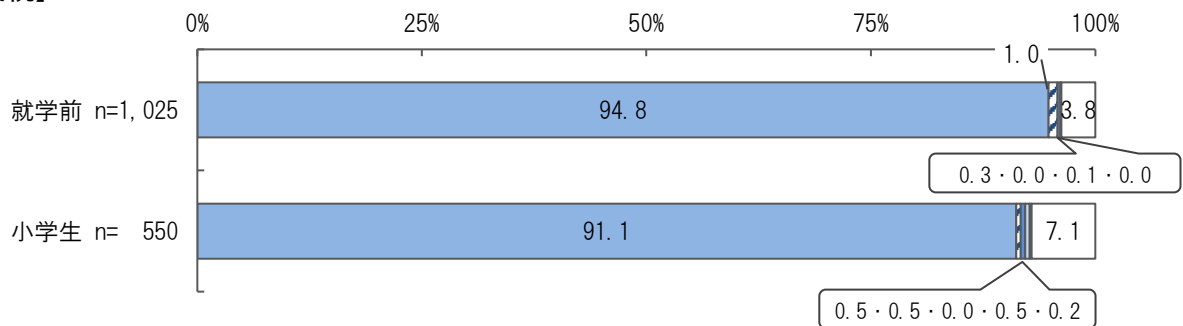
- 母親の就労状況をみると、「フルタイムで就労している」「パート・アルバイト等で就労している」を合わせた現在就労している人は、就学前で70.0%、小学生で74.9%となり、そのうち産休・育休・介護休業を取得中の人は、就学前で20.1%、小学生で2.9%となっています。
- 父親の就労状況をみると、就学前・小学生ともに「フルタイムで就労している」（94.8%・91.1%）が9割以上となっています。

図表16 保護者の就労状況 <単数回答>

#### 【母親】



#### 【父親】



- フルタイムで就労している
- ▨ フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- パート・アルバイト等で就労している
- ▨ パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答

○母親の就労状況を子どもの年齢別にみると、就学前では『0歳』は「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」、『1歳』～『5歳』は「フルタイムで就労している」が最も高くなっています。また、小学生では、いずれの学年も「パート・アルバイト等で就労している」が最も高くなっています。

図表17 子どもの年齢×母親の就労状況

【就学前】

上段：件数、下段：%

		調査数	問13(1) お子さんの保護者の現在の就労状況(1) 母親						無回答
			フルタイムで就労している	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	パート・アルバイト等で就労している	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	パート・アルバイト等で就労しているが、現在は就労していない	以前は就労していたが、現在は就労していない	
調査数		1,025	300	166	211	40	290	12	6
		100.0	29.3	16.2	20.6	3.9	28.3	1.2	0.6
問3 お子さんの年齢	0歳	181	25	80	17	12	46	0	1
		100.0	13.8	44.2	9.4	6.6	25.4	0.0	0.6
	1歳	166	53	28	26	6	48	3	2
		100.0	31.9	16.9	15.7	3.6	28.9	1.8	1.2
	2歳	179	62	19	23	4	68	1	2
		100.0	34.6	10.6	12.8	2.2	38.0	0.6	1.1
	3歳	173	46	18	43	6	57	3	0
100.0		26.6	10.4	24.9	3.5	32.9	1.7	0.0	
4歳	168	53	12	52	10	38	2	1	
	100.0	31.5	7.1	31.0	6.0	22.6	1.2	0.6	
5歳	158	61	9	50	2	33	3	0	
	100.0	38.6	5.7	31.6	1.3	20.9	1.9	0.0	

【小学生】

上段：件数、下段：%

		調査数	問11(1) お子さんの保護者の現在の就労状況(1) 母親						無回答
			フルタイムで就労している	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	パート・アルバイト等で就労している	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	パート・アルバイト等で就労しているが、現在は就労していない	以前は就労していたが、現在は就労していない	
調査数		550	175	11	221	5	124	6	8
		100.0	31.8	2.0	40.2	0.9	22.5	1.1	1.5
問3 お子さんの年齢	小学1年生	162	46	7	59	3	44	1	2
		100.0	28.4	4.3	36.4	1.9	27.2	0.6	1.2
	小学2年生	178	61	1	72	1	38	2	3
		100.0	34.3	0.6	40.4	0.6	21.3	1.1	1.7
	小学3年生	198	64	3	85	1	40	2	3
		100.0	32.3	1.5	42.9	0.5	20.2	1.0	1.5

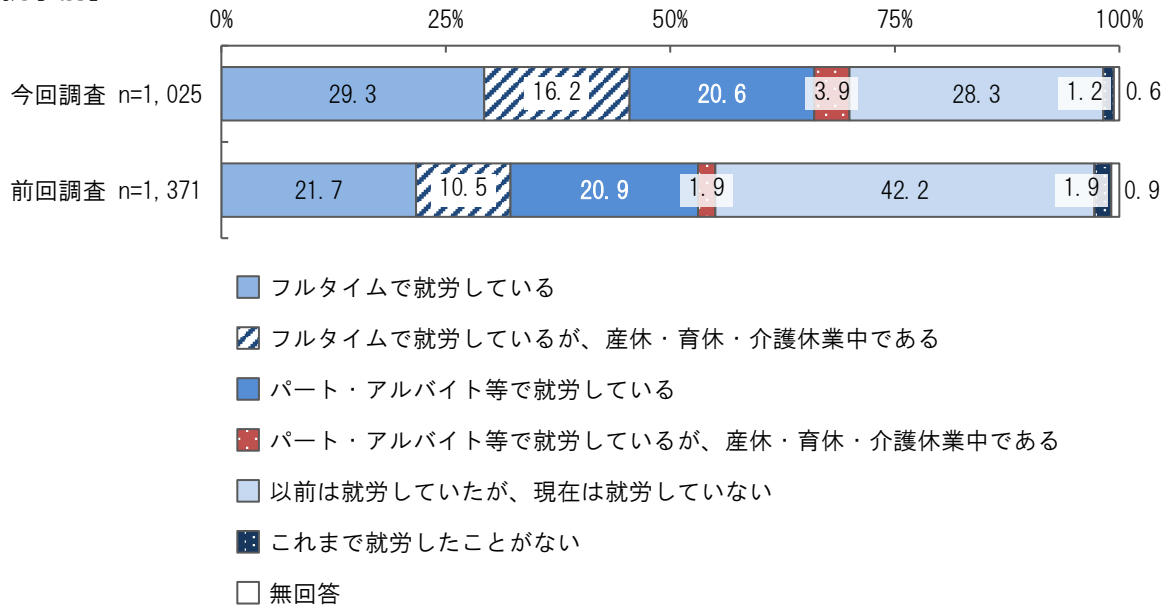
※最も高い箇所に網掛けをしています。



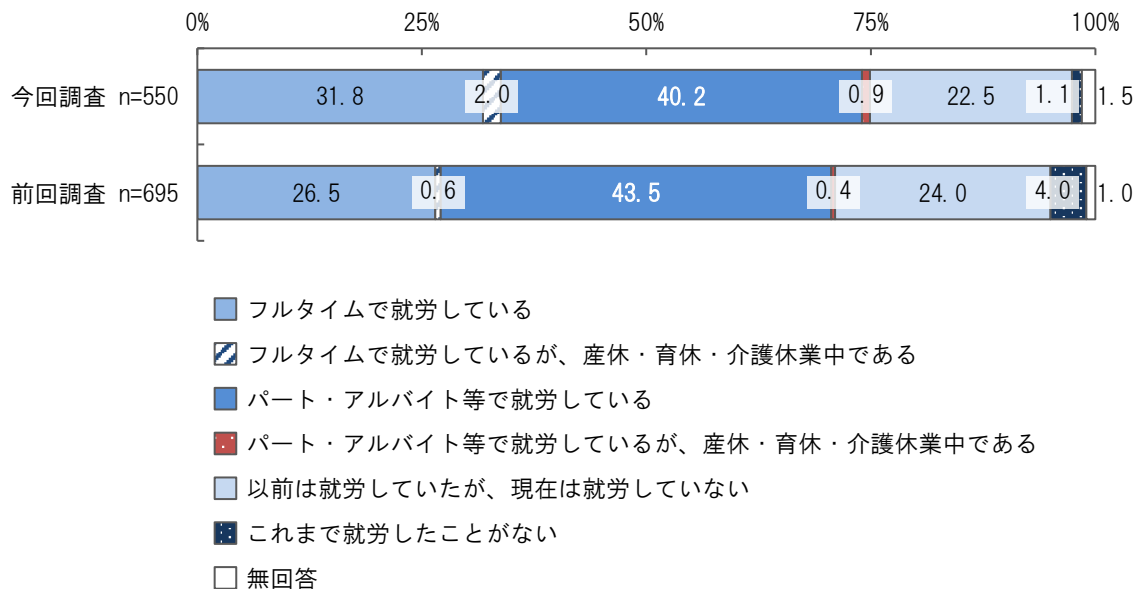
○母親の就労状況を前回調査と比較すると、フルタイムで就労している人は就学前で13.3ポイント、小学生で6.7ポイント高くなっています。

図表18 保護者の就労状況（母親）＜単数回答＞※前回調査比較

【就学前】



【小学生】



## (2) 就労日数・就労時間

『(1) 保護者の就労状況』で、「フルタイムで就労している」、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」、「パート・アルバイト等で就労している」、「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」のいずれかを回答した方のみ

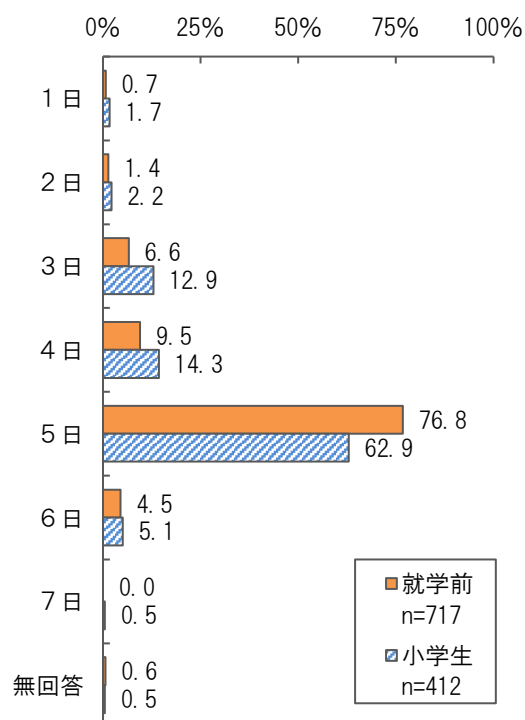
問 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。

【就学前：問13-1、小学生：問11-1】

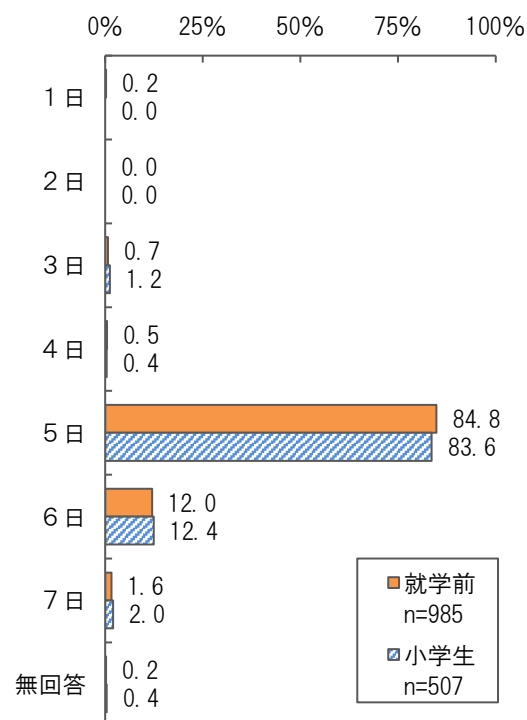
- 母親の就労日数は、就学前・小学生ともに「5日」（76.8%・62.9%）が最も高く、次いで「4日」（9.5%・14.3%）となっています。
- 父親の就労日数は、就学前・小学生ともに「5日」（84.8%・83.6%）が最も高く、次いで「6日」（12.0%・12.4%）となっています。

図表19 就労日数 <数量回答>

## 【母親】



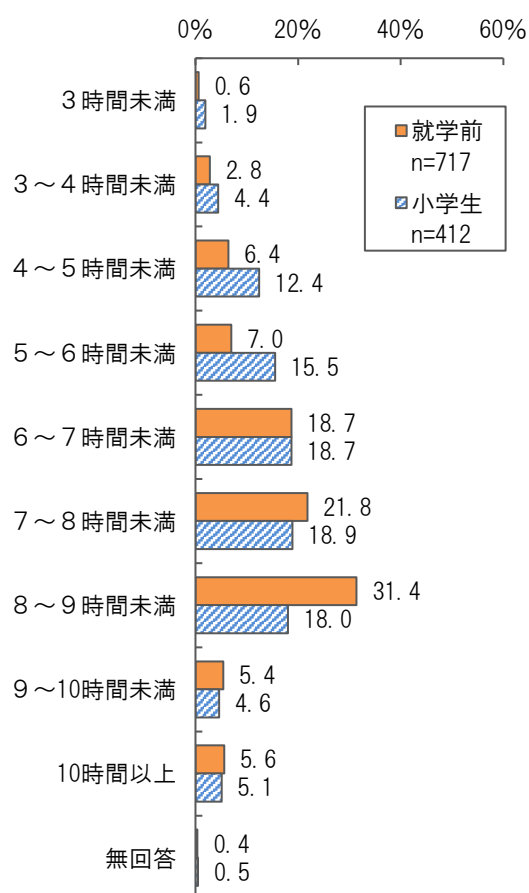
## 【父親】



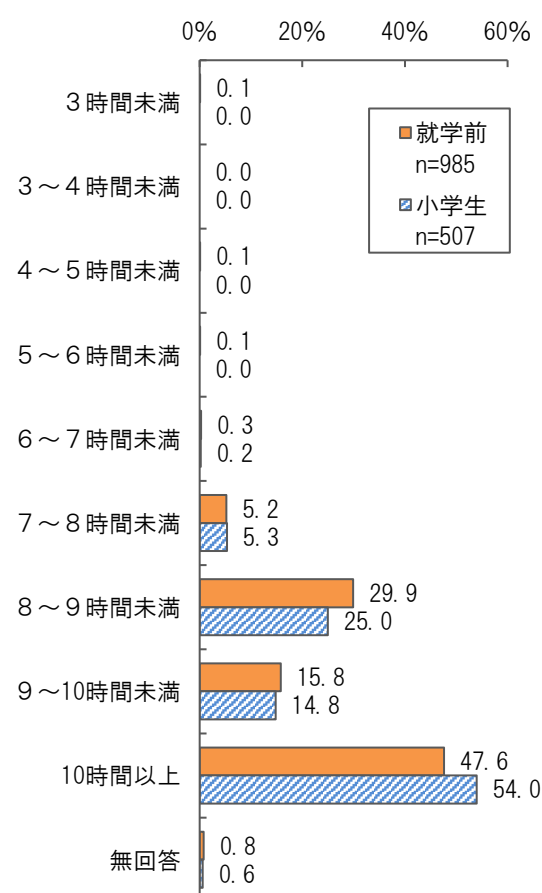
- 母親の就労時間は、就学前では「8～9時間未満」が31.4%と最も高く、次いで「7～8時間未満」(21.8%)、「6～7時間未満」(18.7%)となっています。
- また、小学では「7～8時間未満」が18.9%と最も高く、次いで「6～7時間未満」(18.7%)、「8～9時間未満」(18.0%)となっています。
- 父親の就労時間は、就学前・小学生ともに「10時間以上」(47.6%・54.0%)が最も高くなっています。

図表20 就労時間 &lt;数量回答&gt;

## 【母親】



## 【父親】



## (3) 外出時刻・帰宅時刻

『(1) 保護者の就労状況』で、「フルタイムで就労している」、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」、「パート・アルバイト等で就労している」、「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」のいずれかを回答した方のみ

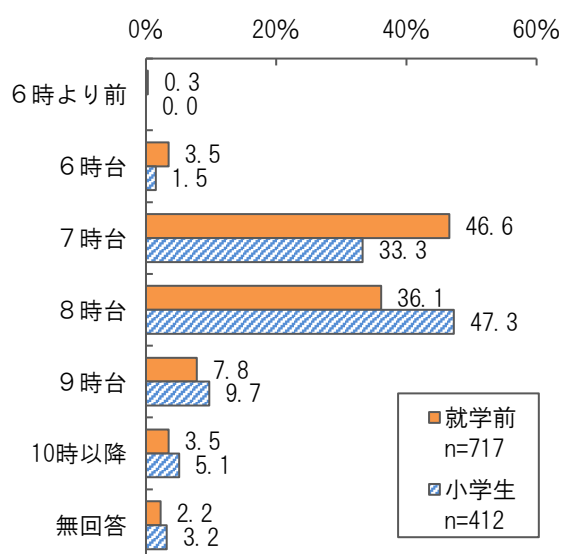
問 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。

【就学前：問13-2、小学生：問11-2】

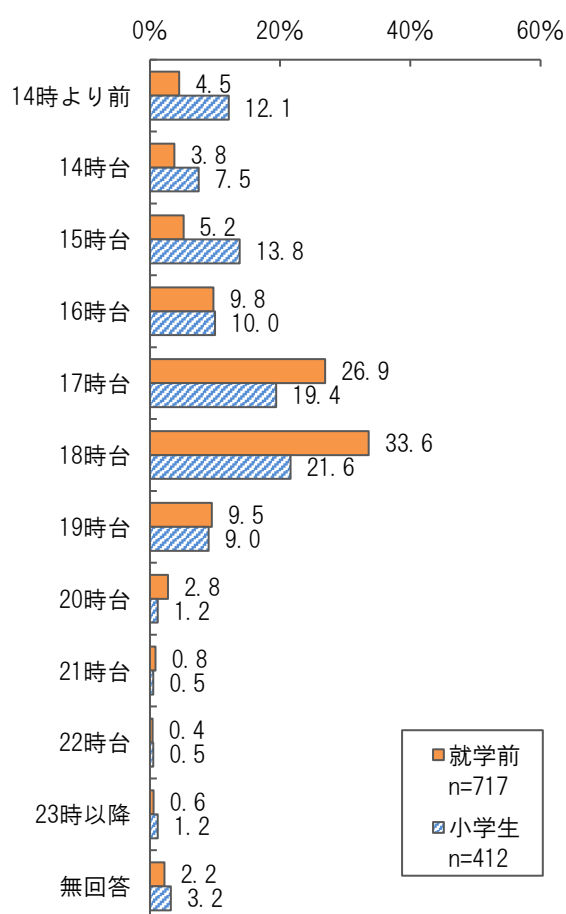
- 母親の出勤時間（家を出る時間）は、就学前では「7時台」（46.6%）、小学生では「8時台」（47.3%）が最も高くなっています。
- 母親の帰宅時刻は、就学前・小学生ともに「18時台」（33.6%・21.6%）が最も高くなっています。

図表21 母親の外出時刻・帰宅時刻 <数量回答>

【外出時刻】



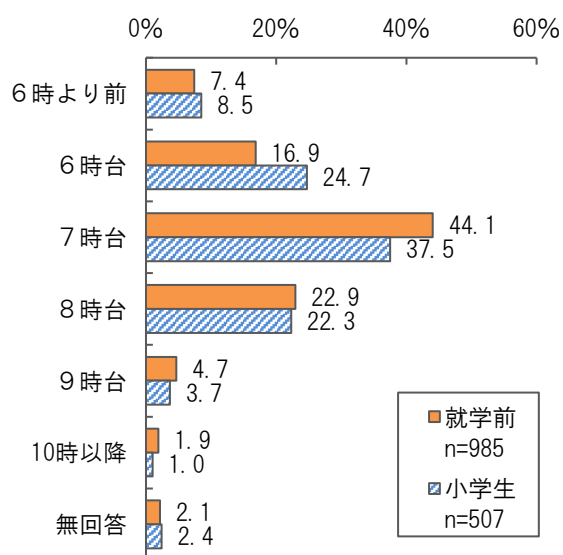
【帰宅時刻】



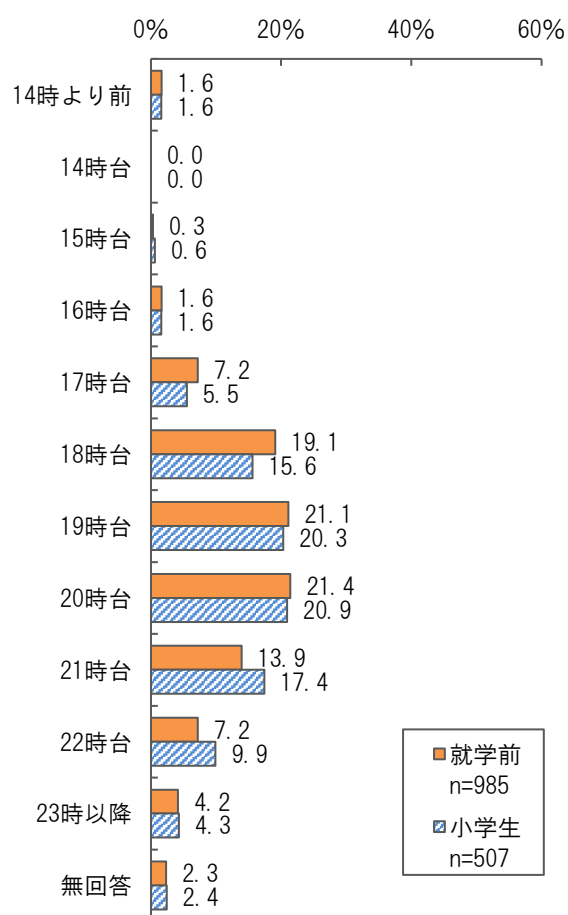
- 父親の出勤時間（家を出る時間）は、就学前・小学生ともに「7時台」（44.1%・37.5%）が最も高くなっています。
- 父親の帰宅時刻は、就学前・小学生ともに「20時台」（21.4%・20.9%）が最も高く、僅差で「19時台」（21.1%・20.3%）となっています。

図表22 父親の外出時刻・帰宅時刻 &lt;数量回答&gt;

## 【外出時刻】



## 【帰宅時刻】



## (4) フルタイムへの転換希望

『(1) 保護者の就労状況』で「パート・アルバイト等で就労している」または「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」を回答した方のみ

問 フルタイムへの転換希望はありますか。

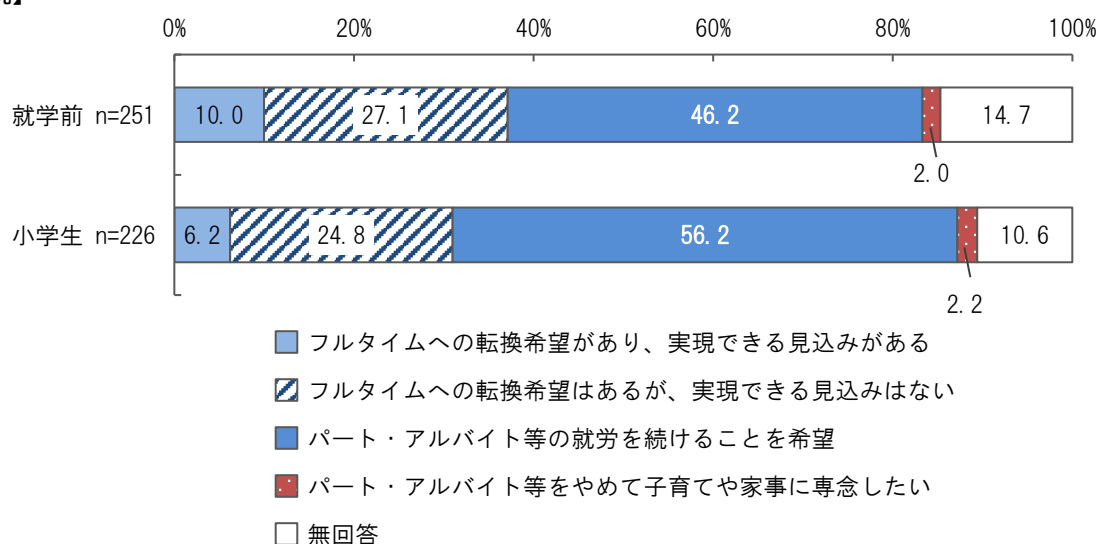
【就学前：問14、小学生：問12】

○パート・アルバイト等で就労している母親のフルタイムへの転換希望をみると、就学前・小学生ともに「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」（46.2%・56.2%）が最も高くなっています。

また、“フルタイムへの転換希望あり”（「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」+「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」）は、就学前では37.1%、小学生では31.0%となっています。

図表23 フルタイムへの転換希望 <単数回答>

## 【母親】



## 【父親】

就学前 (n=3) « 「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」 (1人) ・ 「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」 (1人) »

小学生 (n=3) « 「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」 (1人) ・ 「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」 (1人) ・ 「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」 (1人) »

## (5) 今後の就労希望

『(1) 保護者の就労状況』で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」を回答した方のみ

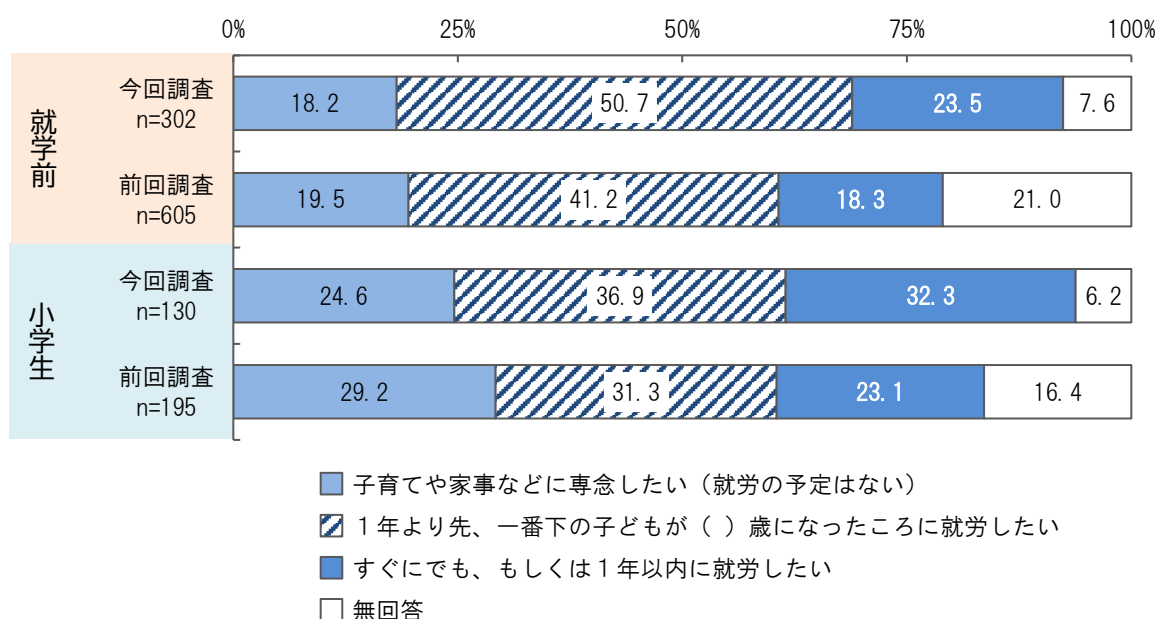
問 就労したいという希望はありますか。

【就学前：問15、小学生：問13】

- 現在就労していない母親の今後の就労希望をみると、就学前・小学生ともに「1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったころに就労したい」（50.7%・36.9%）と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」（23.5%・32.3%）なっています。
- 前回調査と比較すると、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」は、就学前では5.2ポイント、小学生では9.2ポイント増加しています。

図表24 今後の就労希望 <単数回答>

【母親】※前回調査比較



【父親】

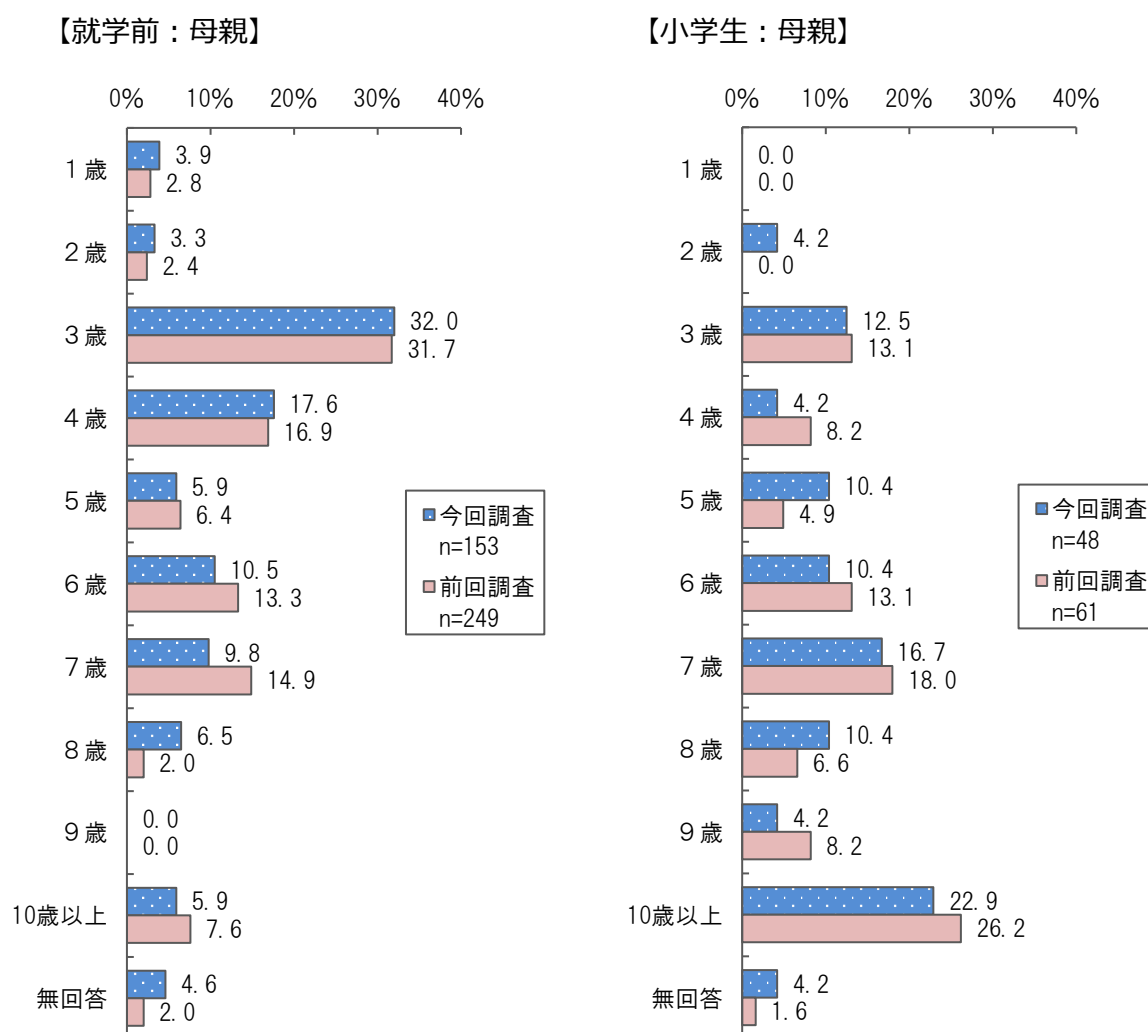
就学前（n=1）≪「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」（1人）≫  
 小学生（n=4）≪「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」（1人）・  
 「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」（3人）≫

○母親の希望する就労時期の一番下の子どもの年齢は、就学前では「3歳」が32.0%と最も高く、次いで「4歳」（17.6%）となり、「1歳」～「4歳」との回答が約6割を占めています。

また、小学生では「10歳以上」が22.9%と最も高く、次いで「7歳」（16.7%）となり、「7歳」～「10歳」との回答が5割強となっています。

○前回調査と比較すると、就学前・小学生ともに大きな変化はなく、就学前では「3歳」、小学生では「10歳以上」の希望が最も高くなっています。

図表25 希望する就労時期の一番下の子どもの年齢 <数量回答>



※父親は対象者がいませんでした。

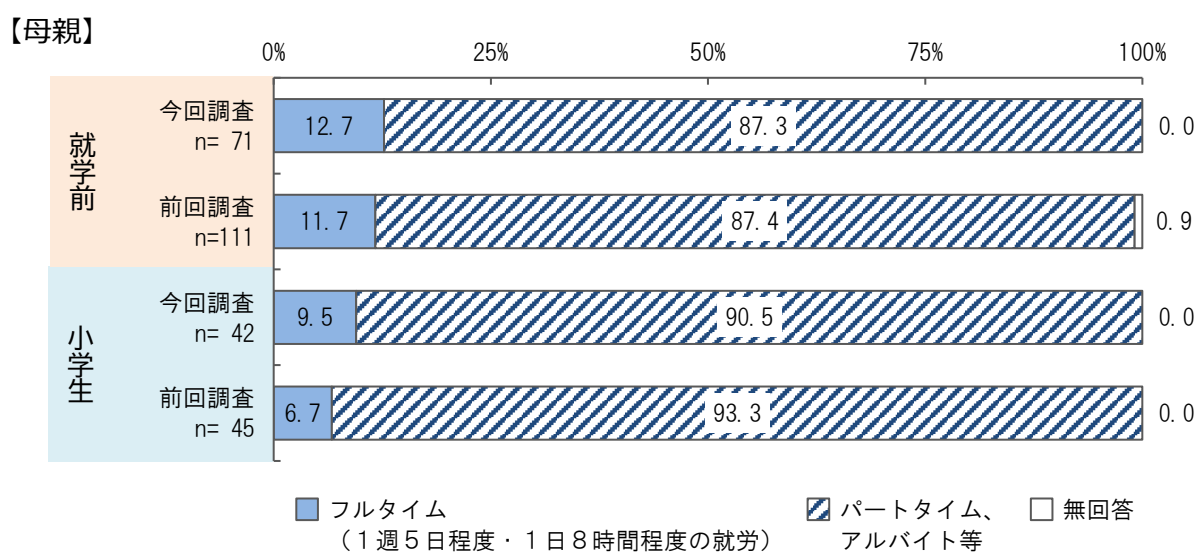


## 《希望する就労形態》

『(5) 今後の就労希望』で「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した方のみ

- すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい母親の希望する就労形態をみると、就学前・小学生ともに「パートタイム、アルバイト等」（87.3%・90.5%）が約9割を占めています。
- 前回調査と比較すると、大きな変化はないものの、就学前・小学生ともに「フルタイム」を希望する割合がやや高くなっています。

図表26 希望する就労形態 <単数回答> ※前回調査比較



## 【父親】

就学前 (n=0)

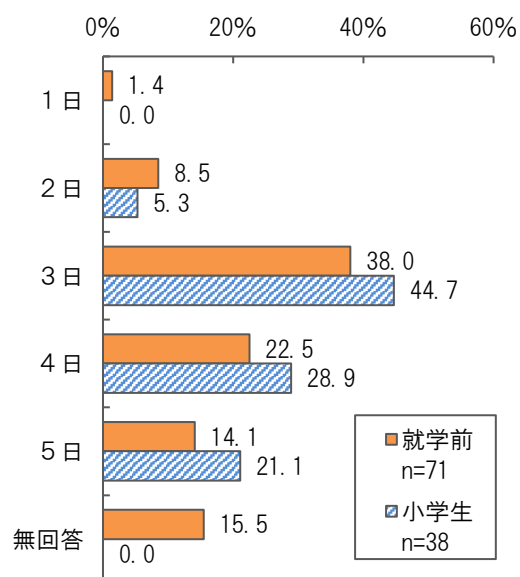
小学生 (n=3) 《「フルタイム」(2人)・「パートタイム、アルバイト等」(1人)》

○パートタイム、アルバイト等での就労を希望する母親の1週当たりの希望就労日数は、就学前・小学生ともに「3日」(38.0%・44.7%)が最も高く、次いで「4日」(22.5%・28.9%)となっています。

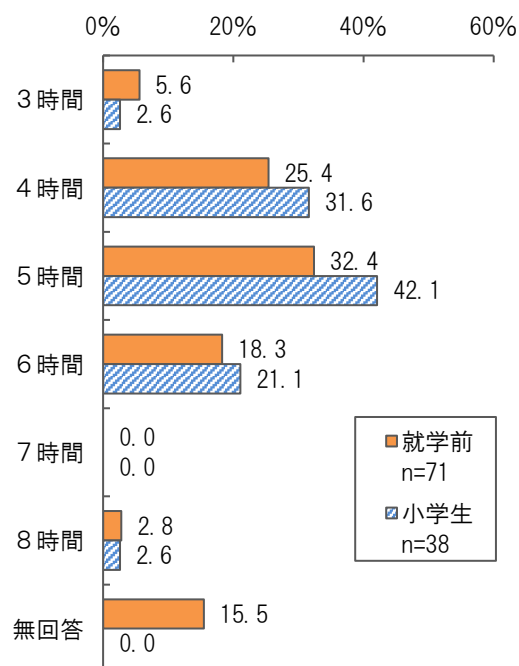
また、1日当たりの希望就労時間は、就学前・小学生ともに「5時間」(32.4%・42.1%)が最も高く、次いで「4時間」(25.4%・31.6%)となっています。

図表27 希望する就労日数・時間 <数量回答>

【母親：1週当たり】



【母親：1日当たり】



【父親：1週当たり】

就学前 (n=0)

小学生 (n=1) « 「3日」 »

【父親：1日当たり】

就学前 (n=0)

小学生 (n=1) « 「5時間」 »

## 5 平日の定期的な幼稚園や保育所などの利用状況について

### (1) 定期的な教育・保育事業の利用状況

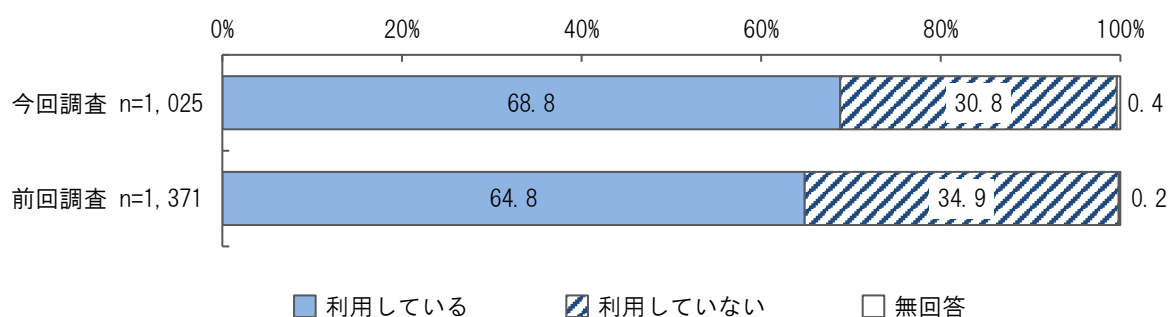
問 お子さんは現在、定期的に幼稚園や保育所など子どもを預かる施設やサービスを利用していますか。

【就学前：問16】

○定期的な教育・保育事業を「利用している」は68.8%、「利用していない」は30.8%となっています。また、子どもの年齢別にみると、0歳では2割弱、1・2歳では5割以上、3歳以上では9割以上が利用しています。

○前回調査と比較すると、「利用している」割合は4.0ポイント高くなっています。

図表28 定期的な教育・保育事業の利用状況 <単数回答> ※前回調査比較



図表29 子どもの年齢×定期的な教育・保育事業の利用状況

上段：件数、下段：%

		調査数	問16 定期的に幼稚園や保育所などを利用していますか。		
			利用している	利用していない	無回答
調査数		1,025	705	316	4
		100.0	68.8	30.8	0.4
問3 お子さんの年齢	0歳	181	35	145	1
		100.0	19.3	80.1	0.6
	1歳	166	85	80	1
		100.0	51.2	48.2	0.6
	2歳	179	99	78	2
		100.0	55.3	43.6	1.1
	3歳	173	169	4	0
	100.0	97.7	2.3	0.0	
4歳	168	165	3	0	
	100.0	98.2	1.8	0.0	
5歳	158	152	6	0	
	100.0	96.2	3.8	0.0	

※最も高い箇所に網掛けをしています。

## (2) 定期的に利用している教育・保育事業

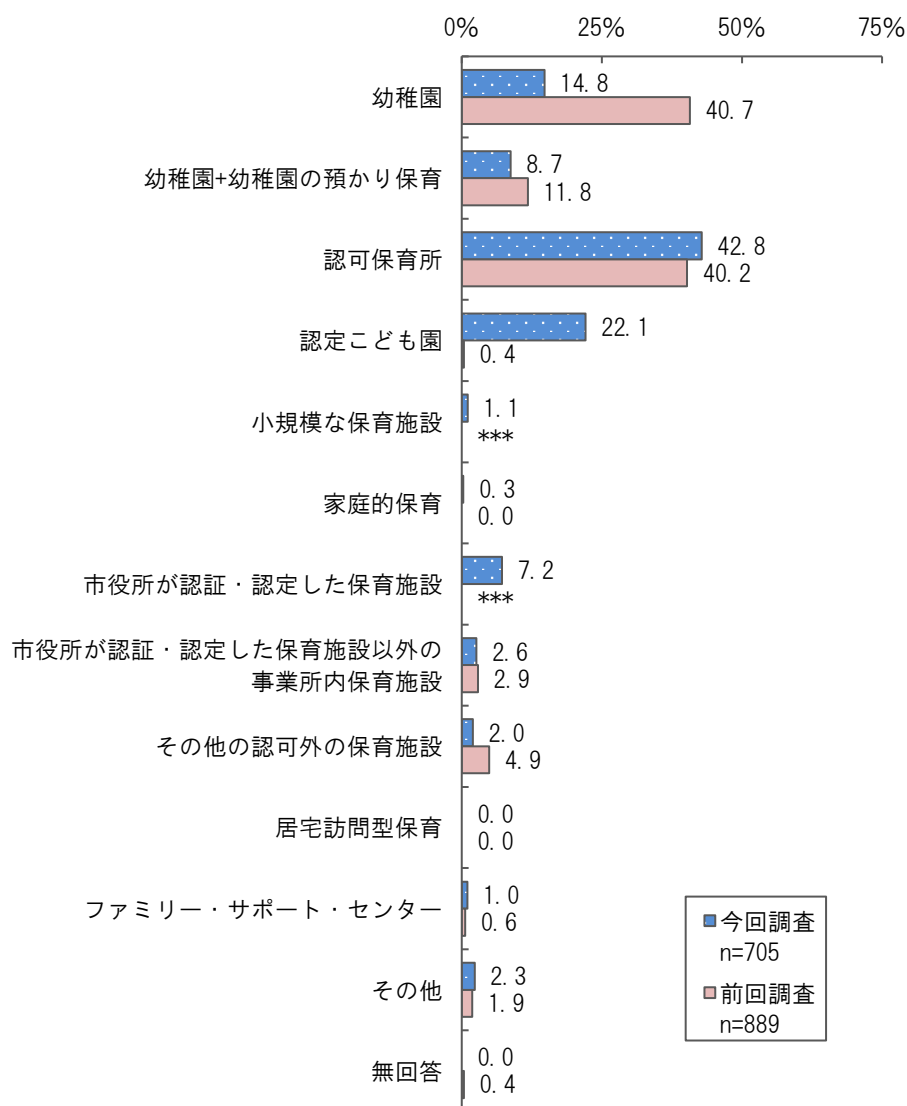
『(1) 定期的な教育・保育事業の利用状況』で「利用している」と回答した方のみ

問 お子さんは、平日どのような施設やサービスを利用していますか。

【就学前：問16-1】

- 定期的に利用している教育・保育事業は、「認可保育所」が42.8%と最も高く、次いで「認定こども園」(22.1%)、「幼稚園」(14.8%)となっています。
- 前回調査と比較すると、公立幼稚園が幼児園(認定こども園)に移行したことにより、「幼稚園」が25.9ポイント減少している一方、「認定こども園」が21.7ポイント増加しています。

図表30 定期的に利用している教育・保育事業（就学前） &lt;複数回答&gt; ※前回調査比較



※「小規模な保育施設」「市役所が認証した保育施設」は前回調査の回答選択にはありません。

○定期的に利用している教育・保育事業を子どもの年齢別にみると、『0歳』、『1歳』では6割以上が「認可保育所」を利用しています。

図表31 子どもの年齢×定期的に利用している教育・保育事業

上段：件数、下段：%

		問16-1 平日どのような施設やサービスを利用していますか。													
		幼稚園	幼稚園+幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	施設 市役所が認証・認定した保育	施設以外の事業所内保育施設	市役所が認証・認定した保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
調査数		705	104	61	302	156	8	2	51	18	14	0.0	7	16	0
		100.0	14.8	8.7	42.8	22.1	1.1	0.3	7.2	2.6	2.0	0.0	1.0	2.3	0.0
問3 お子さんの年齢	0歳	35	1	1	23	1	1	0	3	5	0	0	2	0	0
		100.0	2.9	2.9	65.7	2.9	2.9	0.0	8.6	14.3	0.0	0.0	5.7	0.0	0.0
	1歳	85	4	1	62	0	3	0	7	5	4	0	0	1	0
		100.0	4.7	1.2	72.9	0.0	3.5	0.0	8.2	5.9	4.7	0.0	0.0	1.2	0.0
	2歳	99	6	2	58	5	3	0	14	4	3	0	1	4	0
		100.0	6.1	2.0	58.6	5.1	3.0	0.0	14.1	4.0	3.0	0.0	1.0	4.0	0.0
	3歳	169	40	16	55	48	1	1	9	2	2	0	2	4	0
		100.0	23.7	9.5	32.5	28.4	0.6	0.6	5.3	1.2	1.2	0.0	1.2	2.4	0.0
	4歳	165	31	22	52	53	0	1	12	1	2	0	1	2	0
		100.0	18.8	13.3	31.5	32.1	0.0	0.6	7.3	0.6	1.2	0.0	0.6	1.2	0.0
	5歳	152	22	19	52	49	0	0	6	1	3	0	1	5	0
		100.0	14.5	12.5	34.2	32.2	0.0	0.0	3.9	0.7	2.0	0.0	0.7	3.3	0.0

※最も高い箇所に網掛けをしています。

### (3) 利用日数・利用時間の現状と希望

『(1) 定期的な教育・保育事業の利用状況』で「利用している」と回答した方のみ

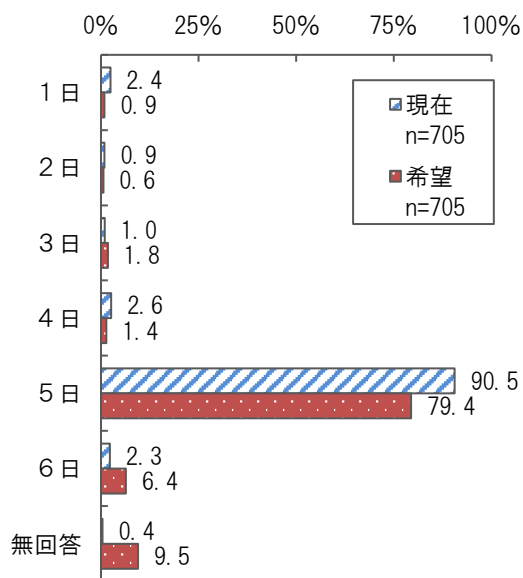
問 平日に定期的に利用している幼稚園や保育所などについて、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

【就学前：問16-2】

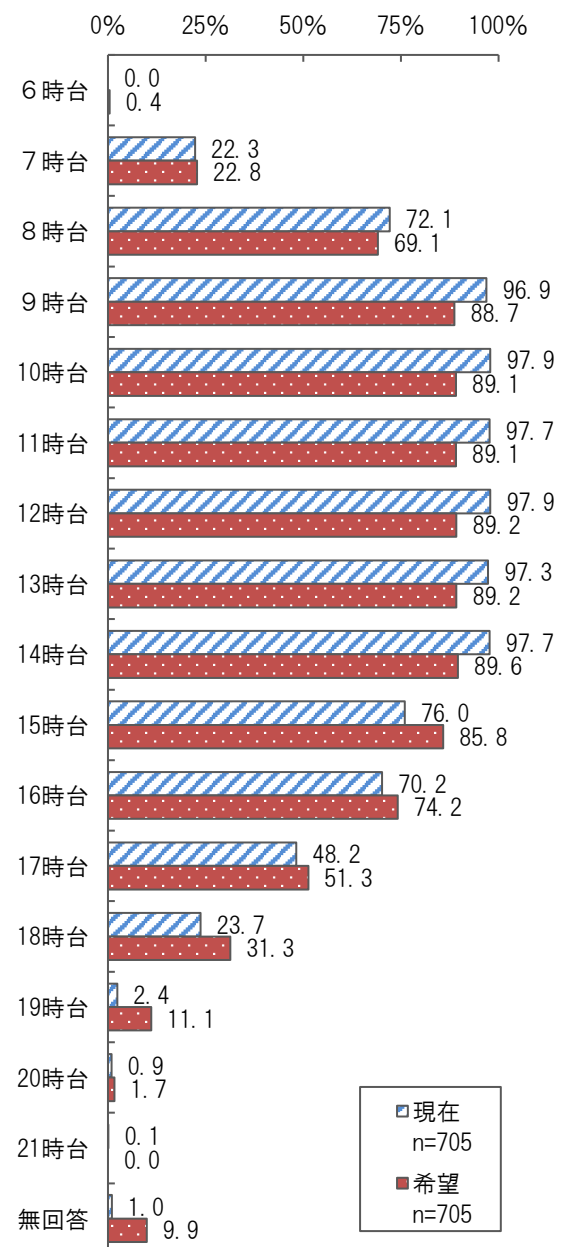
○利用日数は、現在・希望ともに「5日」（90.5%・79.4%）が最も高くなっています。また、「6日」は現在の2.3%に対し、希望は6.4%と4.1ポイント高くなっています。

図表32 利用日数・利用時間の現状と希望 <数量回答>

#### 【1週あたりの利用日数】



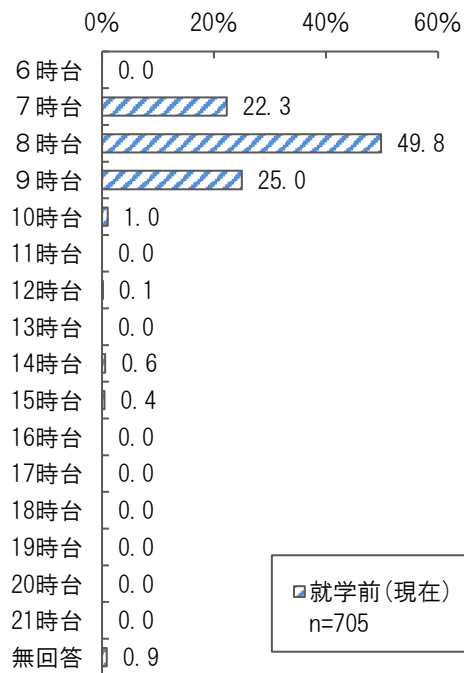
#### 【利用時間帯】



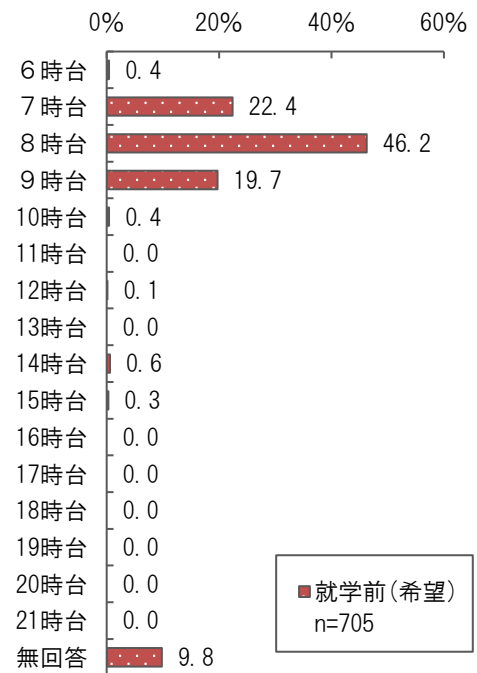
○利用開始時間は、現在・希望ともに「8時台」（49.8%・46.2%）が最も高く、現在と希望に大きな乖離はない状況です。

○利用終了時間は、現在・希望ともに「16時台」「17時台」「18時台」が2割台と高くなっています。現在と希望の差をみると、「14時台」は現在の22.1%に対し、希望は4.1%と18ポイント低くなっています。また、「19時台」は現在の1.6%に対し、希望は9.4%と7.8ポイント高くなっています。

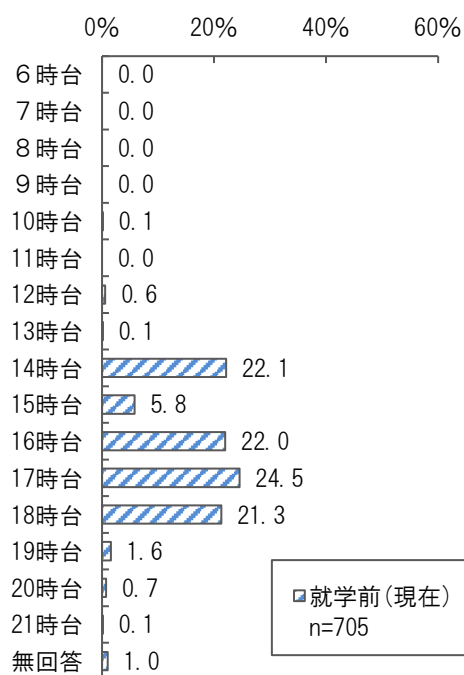
【利用開始時間：現在】



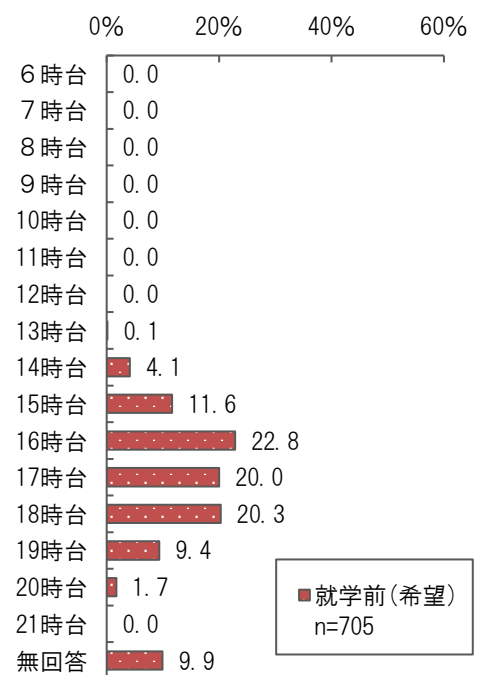
【利用開始時間：希望】



【利用終了時間：現在】



【利用終了時間：希望】



## (4) 利用している教育・保育事業の場所

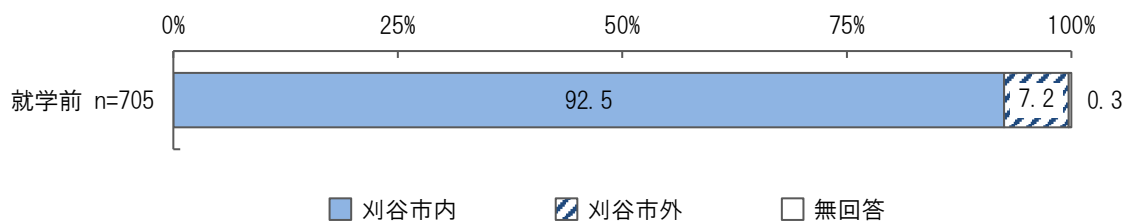
『(1) 定期的な教育・保育事業の利用状況』で「利用している」と回答した方のみ

問 現在、利用している幼稚園や保育所などはどこにありますか。

【就学前：問16-3】

○利用している幼稚園や保育所などの場所は、「刈谷市内」が92.5%、「刈谷市外」が7.2%となっています。

図表33 利用している教育・保育事業の場所 &lt;単数回答&gt;





## (5) 定期的な教育・保育事業を利用している理由

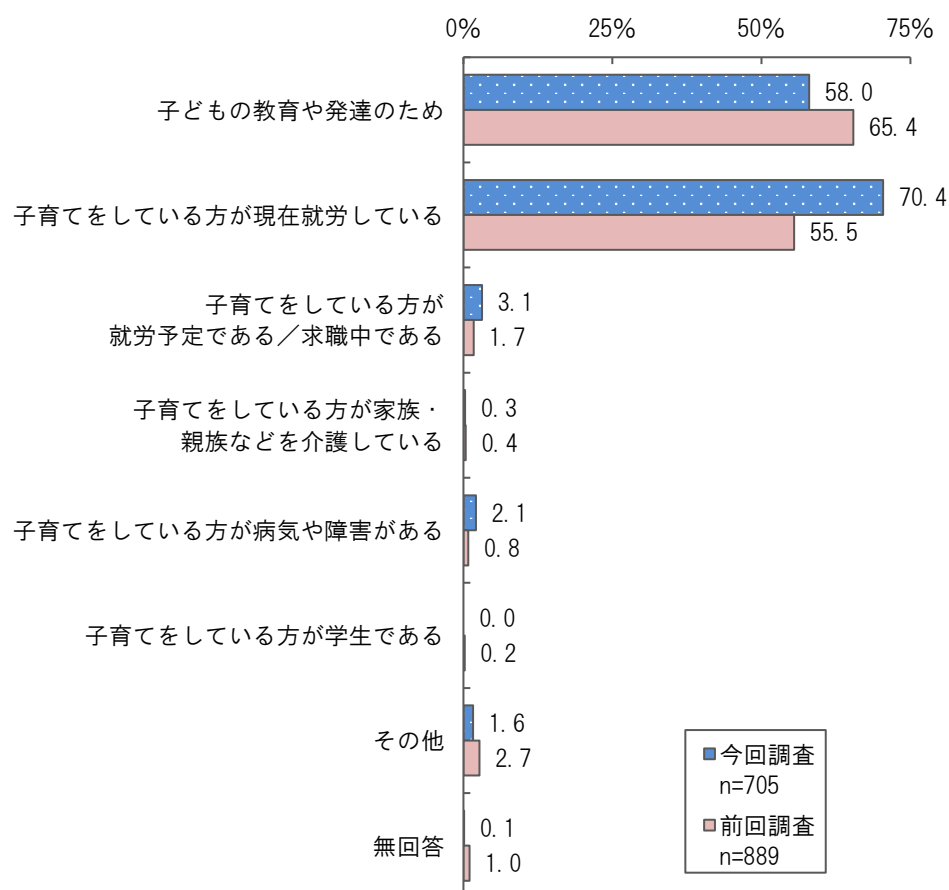
『(1) 定期的な教育・保育事業の利用状況』で「利用している」と回答した方のみ

問 平日に定期的に幼稚園や保育所などを利用している理由は何ですか。

【就学前：問16-4】

- 平日に定期的に幼稚園や保育所などを利用している理由をみると、「子育てをしている方が現在就労している」が70.4%と最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」(58.0%)となっています。
- 前回調査と比較すると、「子どもの教育や発達のため」は7.4ポイント減少しているのに対し、「子育てをしている方が現在就労している」は14.9ポイント増加しています。

図表34 定期的な教育・保育事業を利用している理由 &lt;複数回答&gt; ※前回調査比較



(6) 定期的な教育・保育事業を利用していない理由

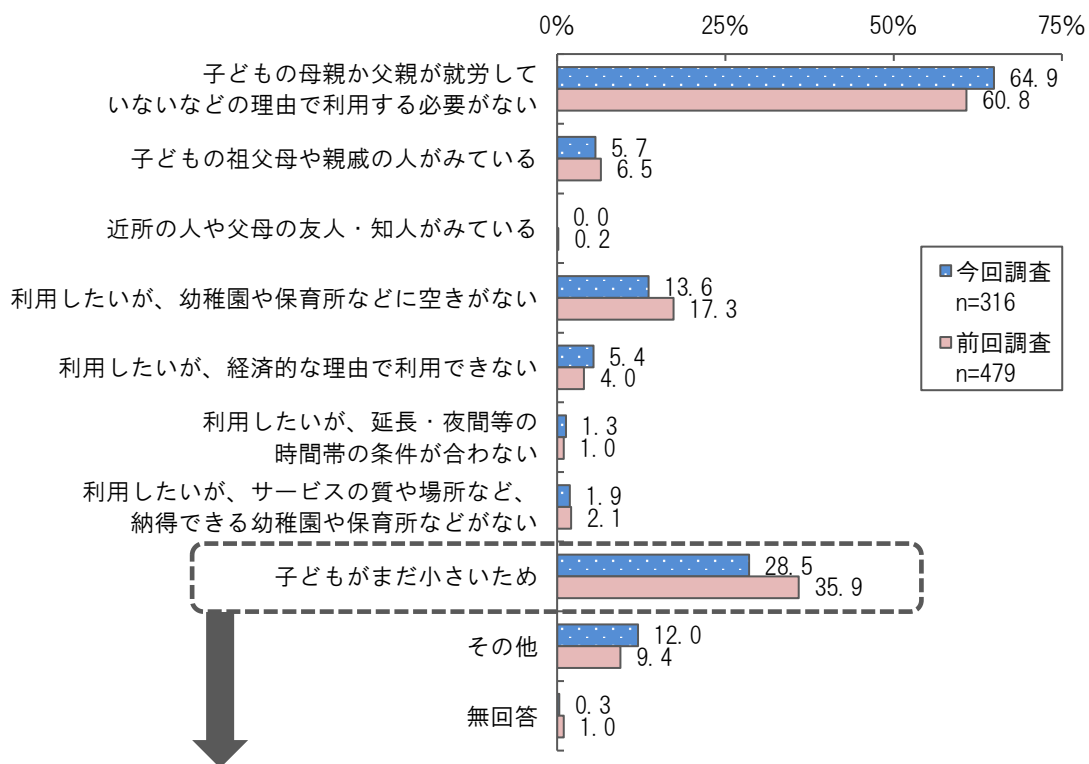
『(1) 定期的な教育・保育事業の利用状況』で「利用していない」と回答した方のみ

問 平日に定期的に幼稚園や保育所などを利用していない理由は何ですか。

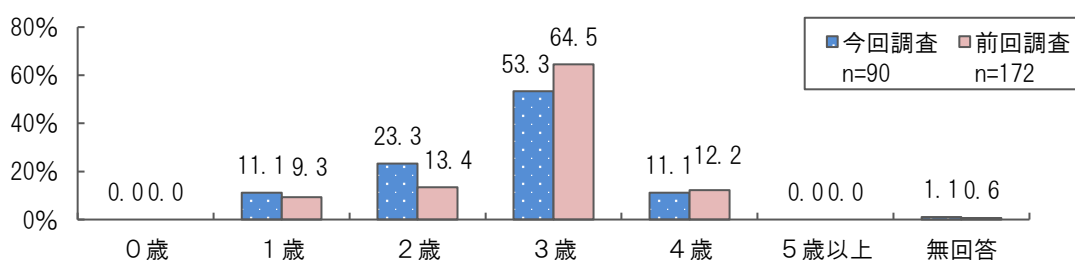
【就学前：問16-5】

- 平日に定期的に幼稚園や保育所などを利用していない理由をみると、「子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で利用する必要がない」が64.9%と最も高く、次いで「子どもがまだ小さいため」(28.5%)、「利用したいが、幼稚園や保育所などに空きがない」(13.6%)となっています。
- 前回調査と比較すると、「子どもがまだ小さいため」は7.4ポイント減少しています。
- 子どもがまだ小さいためと回答した人が、事業を利用しようと考えている子どもの年齢は、「3歳」が53.3%と最も高くなっています。
- 前回調査と比較すると、「3歳」は11.2ポイント減少し、一方、「2歳」は9.9ポイント増加しています。

図表35 定期的な教育・保育事業を利用していない理由 <複数回答> ※前回調査比較



図表36 事業を利用しようと考えている子どもの年齢 <数量回答> ※前回調査比較



(7) 「こども誰でも通園制度（仮称）」創設時の利用意向

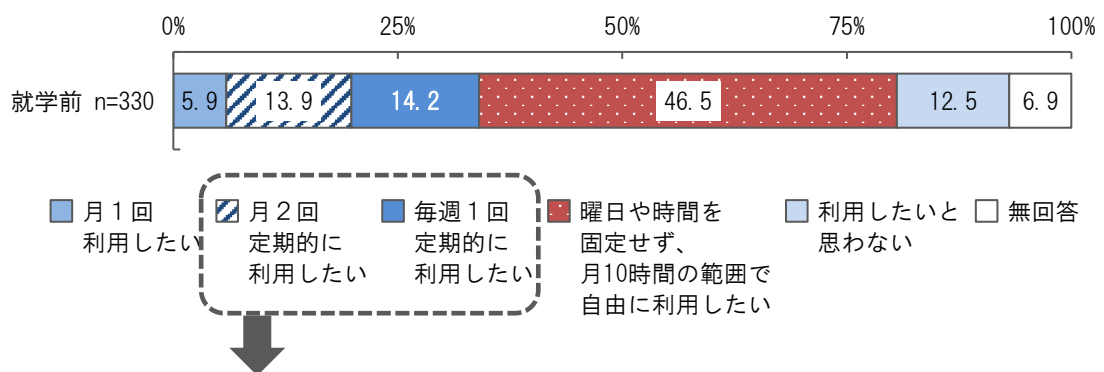
『(1) 定期的な教育・保育事業の利用状況』で「利用していない」と回答した方、定期的に幼稚園や保育所など子どもを預かる施設やサービスを利用していない方のうち、あて名のお子さんが0～2歳の方にかがいます。

問 国が検討している「こども誰でも通園制度（仮称）」が創設された場合、仮に月10時間まで定期的に利用が可能だとしたら、利用したいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

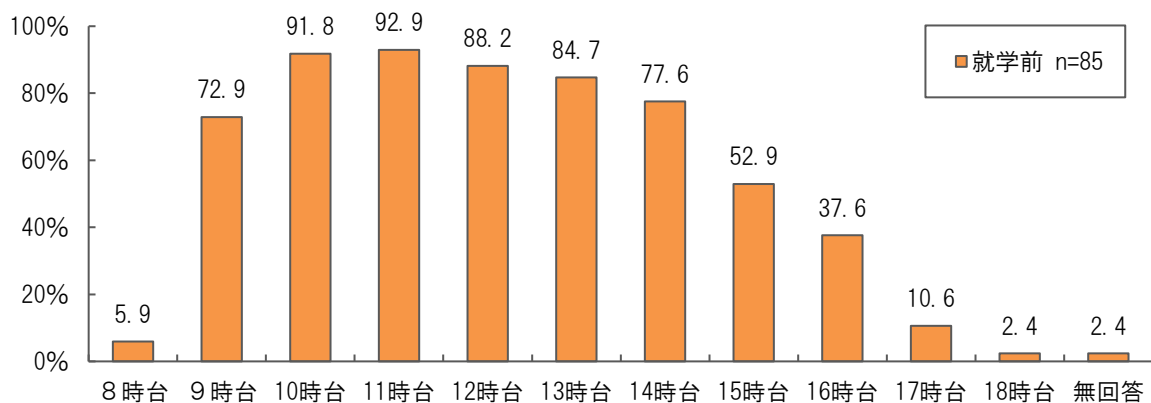
【就学前：問16-6】

- 「こども誰でも通園制度（仮称）」の利用意向をみると、「曜日や時間を固定せず、月10時間の範囲で自由に利用したい」が46.5%と最も高く、次いで「毎週1回定期的に利用したい」（14.2%）、「月2回定期的に利用したい」（13.9%）となっています。
- 定期的な利用希望者の利用希望時間帯をみると、「10時台」～「13時台」で8割以上が利用を希望しています。

図表37 「こども誰でも通園制度（仮称）」の利用意向 <単数回答>



図表38 定期的な利用を希望する際の利希望用時間 <数量回答>



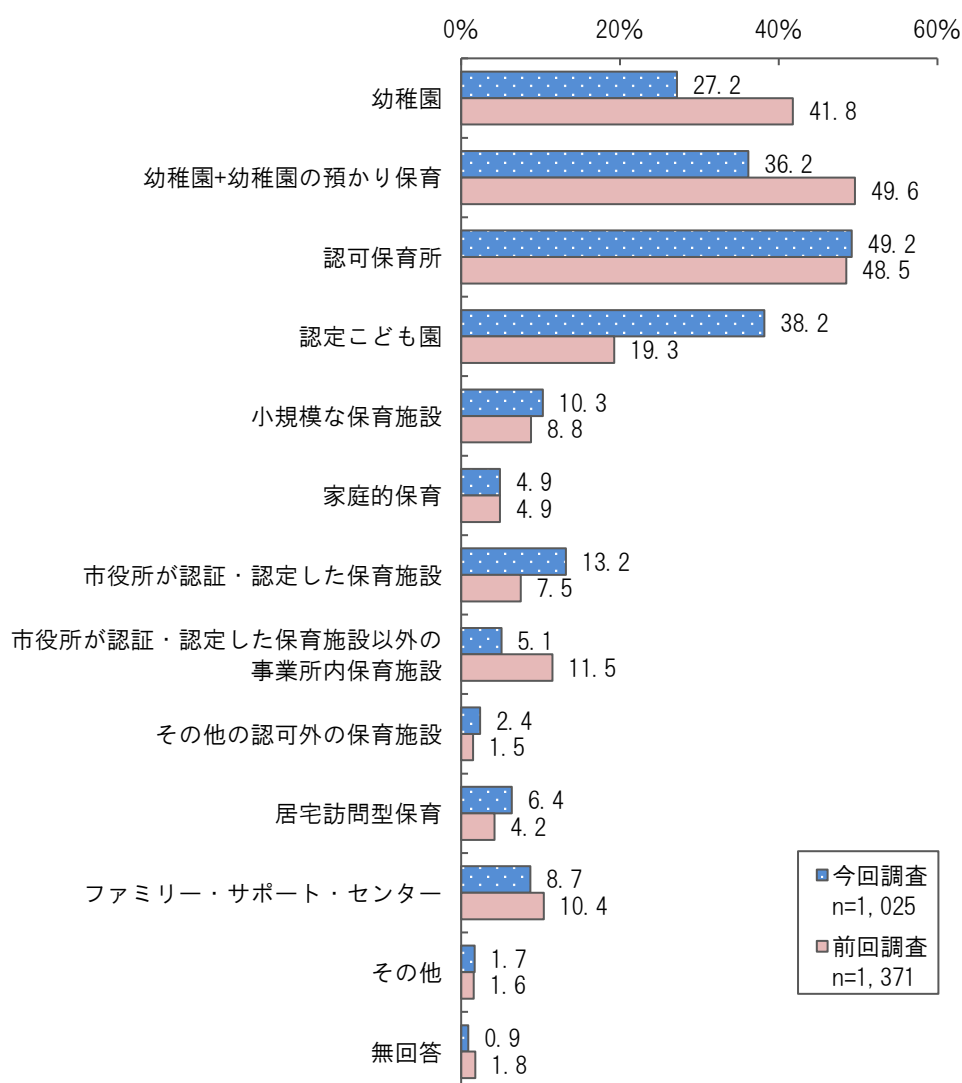
## (8) 定期的に利用したい教育・保育事業

問 現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日利用できる施設やサービスとして、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。

【就学前：問17】

- 定期的にご利用したい事業は、「認可保育所」が49.2%と最も高く、次いで「認定こども園」(38.2%)、「幼稚園+幼稚園の預かり保育」(36.2%)、「幼稚園」(27.2%)となっています。
- 前回調査と比較すると、「保育所」の利用希望に大きな変化はないものの、公立幼稚園が幼児園(認定こども園)に移行したことにより、「幼稚園」は14.6ポイント、「幼稚園+幼稚園の預かり保育」は13.4ポイント減少し、一方、「認定こども園」は18.9ポイント増加しています。

図表39 定期的にご利用したい教育・保育事業 <複数回答> ※前回調査比較



○定期的に利用したい教育・保育事業を子どもの年齢別にみると、『4歳』では「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」（38.7%）が最も高く、それ以外では「認可保育所」が最も高くなっています。

図表40 子どもの年齢×定期的に利用したい教育・保育事業

上段：件数、下段：%

	調査数	問16-1 平日どのような施設やサービスを利用していますか。													
		幼稚園	幼稚園＋幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	施設 市役所が認証・認定した保育	施設以外の事業所内保育施設	市役所が認証・認定した保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
調査数	1,025	279	371	504	392	106	50	135	52	25	66	89	17	9	
	100.0	27.2	36.2	49.2	38.2	10.3	4.9	13.2	5.1	2.4	6.4	8.7	1.7	0.9	
問3 お子さんの年齢	0歳	181	63	70	121	90	42	7	33	17	4	12	11	2	1
		100.0	34.8	38.7	66.9	49.7	23.2	3.9	18.2	9.4	2.2	6.6	6.1	1.1	0.6
	1歳	166	52	53	104	51	27	17	22	8	5	14	22	1	2
		100.0	31.3	31.9	62.7	30.7	16.3	10.2	13.3	4.8	3.0	8.4	13.3	0.6	1.2
	2歳	179	59	75	87	57	21	7	25	8	5	13	10	4	1
		100.0	33.0	41.9	48.6	31.8	11.7	3.9	14	4.5	2.8	7.3	5.6	2.2	0.6
	3歳	173	45	56	69	65	8	7	23	8	3	9	17	6	0
		100.0	26.0	32.4	39.9	37.6	4.6	4.0	13.3	4.6	1.7	5.2	9.8	3.5	0.0
	4歳	168	35	65	59	70	5	8	21	10	1	10	16	3	2
		100.0	20.8	38.7	35.1	41.7	3.0	4.8	12.5	6.0	0.6	6.0	9.5	1.8	1.2
	5歳	158	25	52	64	59	3	4	11	1	7	8	13	1	3
		100.0	15.8	32.9	40.5	37.3	1.9	2.5	7.0	0.6	4.4	5.1	8.2	0.6	1.9

※最も高い箇所に網掛けをしています。

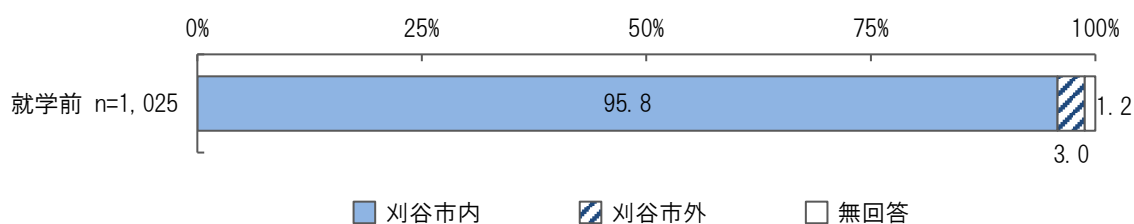
## (9) 教育・保育事業を利用したい場所

問 幼稚園や保育所などを利用したい場所はどこですか。

【就学前：問17-1】

○教育・保育事業を利用したい場所は、「刈谷市内」が95.8%、「刈谷市外」が3.0%となっています。

図表41 教育・保育事業を利用したい場所 <単数回答>



## (10) 幼稚園の利用希望（強く希望）の有無

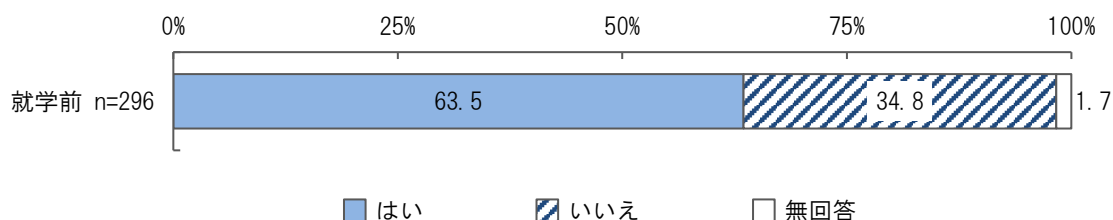
『(7) 定期的に利用したい教育・保育事業』で「幼稚園」または「幼稚園+幼稚園の預かり保育」を回答し、かつそれ以外の選択肢のいずれかにも回答した方のみ

問 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。

【就学前：問17-2】

○幼稚園の利用希望（強く希望）の有無をみると、「はい」は63.5%、「いいえ」は34.8%となっています。

図表42 幼稚園の利用希望（強く希望）の有無 <単数回答>



## 6 地域の子育て支援事業の利用状況について

### (1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況

問 お子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（「子育て支援センター」「子育て広場」等）を利用していますか。

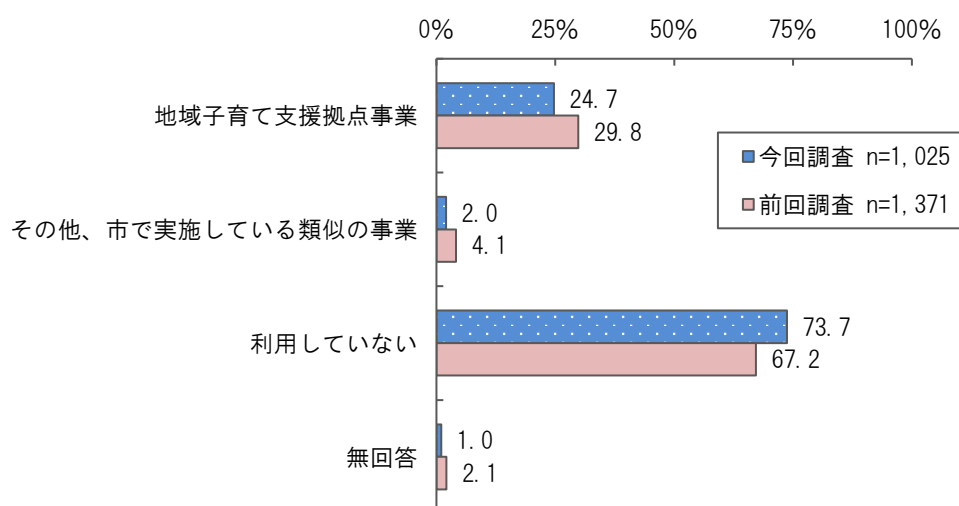
【就学前：問18】

○地域子育て支援拠点事業の利用状況は、「地域子育て支援拠点事業」が24.7%、「その他、市で実施している類似の事業」が2.0%となっています。

一方、「利用していない」は73.7%を占めています。

○前回調査と比較すると、「地域子育て支援拠点事業」では5.1ポイント、「その他、市で実施している類似の事業」では2.1ポイント減少しています。

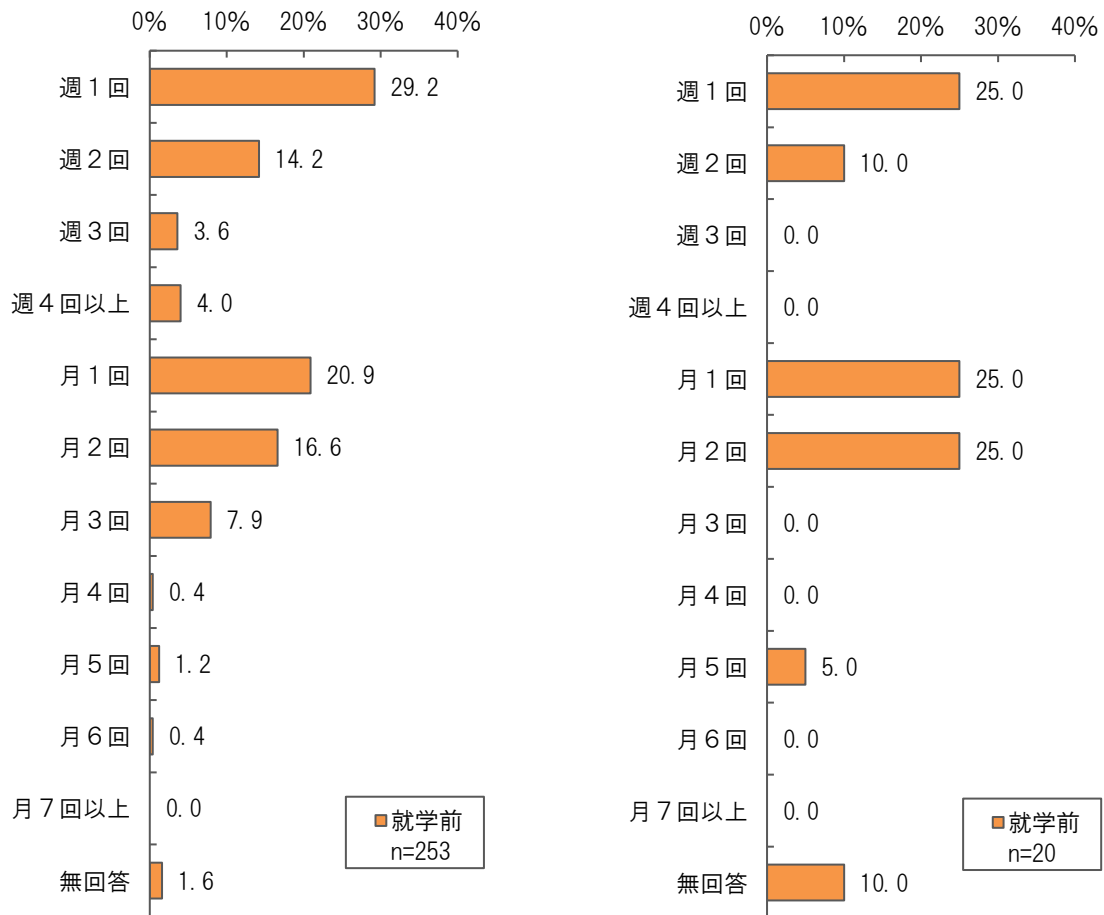
図表43 地域子育て支援拠点事業の利用状況 <複数回答> ※前回調査比較



- 地域子育て支援拠点事業の利用回数をみると、「週1回」が29.2%と最も高く、次いで「月1回」（20.9%）となっています。
- その他、市で実施している類似の事業の利用回数は、「週1回」「月1回」「月2回」がともに25.0%と高くなっています。

図表44 地域子育て支援拠点事業の利用回数 <数量回答>

【地域子育て支援拠点事業の利用回数】      【その他、市で実施している類似の事業の利用回数】





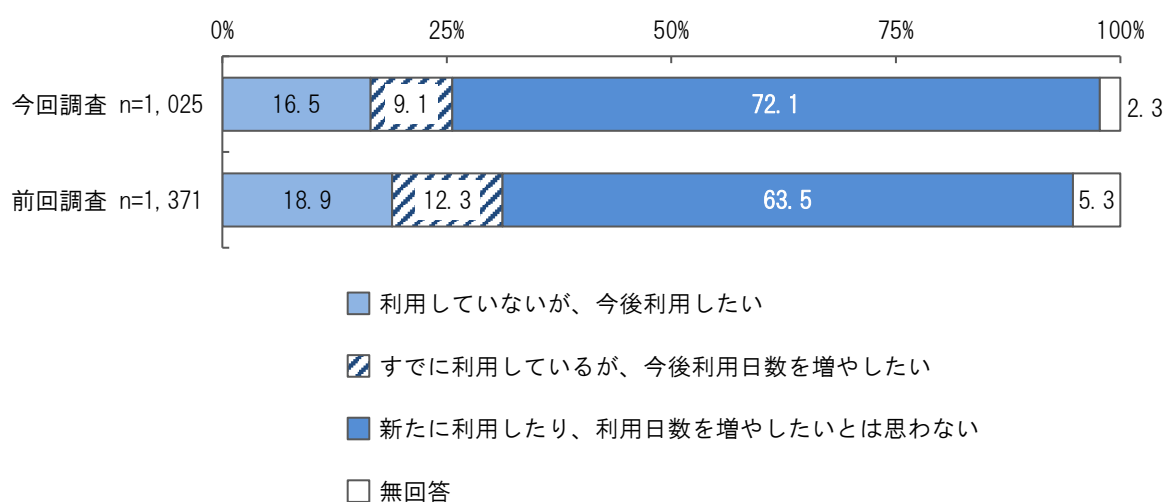
## (2) 地域子育て支援拠点事業の利用希望

問 地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。

【就学前：問19】

- 地域子育て支援拠点事業の利用希望をみると、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が72.1%と最も高くなっています。  
また、「利用していないが、今後利用したい」（16.5%）や「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」（9.1%）の新たな利用や利用の拡大を希望する人は、25.6%となっています。
- 前回調査と比較すると、「利用していないが、今後利用したい」では2.4ポイント、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」では3.2ポイント減少しています。

図表45 地域子育て支援拠点事業の利用希望 <単数回答> ※前回調査比較



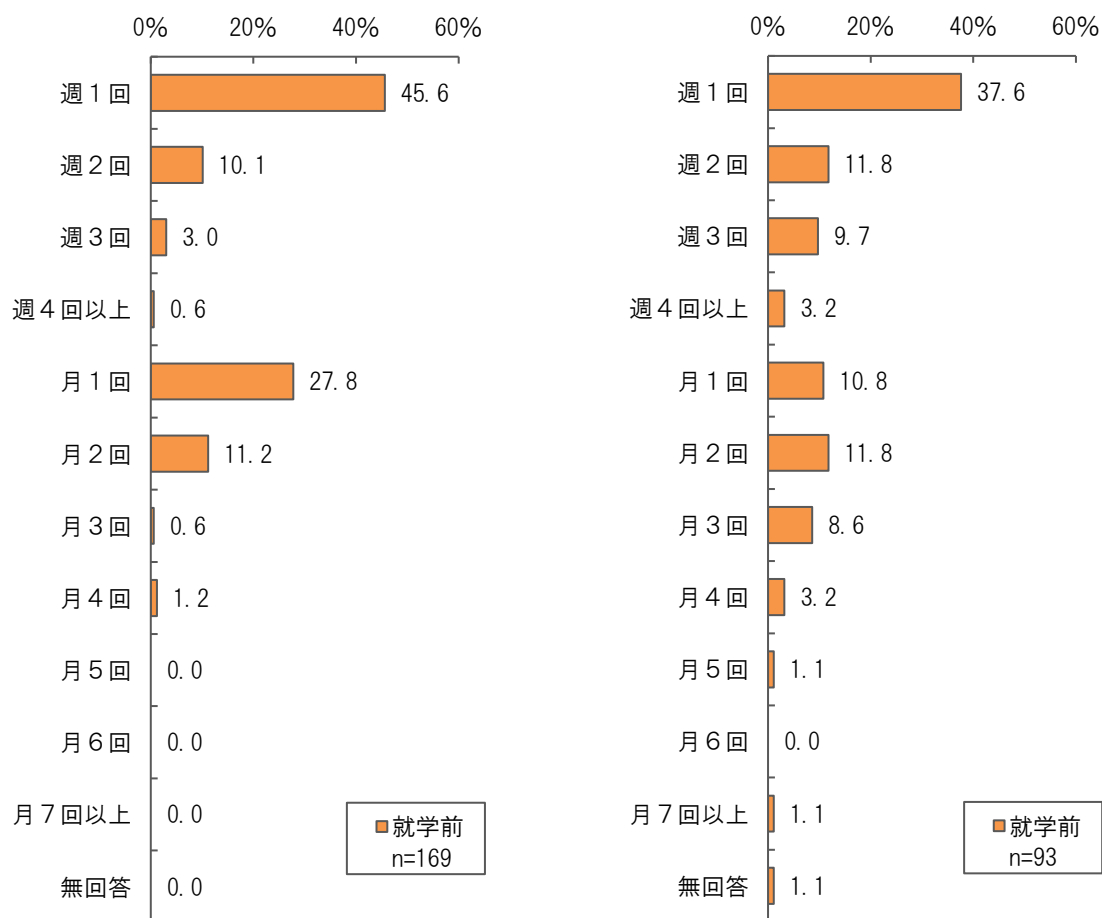
○利用していないが、今後利用したい人が希望する利用日数は、「週1回」が45.6%と最も高く、次いで「月1回」（27.8%）となっています。

○すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい人が希望する利用日数は、「週1回」が37.6%と最も高く、次いで「週2回」「月2回」（各11.8%）となっています。

図表46 地域子育て支援拠点事業の利用希望日数 <数量回答>

【利用していないが、今後利用したい日数】

【すでに利用しているが、  
今後利用日数を増やしたい日数】



## 7 土曜・休日や長期休暇期間中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

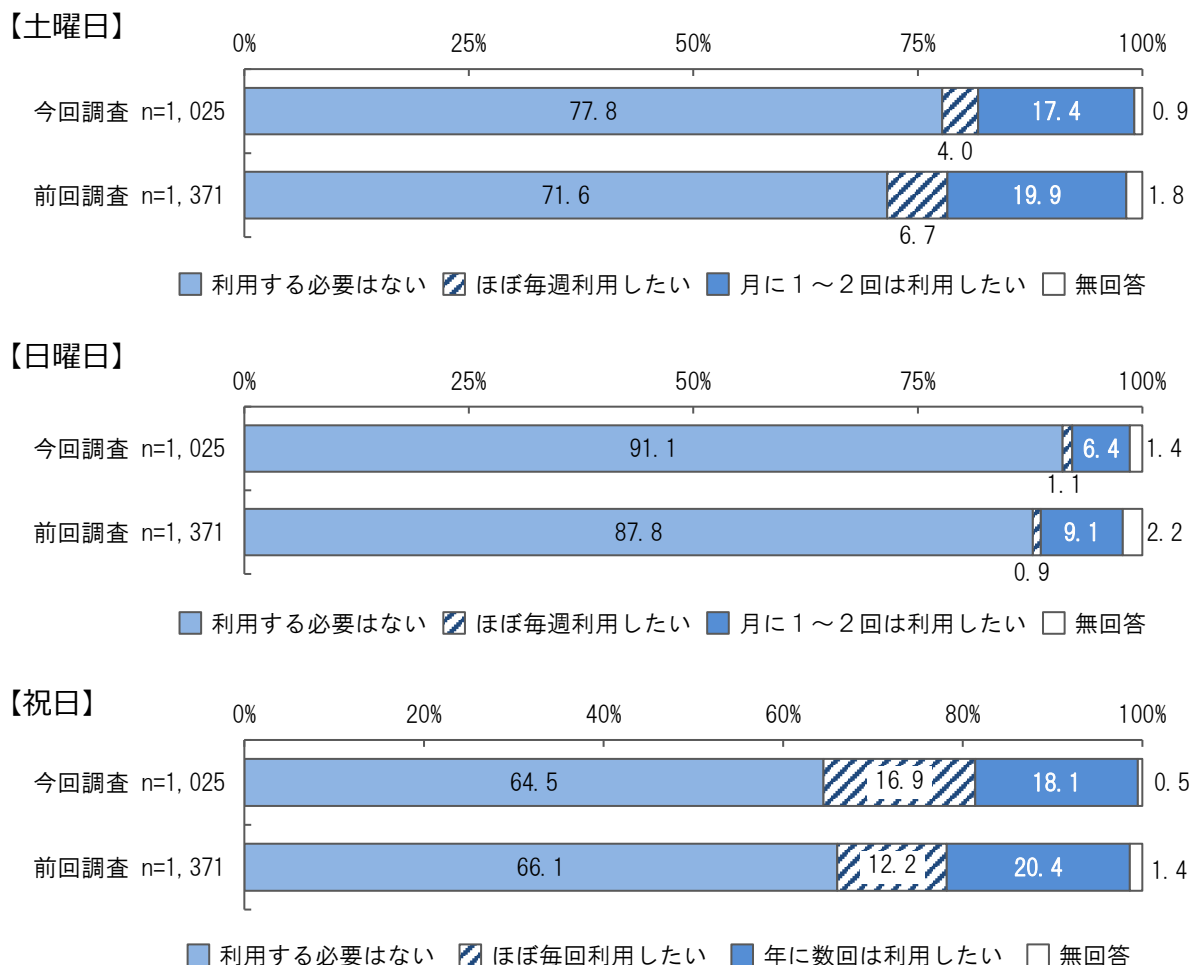
### (1) 土曜日、日曜日、祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望

問 お子さんについて、土曜日、日曜日、祝日それぞれに、定期的な幼稚園や保育所などの利用希望はありますか。

【就学前：問20】

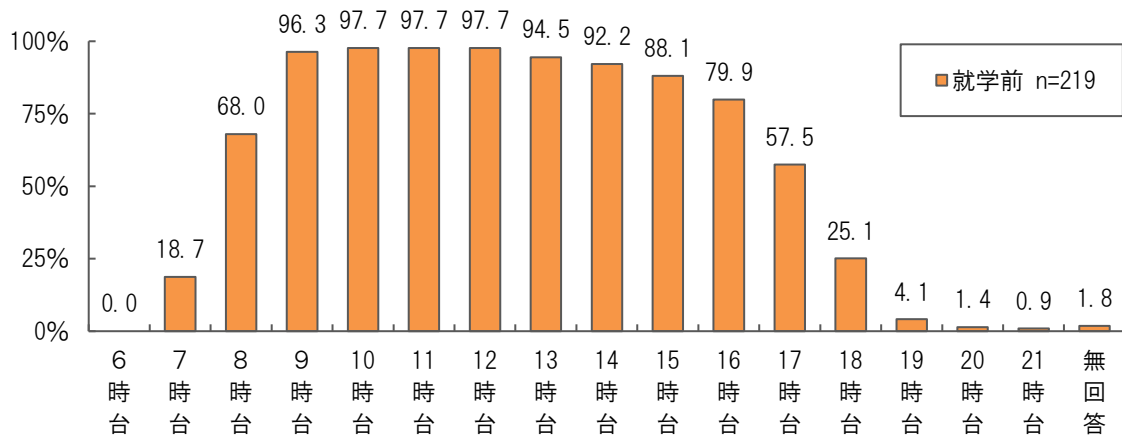
- 土曜日、日曜日、祝日の定期的な幼稚園や保育所などの利用についてみると、いずれも「利用する必要はない」が最も高くなっています。  
また、利用希望は、土曜日では「ほぼ毎週利用したい」（4.0%）と「月に1～2回は利用したい」（17.4%）を合わせた21.4%、日曜日では「ほぼ毎週利用したい」（1.1%）と「月に1～2回は利用したい」（6.4%）を合わせた7.5%、祝日では「ほぼ毎回利用したい」（16.9%）と「年に数回は利用したい」（18.1%）を合わせた35.0%となり、祝日の利用希望は土曜日・日曜日より高くなっています。
- 前回調査と比較すると、土曜日・日曜日では「利用する必要はない」が増加しているものの、祝日では減少し、「ほぼ毎回利用したい」が4.7ポイント増加しています。

図表47 土曜日、日曜日、祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望 <単数回答> ※前回調査比較

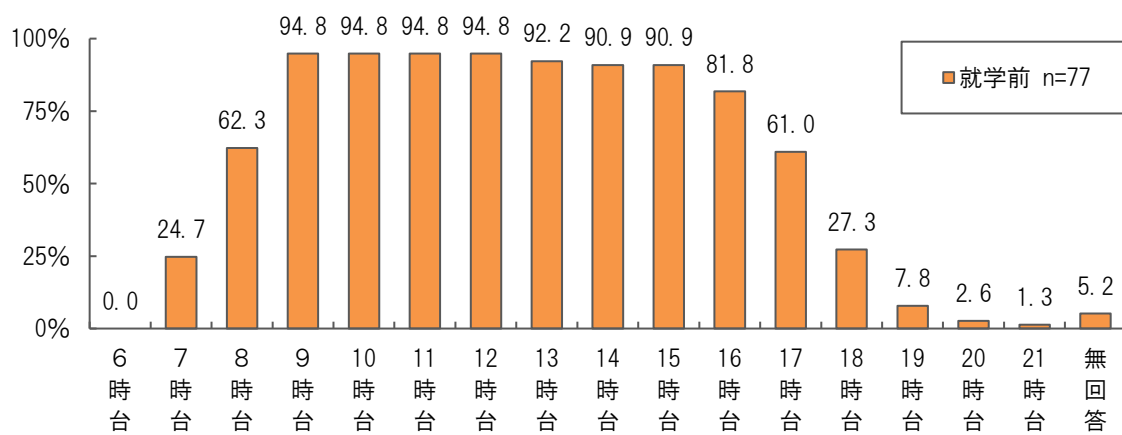


図表48 土曜日、日曜日、祝日の定期的な教育・保育事業の利用したい時間帯 <数量回答>

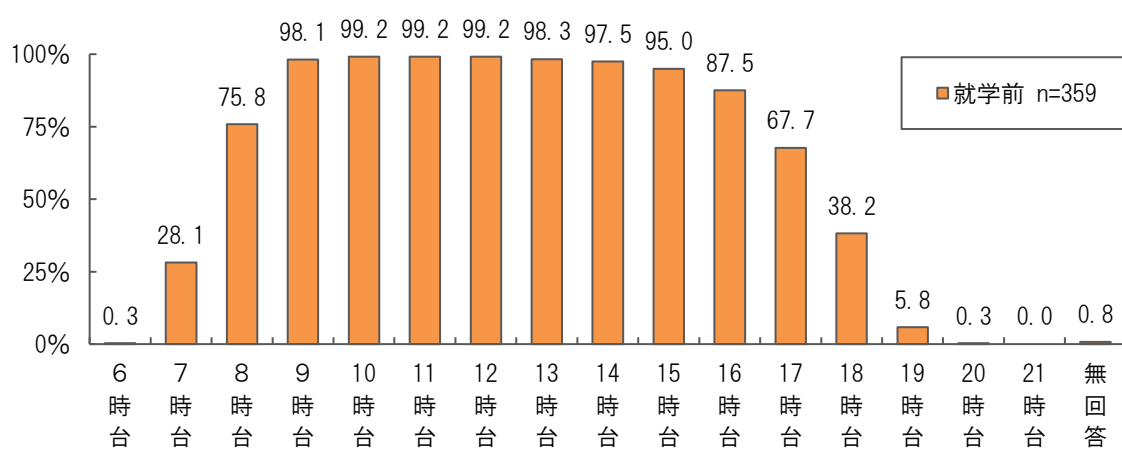
【土曜日】



【日曜日】



【祝日】



## (2) 土曜日、日曜日、祝日にたまに利用したい理由

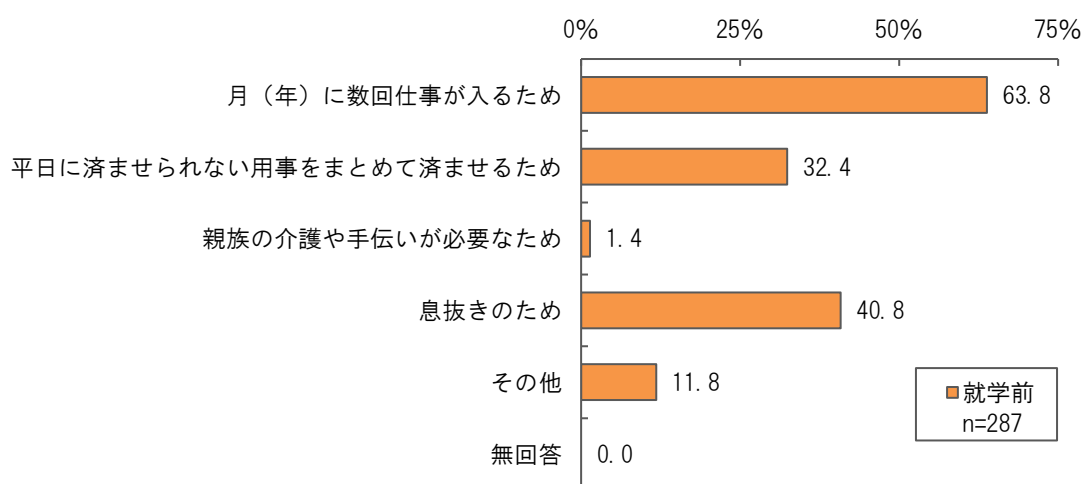
『(1) 土曜日、日曜日、祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望』の土曜日、日曜日で「月に1～2回は利用したい」、祝日で「年に数回は利用したい」と回答した方のみ

問 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。

【就学前：問20-1】

○土曜日、日曜日、祝日にたまに利用したい理由は、「月（年）に数回仕事が入るため」が63.8%と最も高く、次いで「息抜きのため」（40.8%）、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」（32.4%）となっています。

図表49 土曜日、日曜日、祝日にたまに利用したい理由 <複数回答>



### (3) 長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望

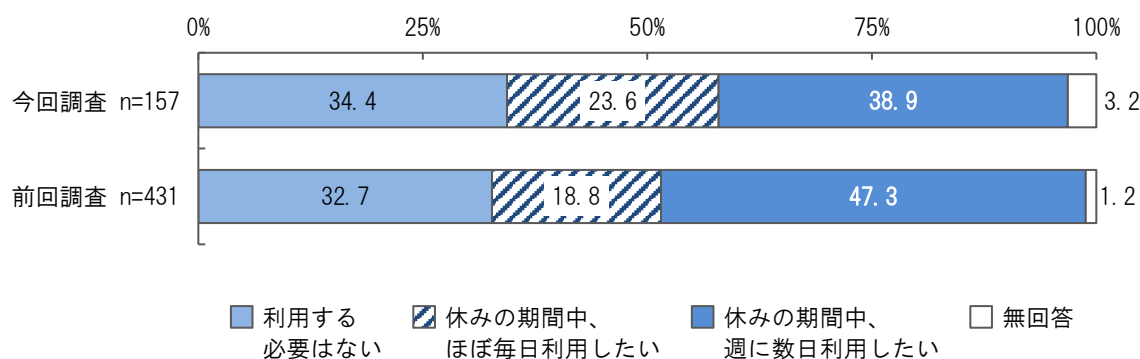
幼稚園を利用している方のみ

問 あて名のお子さんについて、長期の休暇期間（夏休み・冬休み・春休み）中に幼稚園や保育所などの利用を希望しますか。

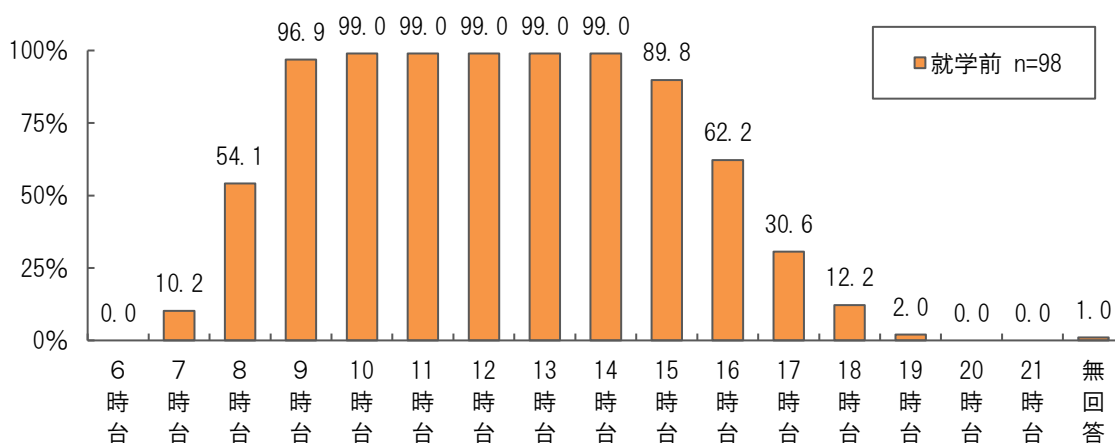
【就学前：問21】

- 長期の休暇期間中の幼稚園や保育所などの利用希望をみると、「休みの期間中、週に数日利用したい」が38.9%と最も高くなっています。
- 前回調査と比較すると、「休みの期間中、週に数日利用したい」は8.4ポイント減少しているのに対し、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」は4.8ポイント増加しています。

図表50 長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望 <単数回答> ※前回調査比較



図表51 長期休暇期間中の教育・保育事業の利用したい時間帯 <数量回答>



## (4) 長期休暇期間中にたまに利用したい理由

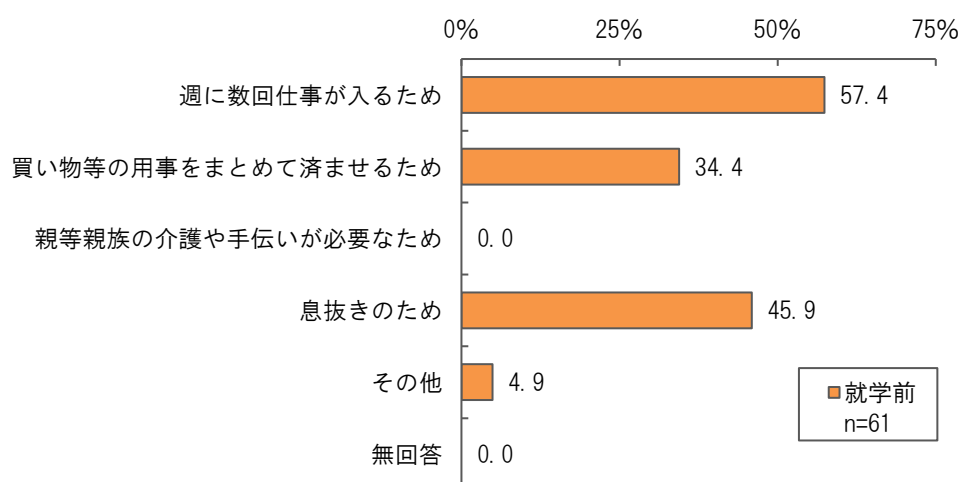
『(3) 長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望』で「休みの期間中、週に数日利用したい」と回答した方のみ

問 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。

【就学前：問21-1】

○長期の休暇期間中にたまに利用したい理由は、「週に数回仕事が入るため」が57.4%と最も高く、次いで「息抜きのため」（45.9%）、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」（34.4%）となっています。

図表52 長期休暇期間中にたまに利用したい理由 <複数回答>



## 8 病気の際の対応について

### (1) 病気やケガで教育・保育事業が利用できなかった（学校を休んだ）ことの有無

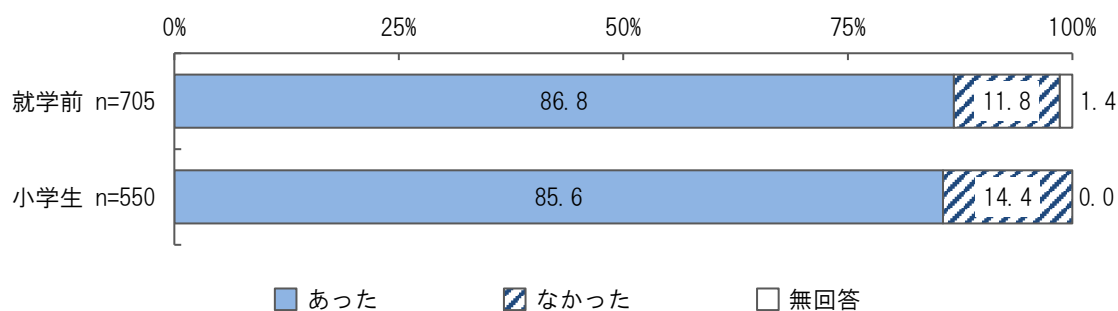
就学前は、平日に定期的な幼稚園や保育所などを利用していると答えた保護者の方（問16で「利用している」に○をつけた方）のみ

問 この1年間に、お子さんが病気やケガで幼稚園や保育所などが利用できなかった（学校を休んだ）ことはありますか。

【就学前：問22、小学生：問14】

○病気やケガで教育・保育事業が利用できなかった（学校を休んだ）ことの有無をみると、就学前では「あった」が86.8%、「なかった」が11.8%となっています。小学生では「あった」が85.6%、「なかった」が14.4%となっています。

図表53 病気やケガで教育・保育事業が利用できなかった（学校を休んだ）ことの有無  
<単数回答>





## (2) 教育・保育事業が利用できなかった（学校を休んだ）時の対応

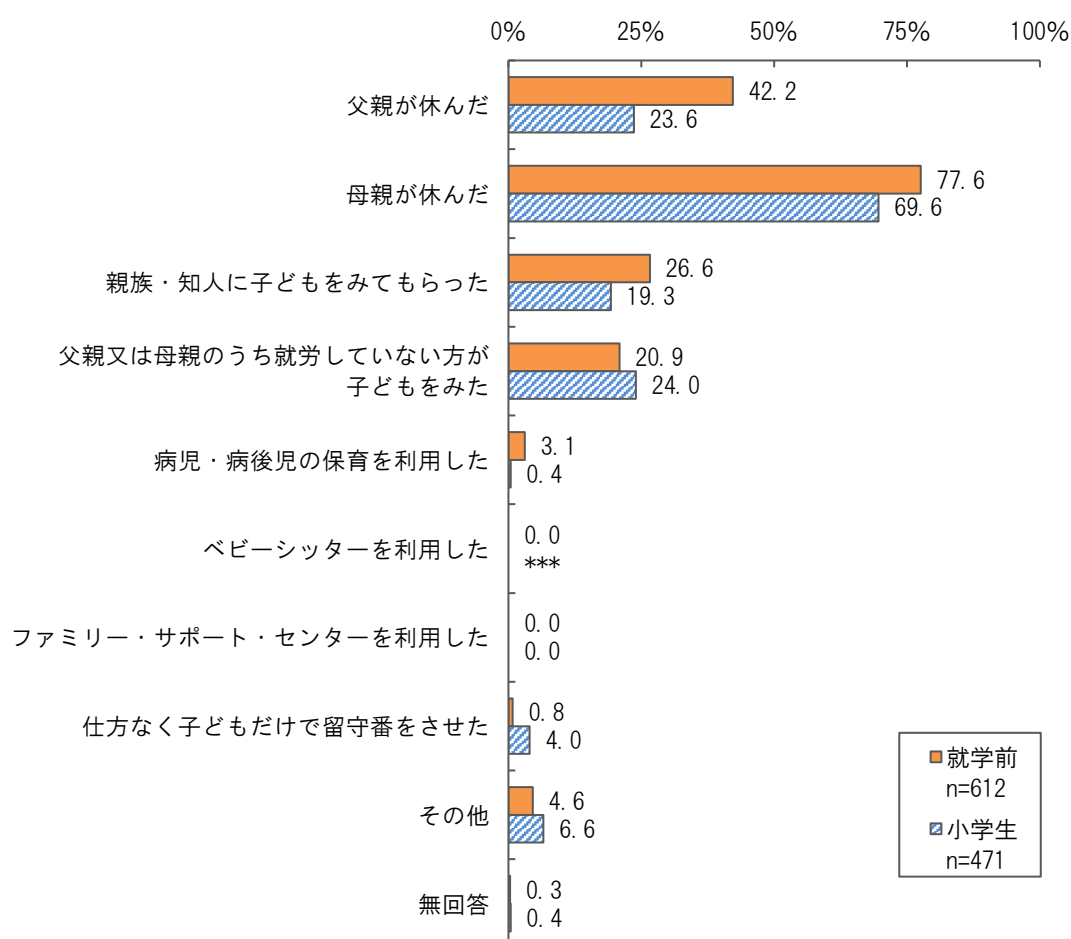
『(1) 病気やケガで教育・保育事業が利用できなかった（学校を休んだ）ことの有無』で「あった」と回答した方のみ

問 お子さんが病気やけがで普段利用している幼稚園や保育所などが利用できなかった（学校を休んだ）場合に、この1年間に行った対応は何ですか。

【就学前：問22-1、小学生：問14-1】

○教育・保育事業が利用できなかった（学校を休んだ）時の対応は、就学前・小学生ともに「母親が休んだ」（77.6%・69.6%）が最も高く、次いで、就学前では「父親が休んだ」（42.2%）、小学生では「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」（24.0%）となっています。

図表54 教育・保育事業が利用できなかった（学校を休んだ）時の対応 <複数回答>



※「ベビーシッターを利用した」は小学生の回答選択肢にはありません。

図表55 教育・保育事業が利用できなかった（学校を休んだ）時の対応（1年当たりの日数）  
 <数量回答>

## 【就学前】

上段：件数、下段：%

	合計	1～3日	4～6日	7～9日	10～12日	13～15日	16～20日	21～30日	31日以上	無回答
父親が休んだ	258	135	58	14	33	6	5	3	0	4
	100.0	52.3	22.5	5.4	12.8	2.3	1.9	1.2	0.0	1.6
母親が休んだ	475	75	123	34	118	42	51	20	8	4
	100.0	15.8	25.9	7.2	24.8	8.8	10.7	4.2	1.7	0.8
親族・知人に子どもをみてもらった	163	64	51	12	16	8	4	3	0	5
	100.0	39.3	31.3	7.4	9.8	4.9	2.5	1.8	0.0	3.1
父親又は母親のうち就労をしていない方が子どもをみた	128	16	21	5	33	15	18	7	5	8
	100.0	12.5	16.4	3.9	25.8	11.7	14.1	5.5	3.9	6.3
病児・病後児の保育を利用した	19	8	3	1	3	0	2	0	0	2
	100.0	42.1	15.8	5.3	15.8	0.0	10.5	0.0	0.0	10.5
ベビーシッターを利用した	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ファミリー・サポート・センターを利用した	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
仕方なく子どもだけで留守番させた	5	3	1	0	1	0	0	0	0	0
	100.0	60.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	28	4	7	1	10	1	0	1	1	3
	100.0	14.3	25.0	3.6	35.7	3.6	0.0	3.6	3.6	10.7

## 【小学生】

上段：件数、下段：%

	合計	1～3日	4～6日	7～9日	10～12日	13～15日	16～20日	21～30日	31日以上	無回答
父親が休んだ	111	78	17	3	9	2	0	0	0	2
	100.0	70.3	15.3	2.7	8.1	1.8	0.0	0.0	0.0	1.8
母親が休んだ	328	116	95	34	50	11	8	3	2	9
	100.0	35.4	29.0	10.4	15.2	3.4	2.4	0.9	0.6	2.7
親族・知人に子どもをみてもらった	91	56	20	4	3	3	1	0	1	3
	100.0	61.5	22.0	4.4	3.3	3.3	1.1	0.0	1.1	3.3
父親又は母親のうち就労をしていない方が子どもをみた	113	34	21	12	29	7	5	1	0	4
	100.0	30.1	18.6	10.6	25.7	6.2	4.4	0.9	0.0	3.5
病児・病後児の保育を利用した	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ファミリー・サポート・センターを利用した	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
仕方なく子どもだけで留守番させた	19	14	3	0	0	0	0	0	1	1
	100.0	73.7	15.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	5.3
その他	31	12	11	0	3	0	1	0	0	4
	100.0	38.7	35.5	0.0	9.7	0.0	3.2	0.0	0.0	12.9

※最も高い箇所に網掛けをしています。

### (3) 病児・病後児保育施設等の利用希望

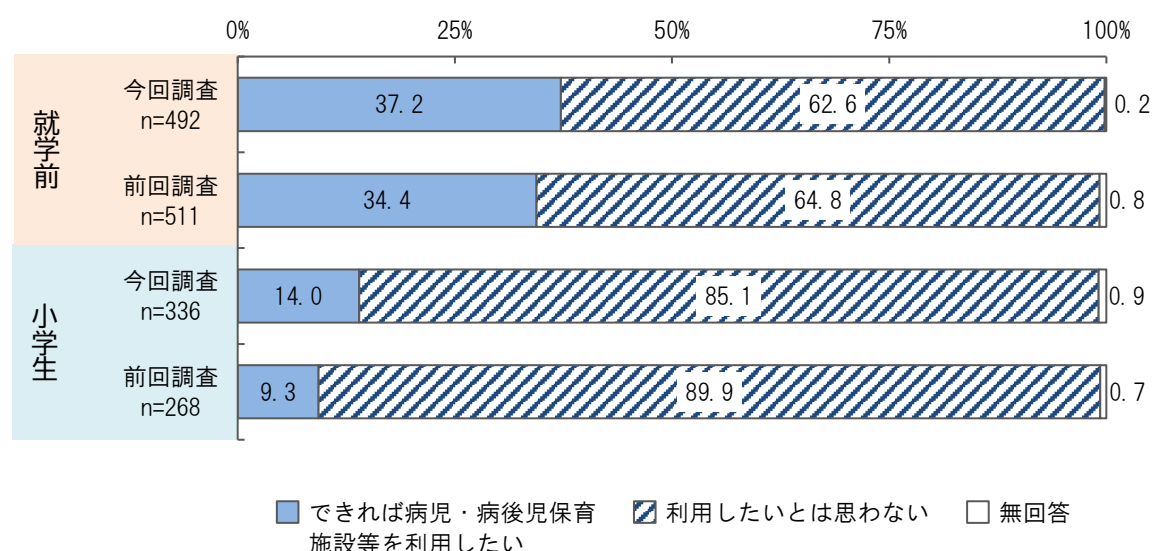
『(2) 教育・保育事業が利用できなかった(学校を休んだ)時の対処方法』で「父親が休んだ」または「母親が休んだ」を回答した方のみ

問 「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思いましたか。

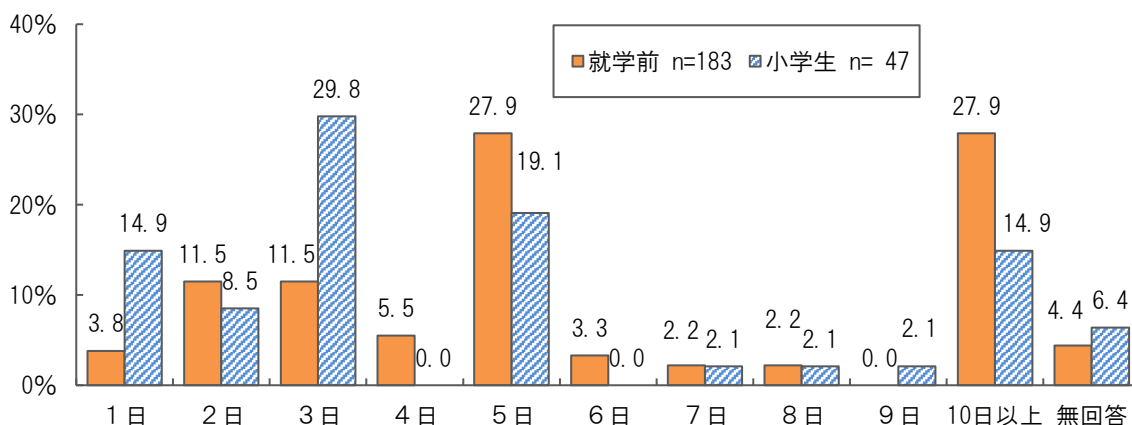
【就学前：問22-2、小学生：問14-2】

- 病児・病後児保育施設等の利用希望をみると、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」は、就学前では37.2%、小学生では14.0%となっています。
- 前回調査と比較すると、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」は、就学前・小学生ともにやや高くなっています。
- 年間利用希望日数は、就学前では「5日」「10日以上」(各27.9%)、小学生では「3日」(29.8%)が最も高くなっています。

図表56 病児・病後児保育施設等の利用希望 <単数回答> ※前回調査比較



図表57 病児・病後児保育施設等の年間利用希望日数 <数量回答>



## (4) 病児・病後児保育施設等の事業形態の希望

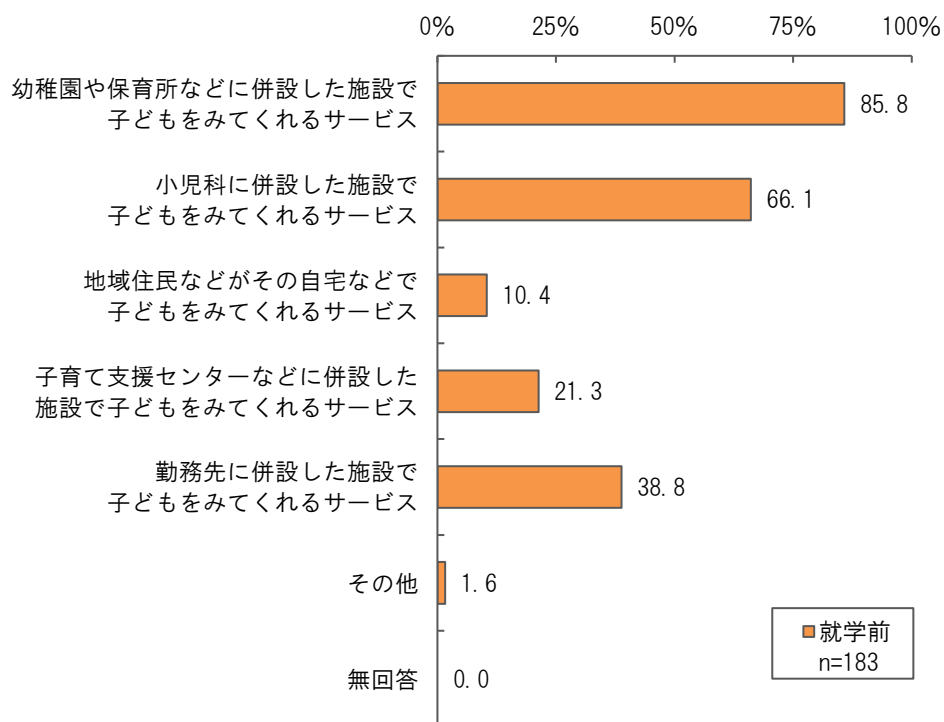
『(3) 病児・病後児保育施設等の利用希望』で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した方のみ

問 病児・病後児保育施設等を利用する場合、どのようなサービスが望ましいと思いますか。

【就学前：問22-3】

○病児・病後児保育施設等の事業形態の希望は、「幼稚園や保育所などに併設した施設で子どもをみてるサービス」が85.8%と最も高く、次いで「小児科に併設した施設で子どもをみてるサービス」（66.1%）、「勤務先に併設した施設で子どもをみてるサービス」（38.8%）となっています。

図表58 病児・病後児保育施設等の事業形態の希望 <複数回答>



## (5) 病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由

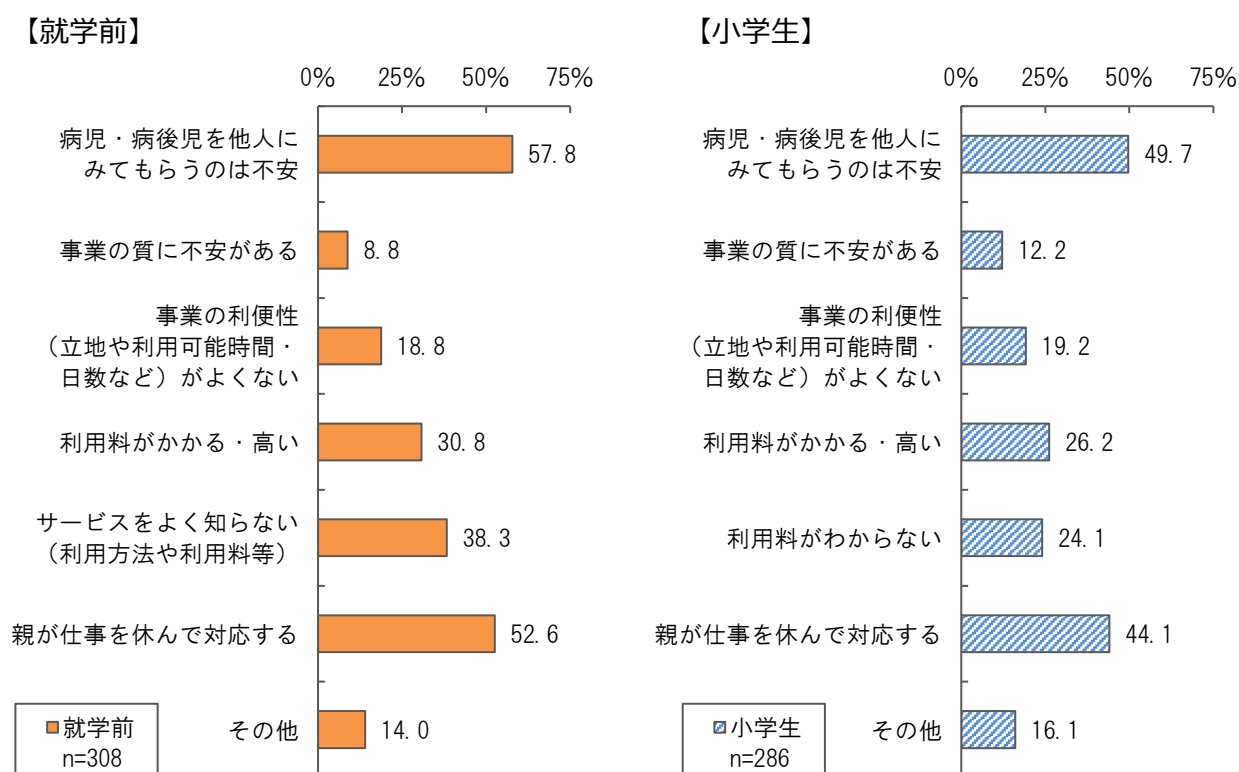
『(3) 病児・病後児保育施設等の利用希望』で「利用したいと思わない」と回答した方のみ

問 病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由は何ですか。

【就学前：問22-4、小学生：問14-3】

○病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由は、就学前・小学生ともに「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」(57.8%・49.7%)が最も高く、次いで「親が仕事を休んで対応する」(52.6%・44.1%)となっています。

図表59 病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由 &lt;複数回答&gt;



(6) 父母が仕事を休んで子どもをみたかったことの有無

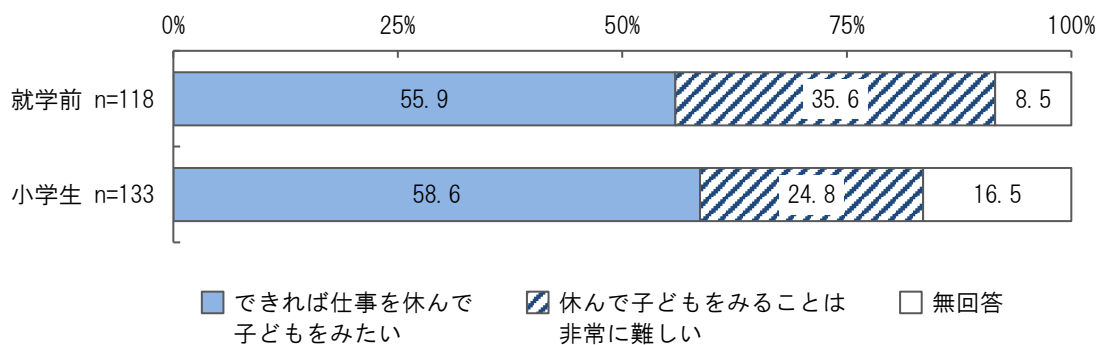
『(2) 教育・保育事業が利用できなかった(学校を休んだ)時の対処方法』で「父親が休んだ」または「母親が休んだ」以外を回答した方のみ

問 「できれば父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたい」と思いましたか。

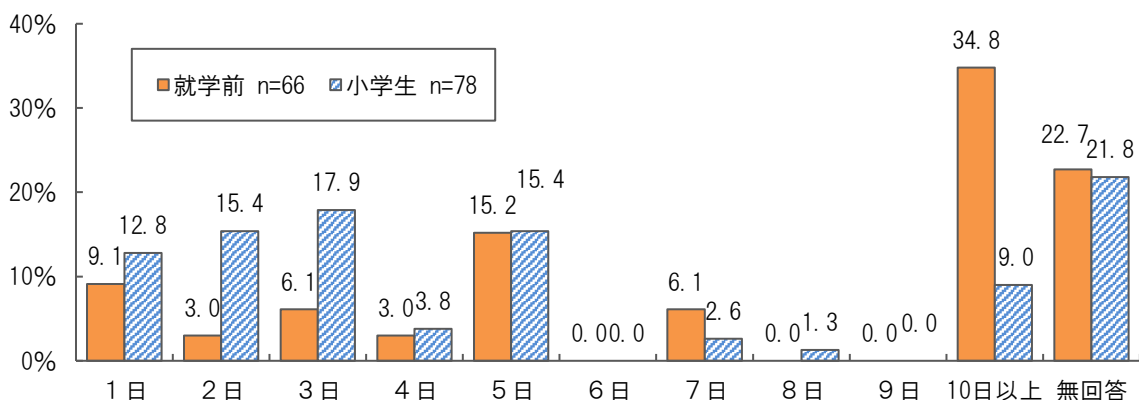
【就学前：問22-5、小学生：問14-4】

- できれば父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたいと思ったかについては、就学前・小学生ともに「できれば仕事を休んで子どもをみたい」(55.9%・58.6%)が5割以上となっています。
- 一方、「休んで子どもをみることは非常に難しい」は、就学前では35.6%、小学生では24.8%となっています。
- 年間希望日数は、就学前では「10日以上」(34.8%)、小学生では「3日」(17.9%)が最も高くなっています。

図表60 「できれば父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたい」と思ったか <単数回答>



図表61 父母が仕事を休んで子どもをみたかった年間希望日数 <数量回答>



## (7) 仕事を休んで子どもをみることが非常に難しい理由

『(6) 父母が仕事を休んで子どもをみたかったことの有無』で「休んで子どもをみることは非常に難しい」と回答した方のみ

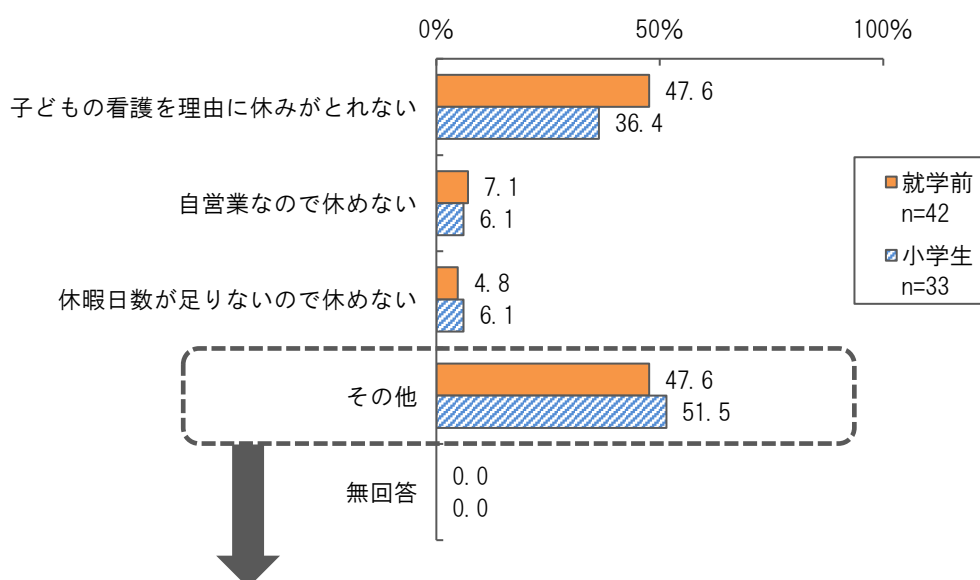
問 父母が仕事を休んで子どもをみることは非常に難しいと思う理由は何ですか。

【就学前：問22-6、小学生：問14-5】

○仕事を休んで子どもをみるのが難しい理由をみると、「子どもの看護を理由に休みがとれない」は、就学前で47.6%、小学生で36.4%と高くなっています。

また、「その他」の理由とする回答が、就学前では47.6%、小学生では51.5%となっています。

図表62 仕事を休んで子どもをみるのが難しい理由 <複数回答>



【その他の主な内容】

就学前	件数	小学生	件数
人手不足（職場に代替りの人がいない）	9	仕事が忙しい（職場に迷惑がかかる）	6
仕事が忙しい（職場に迷惑がかかる）	7	見てくれる人がいる	5
見てくれる人がいる	7	人手不足（職場に代替りの人がいない）	4
休むと仕事が終わらない	5	休むと仕事が終わらない	4
どうしても休めないタイミングがある	5	キャリアに支障がでる	1
給料が減るから	2	休みにくい（職場の雰囲気）	1
休みにくい（職場の雰囲気）	2		

## 9 不規則の教育・保育事業や一時預かり等の利用について

### (1) 不規則の教育・保育事業や一時預かり等の利用状況

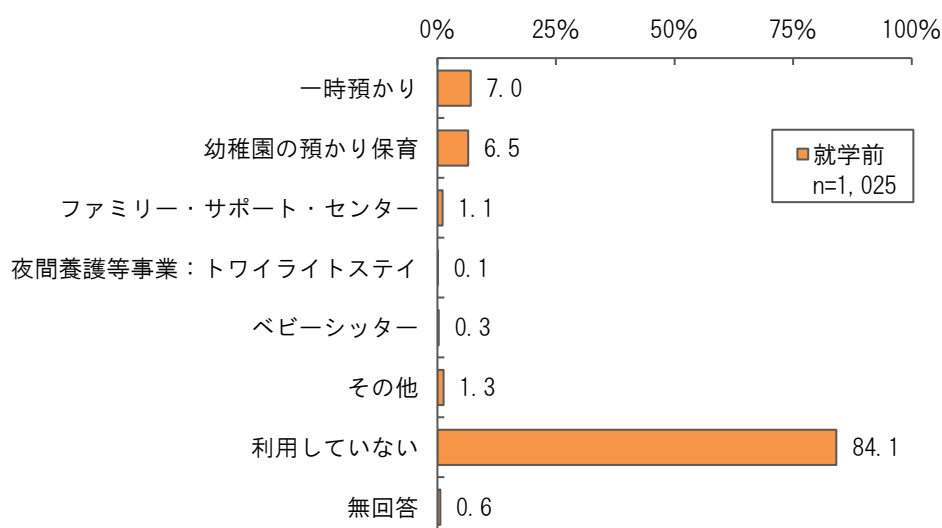
問 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不規則の就労等の目的で、不規則に利用している事業はありますか。

【就学前：問23】

○不規則に利用している一時預かり等の事業についてみると、「利用していない」が84.1%と最も高くなっています。

また、利用している事業は、「一時預かり」が7.0%、「幼稚園の預かり保育」が6.5%となり、いずれの事業も1割未満となっています。

図表63 不規則に利用している一時預かり等の事業 <複数回答>



図表64 不規則に利用している一時預かり等の事業（1年当たりの日数）<数量回答>

上段：人、下段：%

	合計	1～3日	4～6日	7～9日	10～12日	13～15日	16～20日	21～30日	31日以上	無回答
一時預かり	72	15	8	0	13	4	6	4	20	2
	100.0	20.8	11.1	0.0	18.1	5.6	8.3	5.6	27.8	2.8
幼稚園の預かり保育	67	24	9	2	10	0	2	2	13	5
	100.0	35.8	13.4	3.0	14.9	0.0	3.0	3.0	19.4	7.5
ファミリー・サポート・センター	11	5	2	0	1	0	1	0	1	1
	100.0	45.5	18.2	0.0	9.1	0.0	9.1	0.0	9.1	9.1
夜間養護等事業：トワイライトステイ	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
ベビーシッター	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	13	4	1	1	0	1	1	0	5	0
	100.0	30.8	7.7	7.7	0.0	7.7	7.7	0.0	38.5	0.0

※最も高い箇所に網掛けをしています。



## (2) 不定期の教育・保育事業や一時預かり等を利用していない理由

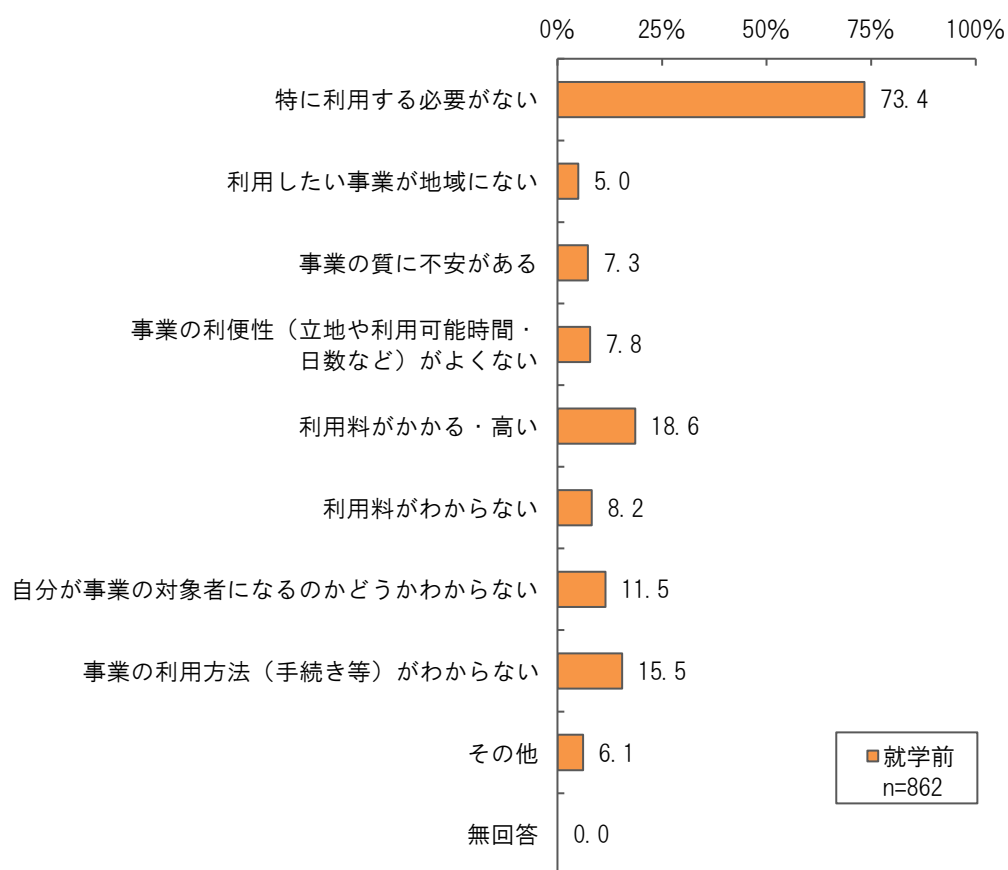
『(1) 不定期に利用している一時預かり等の事業』で「利用していない」と回答した方のみ

問 不定期の教育・保育事業や一時預かり等を現在利用していない理由は何ですか。

【就学前：問23-1】

○不定期の教育・保育事業や一時預かり等を利用していない理由は、「特に利用する必要がない」が73.4%と最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」（18.6%）、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」（15.5%）となっています。

図表65 不定期の教育・保育事業や一時預かり等を利用していない理由 &lt;複数回答&gt;



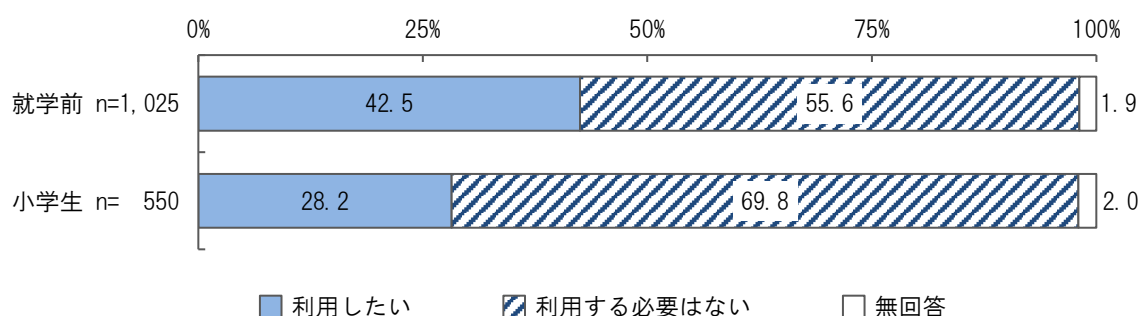
## (3) 不定期の一時預かり等の事業の利用希望

問 お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい一時預かり等の事業を利用する必要があると思いますか。

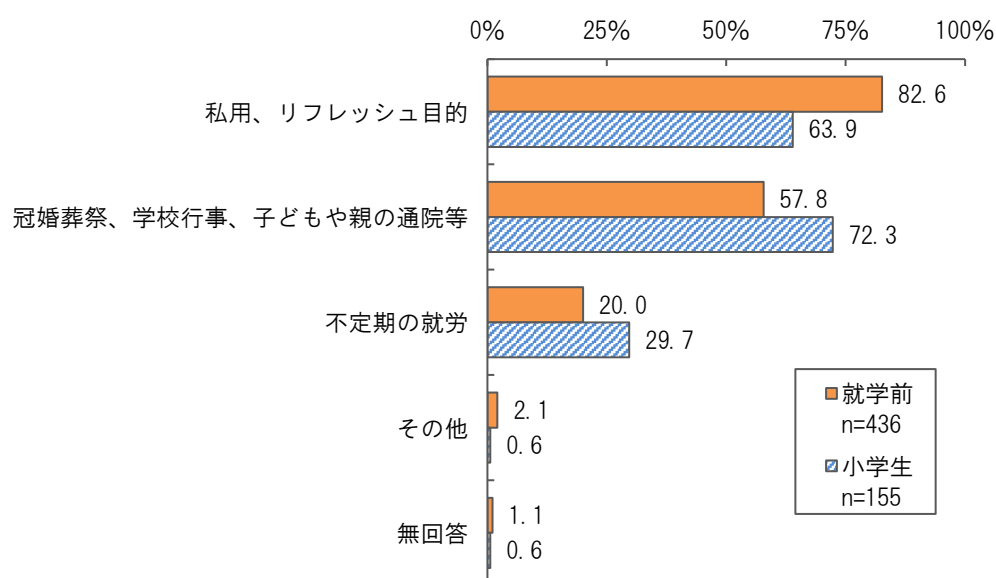
【就学前：問24、小学生：問15】

- 不定期の一時預かり等の事業の利用希望をみると、「利用したい」は、就学前では42.5%、小学生では28.2%となり、半数以上は「利用する必要はない」と回答しています。
- 不定期の一時預かり等の事業の利用目的は、就学前では「私用、リフレッシュ目的」（82.6%）、小学生では「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」（72.3%）が最も高くなっています。

図表66 不定期の一時預かり等の事業の利用希望 <単数回答>

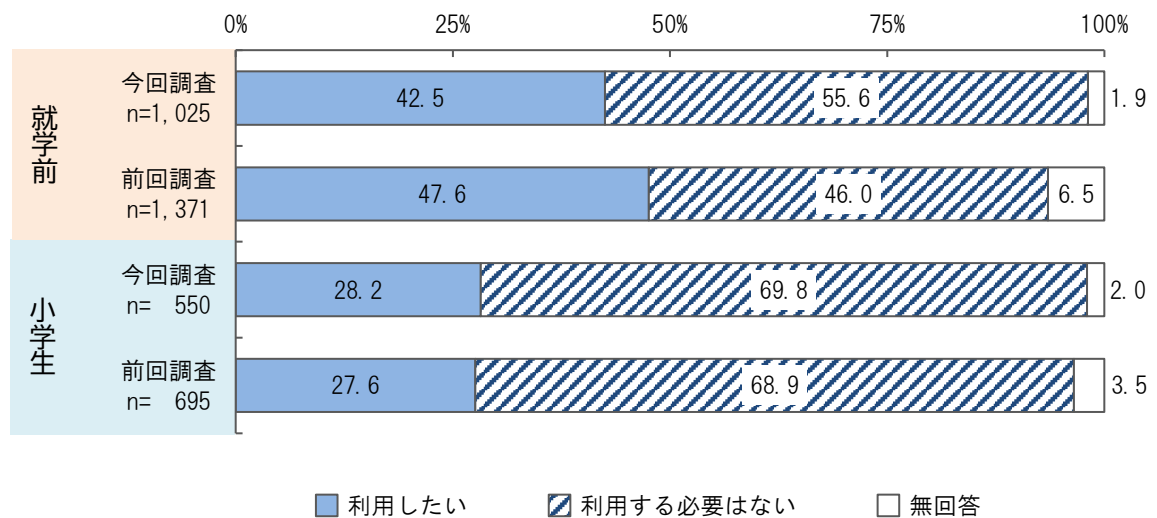


図表67 不定期の一時預かり等の事業の利用目的 <複数回答>



- 不定期の一時預かり等の事業の利用希望を前回調査と比較すると、「利用したい」は、就学前では5.1ポイント減少し、小学生では0.6ポイント微増しています。
  - 利用目的を前回調査と比較すると、就学前では「私用、リフレッシュ目的」が7.9ポイント増加し、「不定期の就労」が5.9ポイント減少しています。
- また、小学生では「私用、リフレッシュ目的」「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」「不定期の就労」のいずれも増加し、特に「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」は10.3ポイント増加しています。

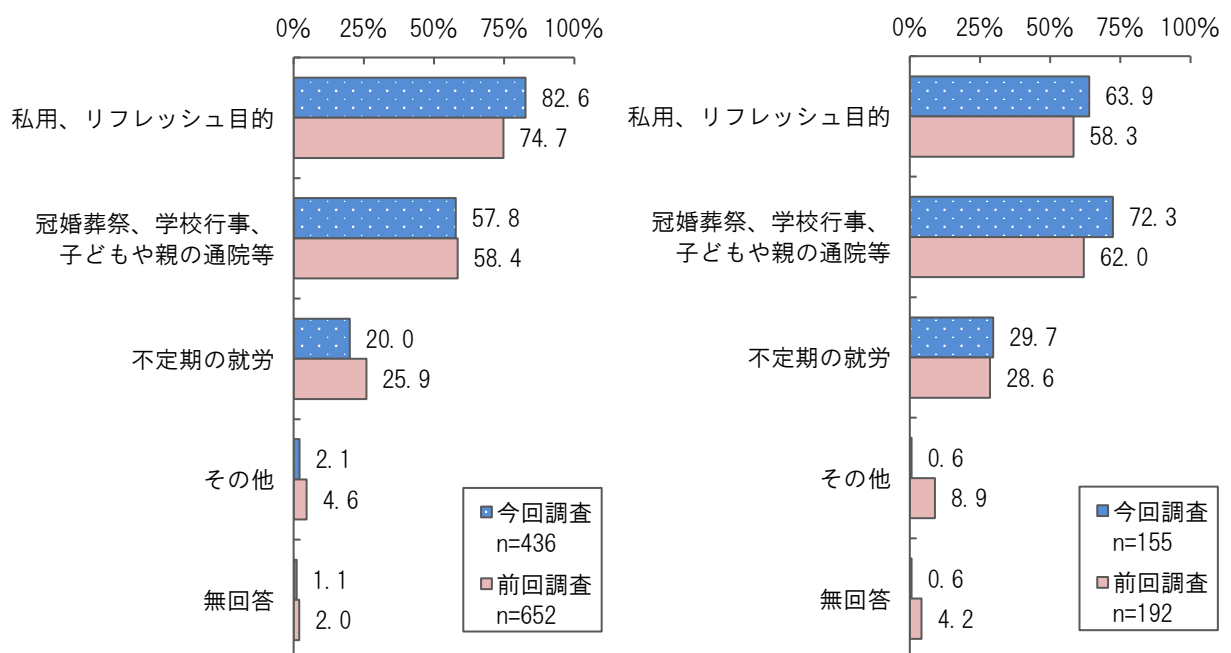
図表68 不定期の一時預かり等の事業の利用希望 <単数回答>※前回調査比較



図表69 不定期の一時預かり等の事業の利用目的 <複数回答>※前回調査比較

【就学前】

【小学生】



図表70 不規則の一時預かり等の事業の利用目的（1年当たりの日数）＜数量回答＞

## 【就学前】

上段：件数、下段：%

	合計	1～3日	4～6日	7～9日	10～12日	13～15日	16～20日	21～30日	31～40日	41～50日	51～60日	61日以上	無回答
利用したい日数の合計	436	56	80	21	92	32	35	45	17	15	9	23	11
	100.0	12.8	18.3	4.8	21.1	7.3	8.0	10.3	3.9	3.4	2.1	5.3	2.5
私用、リフレッシュ目的	360	90	79	6	107	7	12	25	6	13	4	5	6
	100.0	25.0	21.9	1.7	29.7	1.9	3.3	6.9	1.7	3.6	1.1	1.4	1.7
冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等	252	78	82	4	62	4	9	4	0	4	0	2	3
	100.0	31.0	32.5	1.6	24.6	1.6	3.6	1.6	0.0	1.6	0.0	0.8	1.2
不規則の就労	87	17	17	2	15	4	4	8	3	2	1	10	4
	100.0	19.5	19.5	2.3	17.2	4.6	4.6	9.2	3.4	2.3	1.1	11.5	4.6
その他	9	3	2	0	2	1	0	0	0	0	0	0	1
	100.0	33.3	22.2	0.0	22.2	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1

## 【小学生】

上段：件数、下段：%

	合計	1～3日	4～6日	7～9日	10～12日	13～15日	16～20日	21～30日	31～40日	41～50日	51～60日	61日以上	無回答
利用したい日数の合計	99	31	28	0	28	1	1	2	1	1	0	4	2
	100.0	31.3	28.3	0.0	28.3	1.0	1.0	2.0	1.0	1.0	0.0	4.0	2.0
私用、リフレッシュ目的	112	46	29	1	27	2	3	1	1	0	0	0	2
	100.0	41.1	25.9	0.9	24.1	1.8	2.7	0.9	0.9	0.0	0.0	0.0	1.8
冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等	46	5	13	5	10	1	4	3	2	1	0	1	1
	100.0	10.9	28.3	10.9	21.7	2.2	8.7	6.5	4.3	2.2	0.0	2.2	2.2
不規則の就労	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	155	29	27	12	37	10	14	10	1	2	3	7	3
	100.0	18.7	17.4	7.7	23.9	6.5	9.0	6.5	0.6	1.3	1.9	4.5	1.9

※最も高い箇所に網掛けをしています。

## (4) 不定期で子どもを預けるのに望ましい事業形態

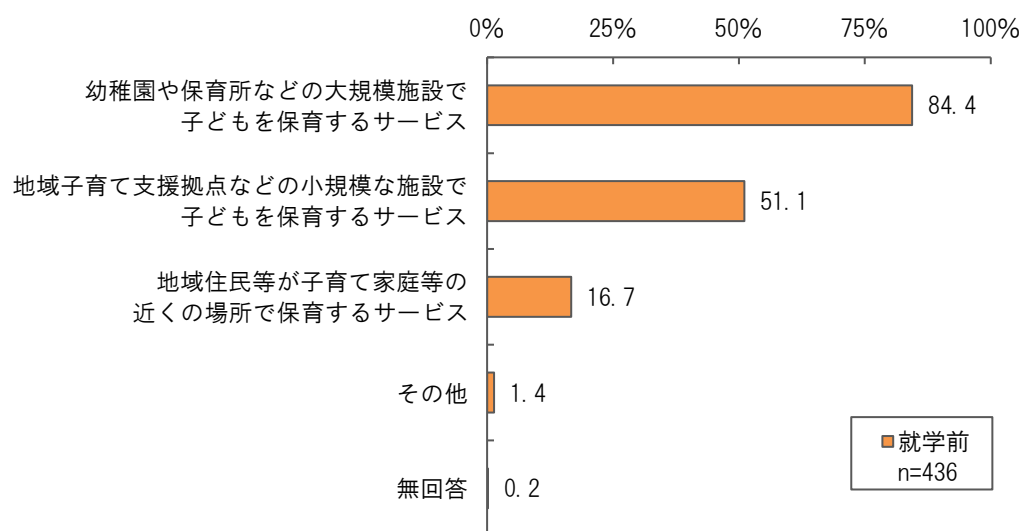
『(3) 不定期の一時預かり等の事業の利用希望』で「利用したい」と回答した方のみ

問 私用、親の通院、不定期の就労等の目的でお子さんを預ける場合、どの事業形態が望ましいと思いますか。

【就学前：問24-1】

○不定期で子どもを預けるのに望ましい事業形態は、「幼稚園や保育所などの大規模施設で子どもを保育するサービス」が84.4%と最も高く、次いで「地域子育て支援拠点等の小規模な施設で子どもを保育するサービス」（51.1%）となっています。

図表71 不定期で子どもを預けるのに望ましい事業形態 &lt;複数回答&gt;



## (5) 短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用希望

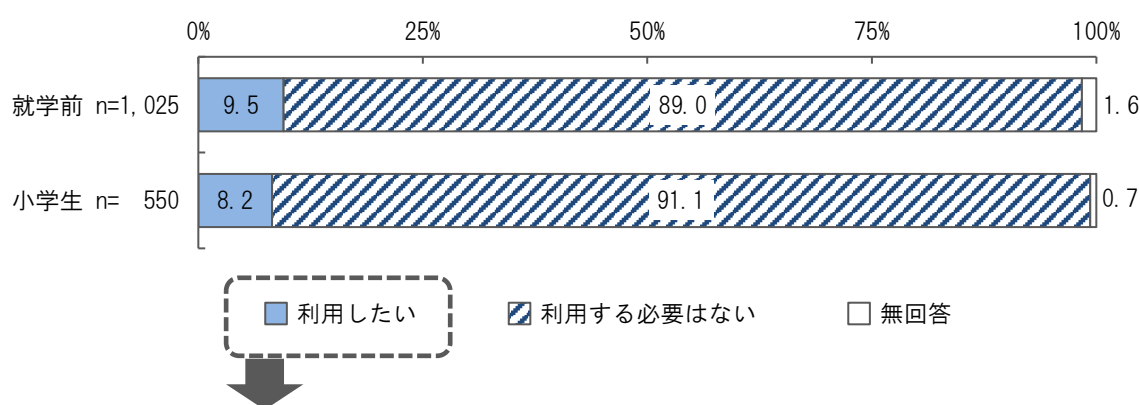
問 あて名のお子さんについて、保護者の用事により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。

（短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用希望はありますか。）

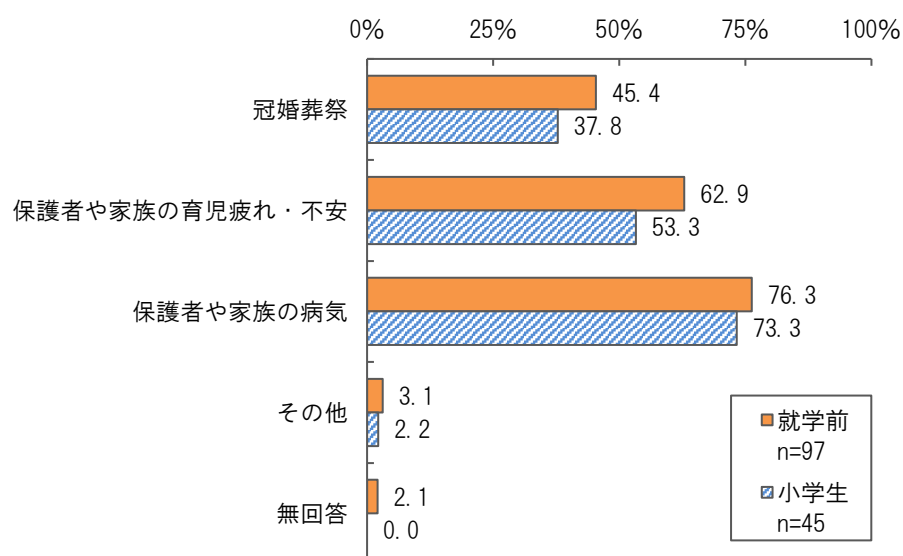
【就学前：問25、小学生：問16】

- 短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用希望をみると、「利用したい」は、就学前では9.5%、小学生では8.2%となり、9割前後が「利用する必要はない」と回答しています。
- 利用の目的をみると、就学前・小学生ともに「保護者や家族の病気」（76.3%・73.3%）が最も高く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」（62.9%・53.3%）となっています。

図表72 短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用希望の有無 <単数回答>



図表73 短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用の目的 <複数回答>



図表74 短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用希望泊数（1年当たりの泊数）  
 <数量回答>

## 【就学前】

上段：件数、下段：%

	合計	1～3泊	4～6泊	7～9泊	10～12泊	13～15泊	16～20泊	21～30泊	31泊以上	無回答
利用したい泊数の合計	97	43	20	8	10	3	4	2	2	5
	100.0	44.3	20.6	8.2	10.3	3.1	4.1	2.1	2.1	5.2
冠婚葬祭	44	40	2	0	1	0	0	0	0	1
	100.0	90.9	4.5	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3
保護者や家族の育児疲れ・不安	61	42	12	0	5	0	0	0	1	1
	100.0	68.9	19.7	0.0	8.2	0.0	0.0	0.0	1.6	1.6
保護者や家族の病気	74	44	18	2	4	1	0	0	2	3
	100.0	59.5	24.3	2.7	5.4	1.4	0.0	0.0	2.7	4.1
その他	3	1	0	1	0	0	0	1	0	0
	100.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0

## 【小学生】

上段：件数、下段：%

	合計	1～3泊	4～6泊	7～9泊	10～12泊	13～15泊	16～20泊	21～30泊	31泊以上	無回答
利用したい泊数の合計	45	23	14	3	1	2	2	0	0	0
	100.0	51.1	31.1	6.7	2.2	4.4	4.4	0.0	0.0	0.0
冠婚葬祭	17	17	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
保護者や家族の育児疲れ・不安	24	19	2	0	3	0	0	0	0	0
	100.0	79.2	8.3	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
保護者や家族の病気	33	21	9	2	1	0	0	0	0	0
	100.0	63.6	27.3	6.1	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※最も高い箇所に網掛けをしています。

## 10 就学前児童の小学校就学後及び小学生児童の放課後の過ごし方について

### (1) 小学校低学年の放課後の過ごし方

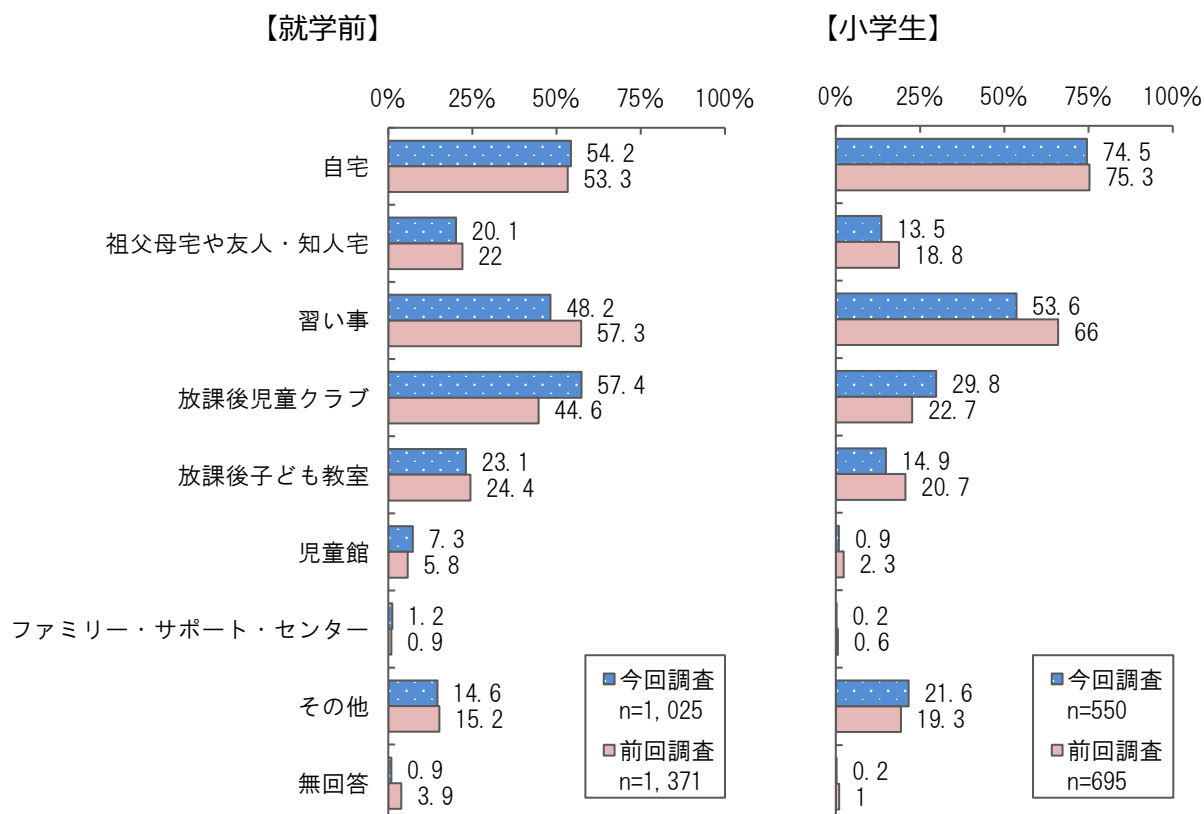
問 (就学前) あて名のお子さんについて、小学校低学年(1～3年生)のうち  
は、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたい  
と思いますか。

(小学生) あて名のお子さんについて、放課後(平日の小学校終了後)の時  
間をどのような場所で過ごしていますか。

【就学前：問26、小学生：問17】

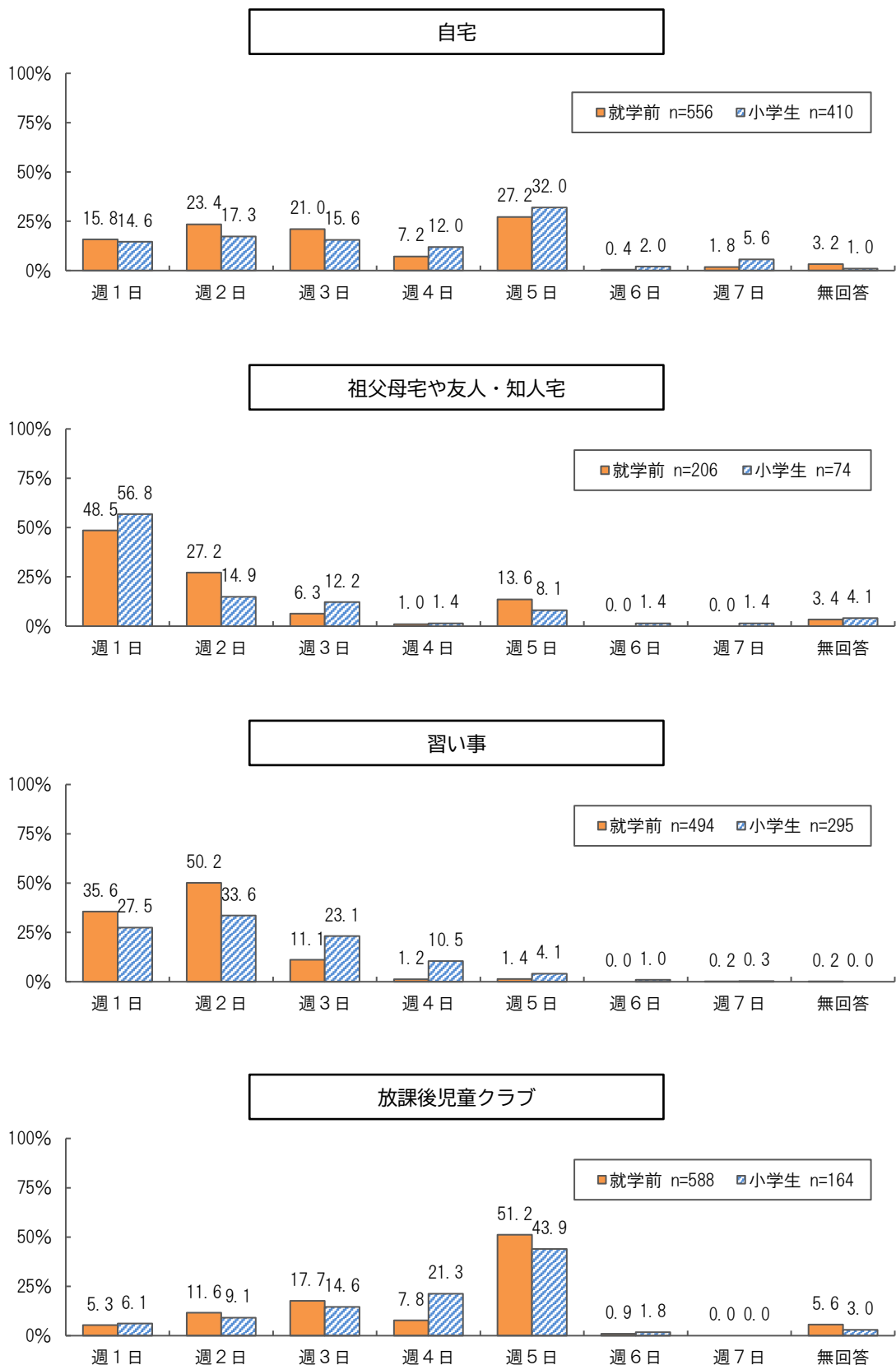
- 小学校低学年時期の放課後の過ごし方をみると、就学前の希望は「放課後児童クラブ」が57.4%と最も高く、次いで「自宅」(54.2%)、「習い事」(48.2%)となっています。
- 小学校低学年時期の小学生の放課後の過ごし方をみると、「自宅」が74.5%と最も高く、次いで「習い事」(53.6%)、「放課後児童クラブ」(29.8%)となっています。
- 前回調査との比較をみると、就学前では「放課後児童クラブ」が12.8ポイント増えています。
- 小学生では、「習い事」が12.4ポイントと大きく減少し、一方、「放課後児童クラブ」は7.1ポイント増加しています。

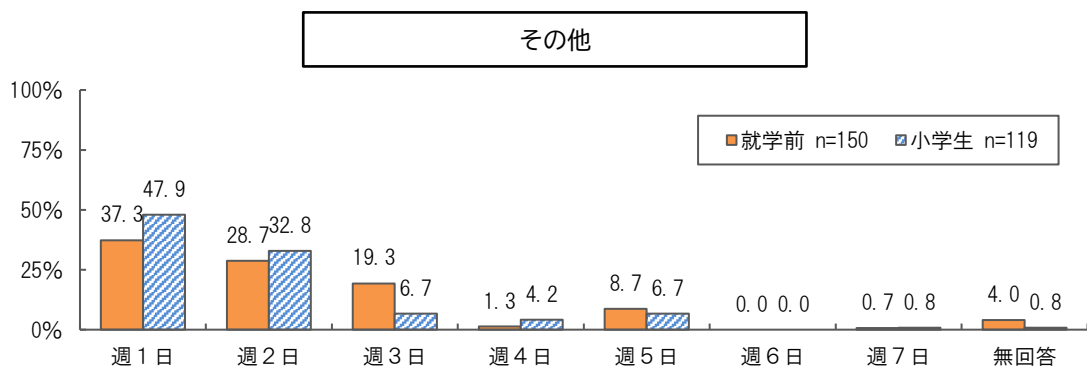
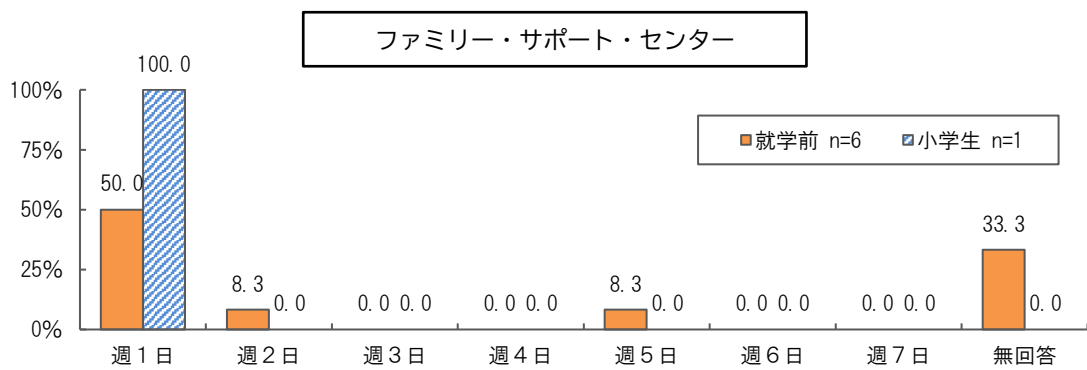
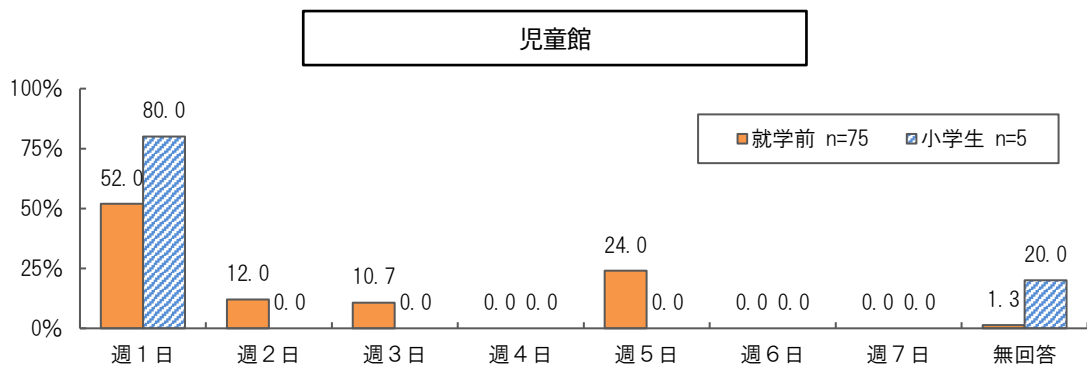
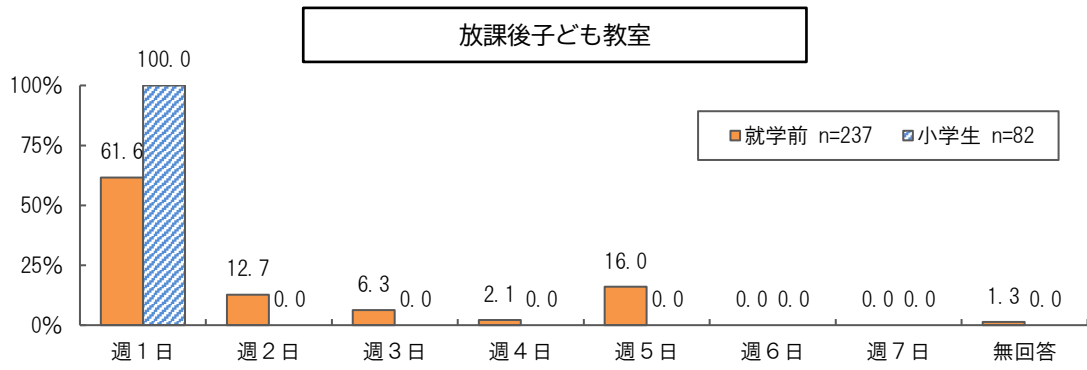
図表75 小学校低学年の放課後の過ごし方 <複数回答>※前回調査比較





図表76 小学校低学年の放課後の過ごし方（1週間当たりの日数） <数量回答>

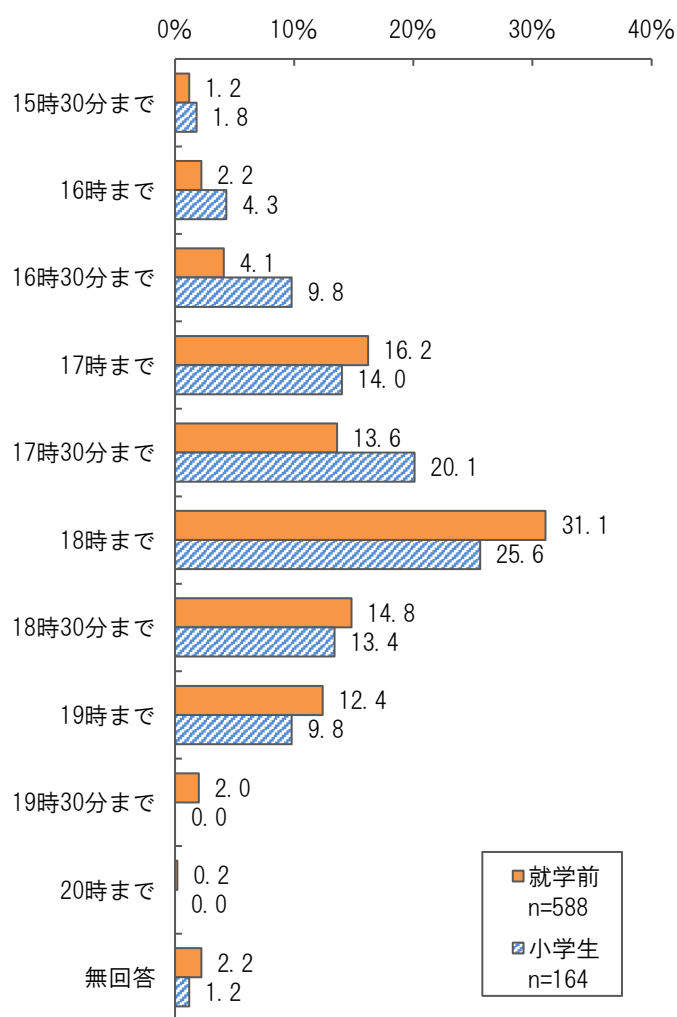




○放課後児童クラブを利用したい時間は、就学前の希望は、下校時から「18時まで」が31.1%と最も高くなっています。

小学生が利用している時間は、下校時から「18時まで」が25.6%と最も高く、次いで「17時30分まで」（20.1%）となっています。

図表77 放課後児童クラブを利用したい（している）時間（小学校低学年） <数量回答>



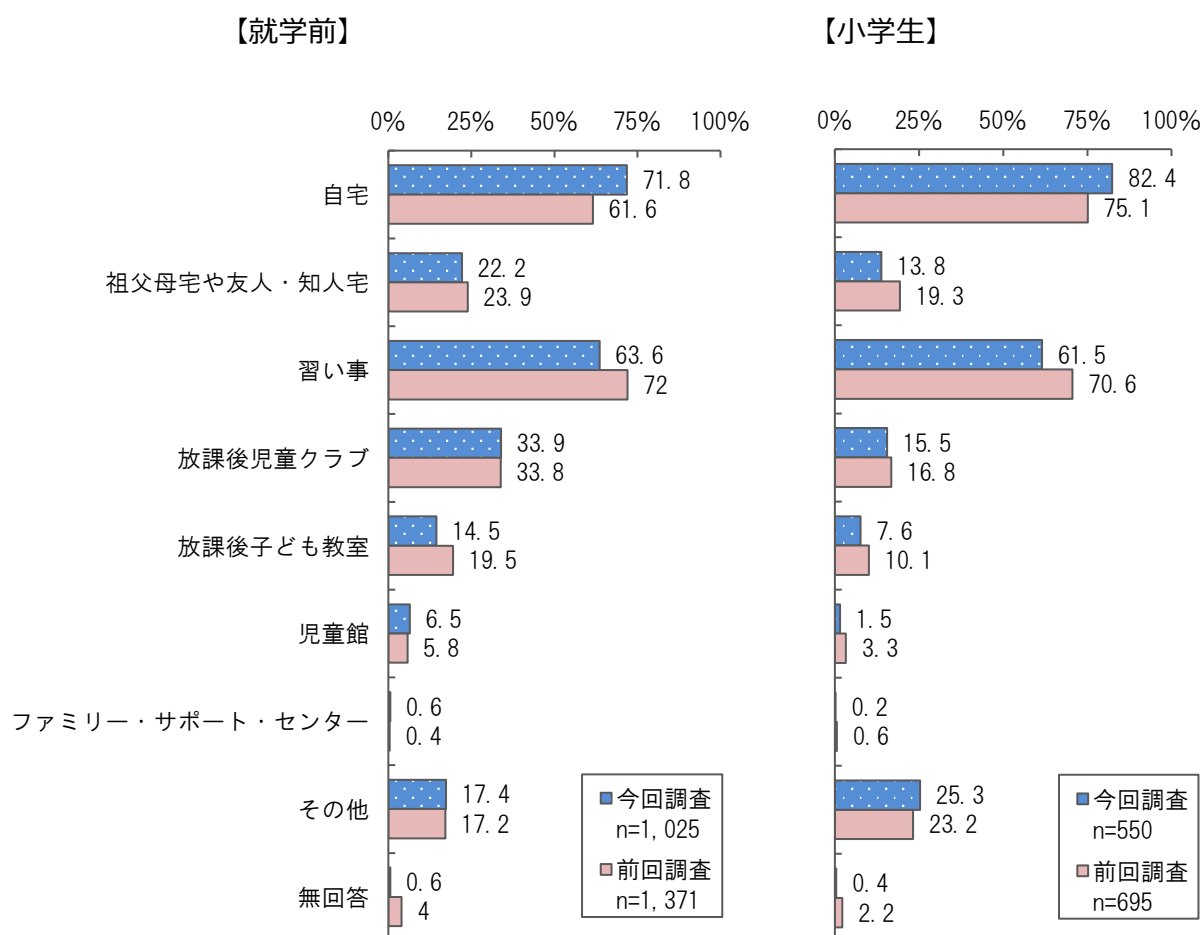
## (2) 小学校高学年の放課後の過ごし方

問 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

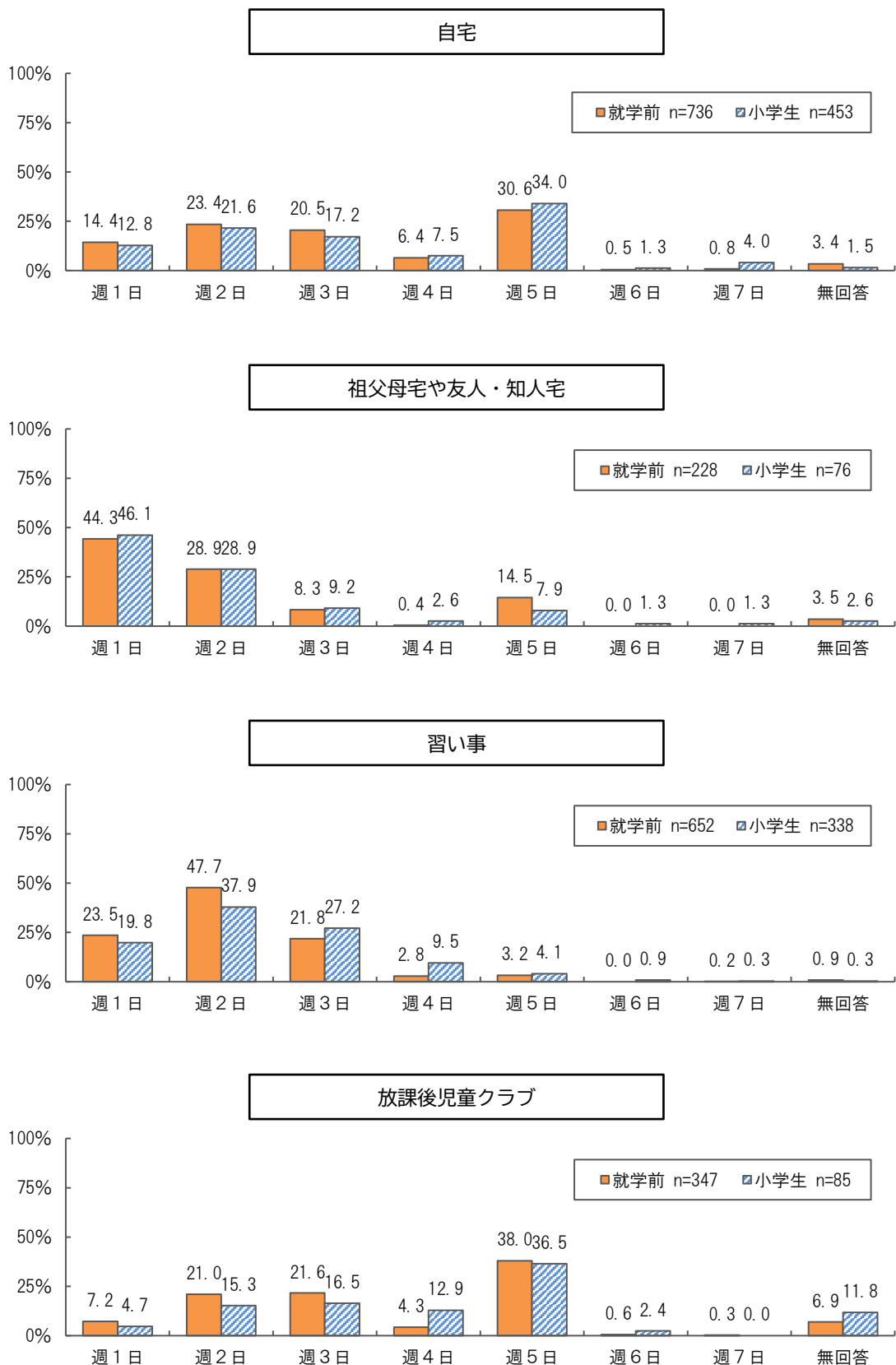
【就学前：問27、小学生：問18】

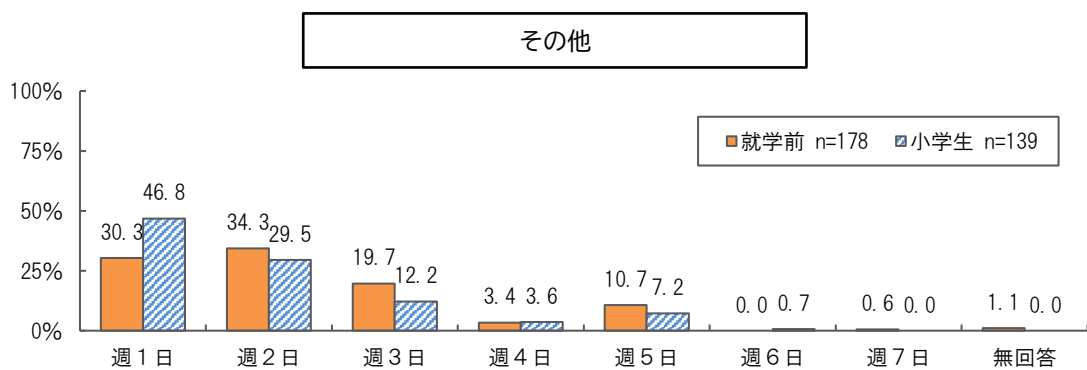
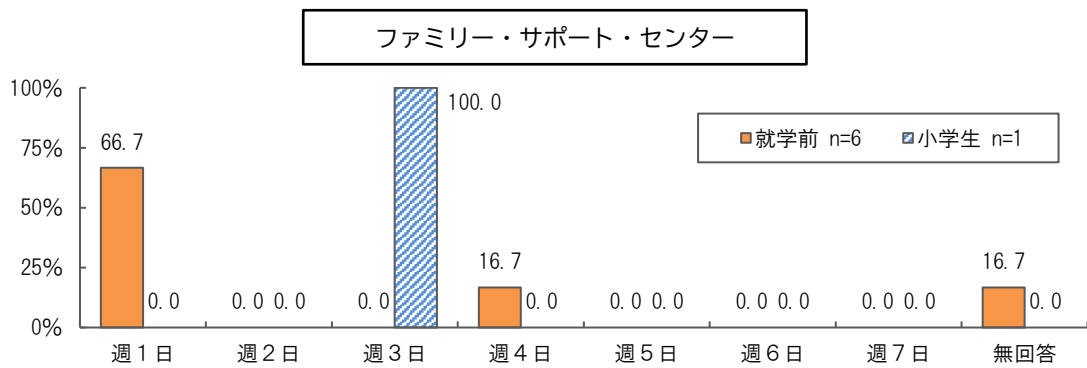
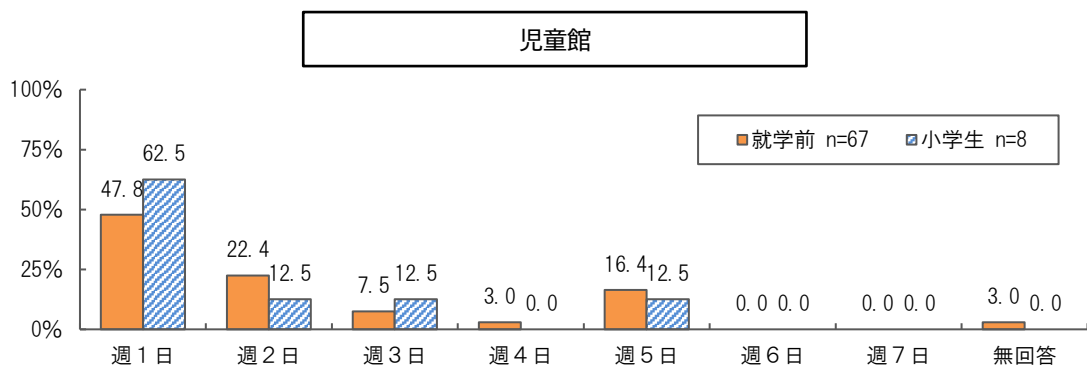
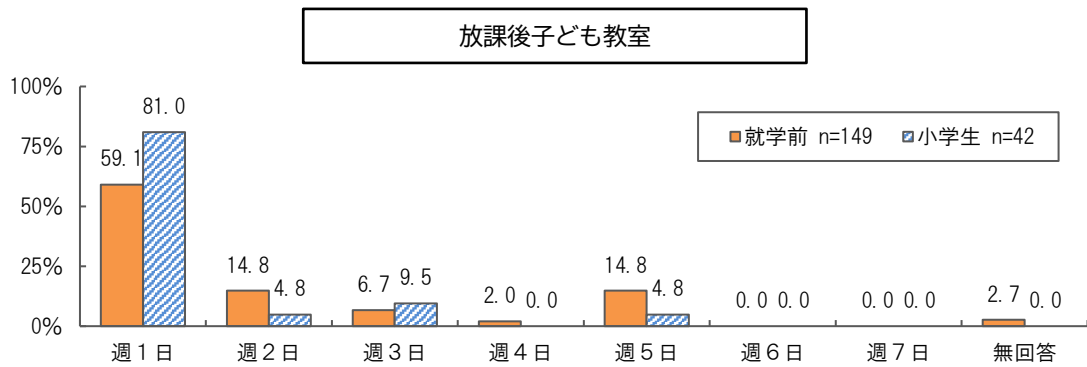
- 小学校高学年時期の放課後の過ごし方の希望をみると、就学前・小学生ともに「自宅」（71.8%・82.4%）が最も高く、次いで「習い事」（63.6%・61.5%）となっています。また、「放課後児童クラブ」は、就学前では33.9%、小学生では15.5%となっています。
- 前回調査との比較をみると、就学前・小学生ともに「習い事」（8.4ポイント・9.1ポイント）は減少し、一方、「自宅」（10.2ポイント・7.3ポイント）は増加しています。

図表78 小学校高学年の放課後の過ごし方 <複数回答> ※前回調査比較



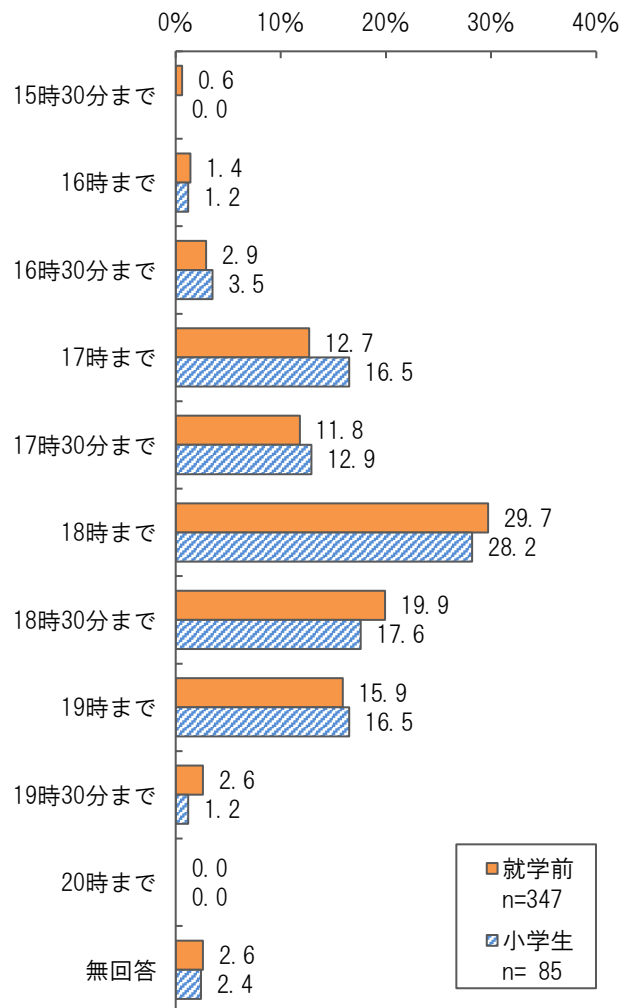
図表79 小学校高学年の放課後の過ごし方（1週間当たりの日数） <数量回答>





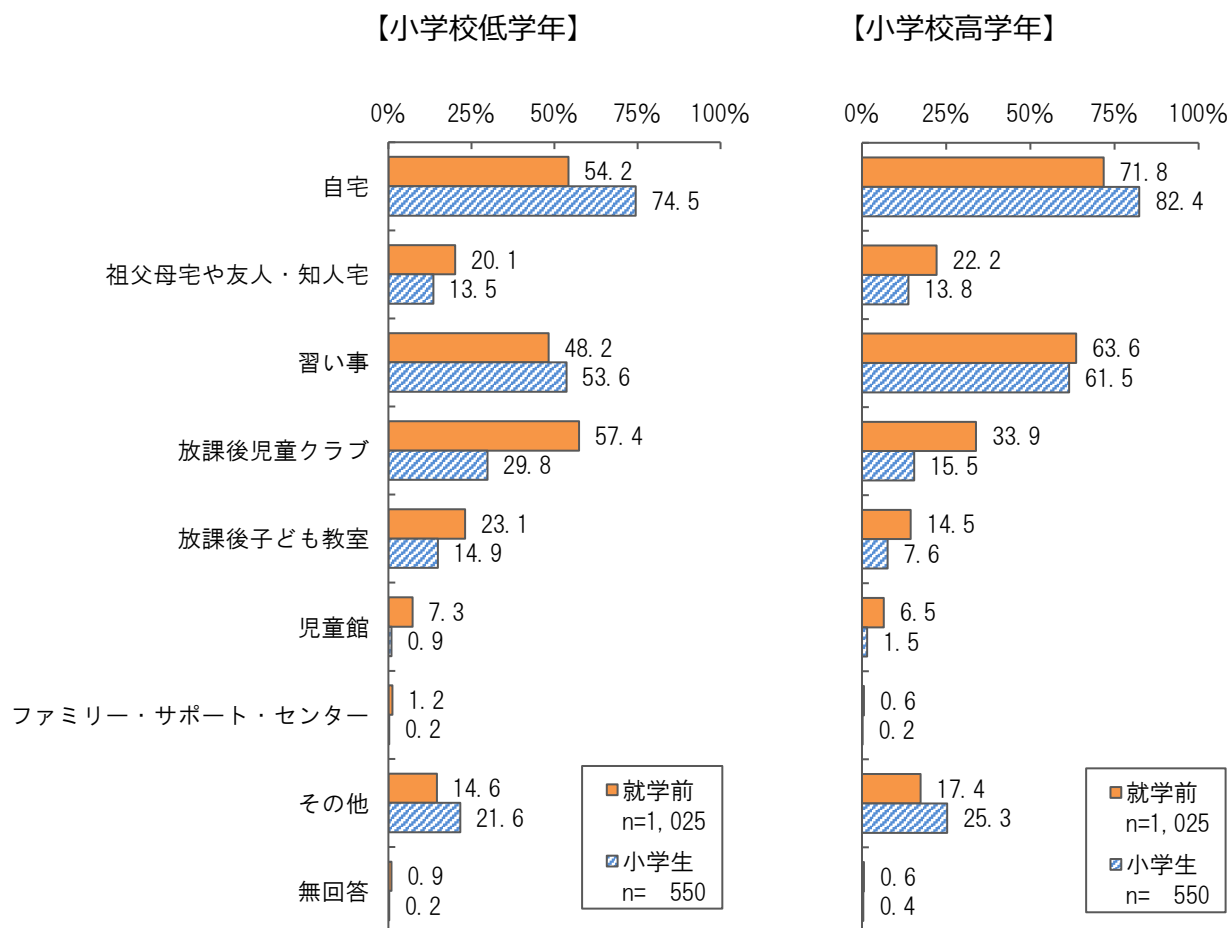
○放課後児童クラブを利用したい時間は、就学前・小学生ともに下校時から「18時まで」(29.7%・28.2%)が最も高く、次いで「18時30分まで」(19.9%・17.6%)となっています。

図表80 放課後児童クラブを利用したい時間（小学校高学年） <数量回答>



○放課後の過ごし方の希望について、小学校低学年時期と高学年時期の差をみると、就学前・小学生ともに「自宅」、「習い事」は低学年時期に比べ、高学年時期は大きく増加しています。一方、「放課後児童クラブ」や「放課後子ども教室」は低学年時期に比べ、高学年時期は減少しています。

図表81 小学校低学年・小学校高学年の放課後の過ごし方 <複数回答>





## (3) 土曜日、日曜日、祝日の放課後児童クラブの利用希望

『(1) 小学校低学年の放課後の過ごし方』または『(2) 小学校高学年の放課後の過ごし方』で「放課後児童クラブ」と回答した方のみ

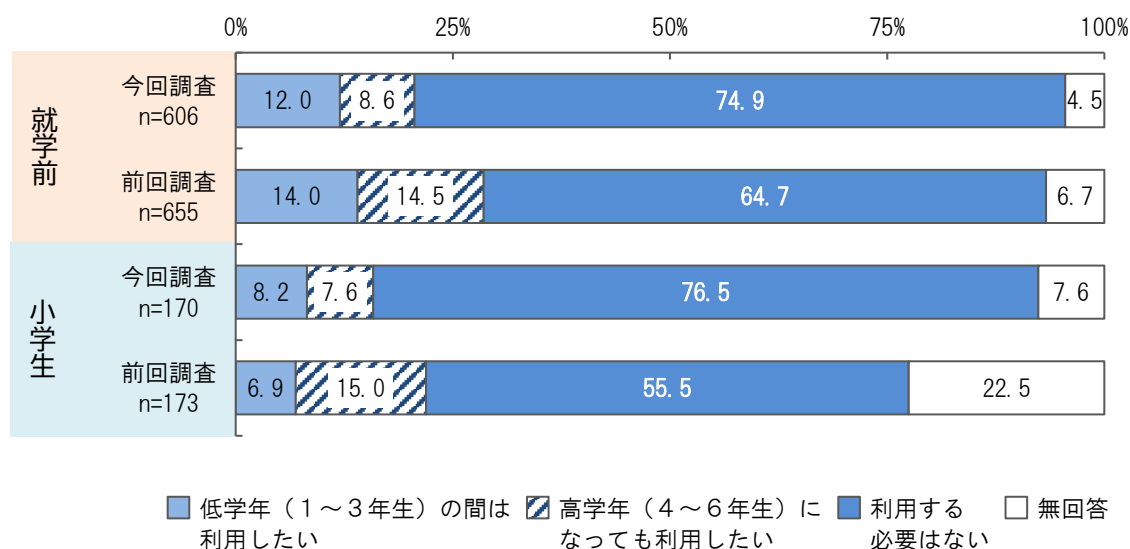
問 あて名のお子さんについて、土曜日、日曜日、祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。

【就学前：問28、小学生：問19】

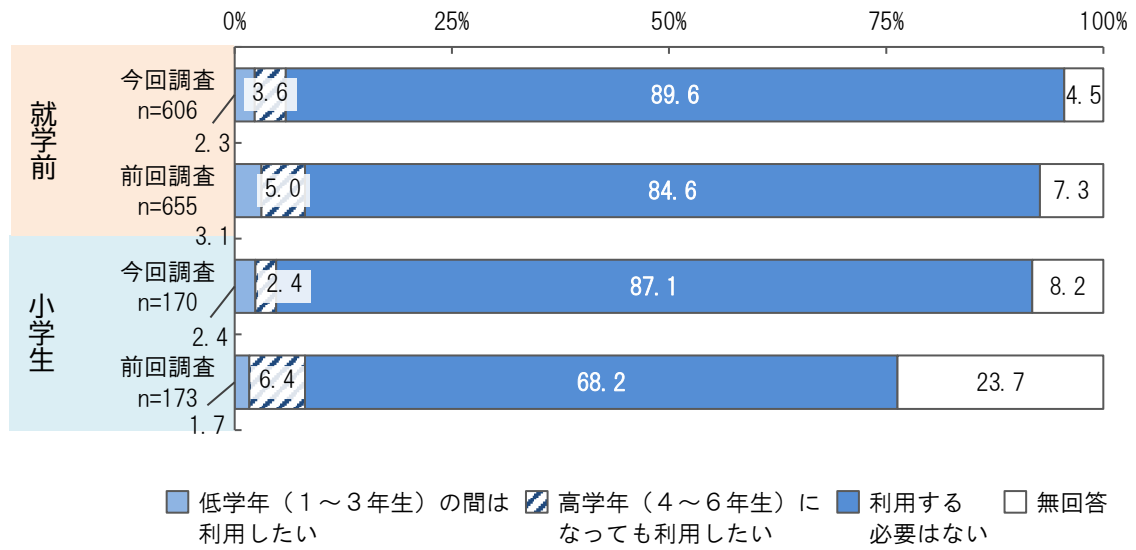
- 土曜日、日曜日、祝日の放課後児童クラブの利用希望をみると、就学前・小学生ともに土曜日、日曜日、祝日のいずれも「利用する必要はない」が最も高くなっています。また、土曜日の“利用したい”（「低学年（1～3年生）の間は利用したい」+「高学年（4～6年生）になっても利用したい」）は就学前では20.6%、小学生では15.8%となっています。日曜日の“利用したい”は就学前では5.9%、小学生では4.8%となっています。祝日の“利用したい”は就学前では36.2%、小学生では27.1%となり、祝日の利用希望は土曜日・日曜日より高くなっています。
- 前回調査との比較をみると、“利用したい”は就学前・小学生ともに土曜日、日曜日、祝日のいずれでも減少しています。

図表82 土曜日、日曜日、祝日の放課後児童クラブの利用希望 <単数回答> ※前回調査比較

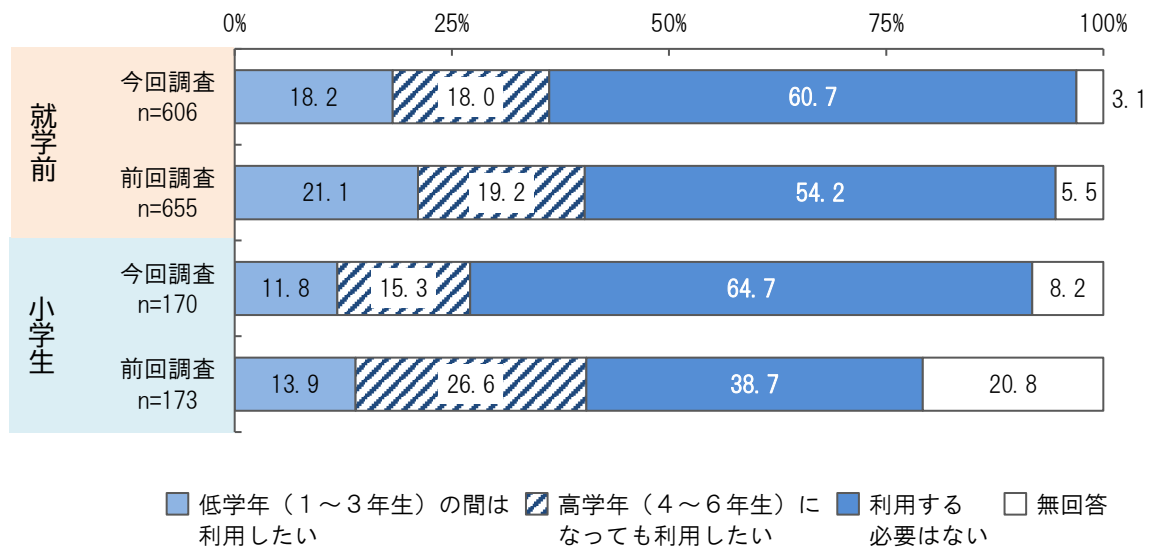
## 【土曜日】



【日曜日】

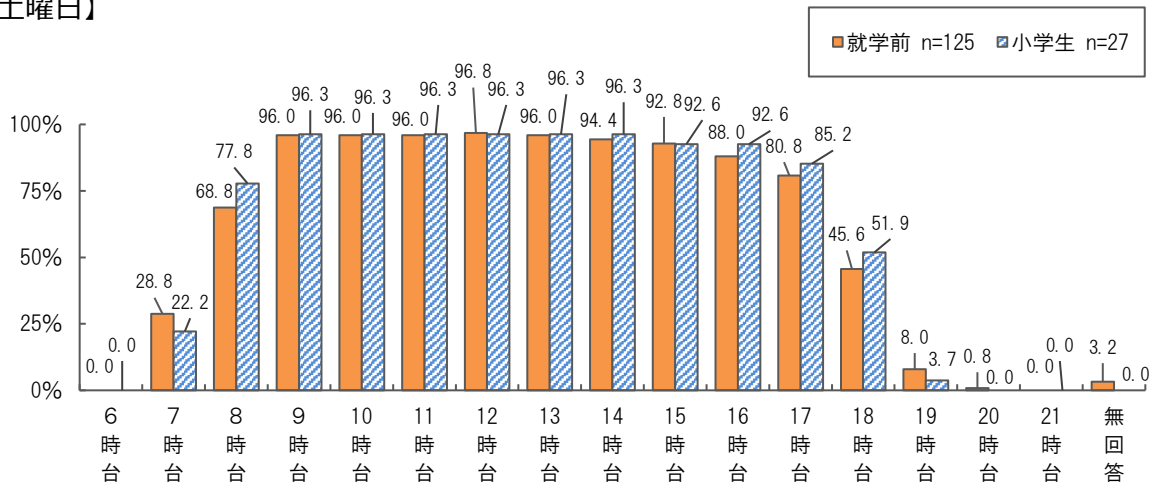


【祝日】

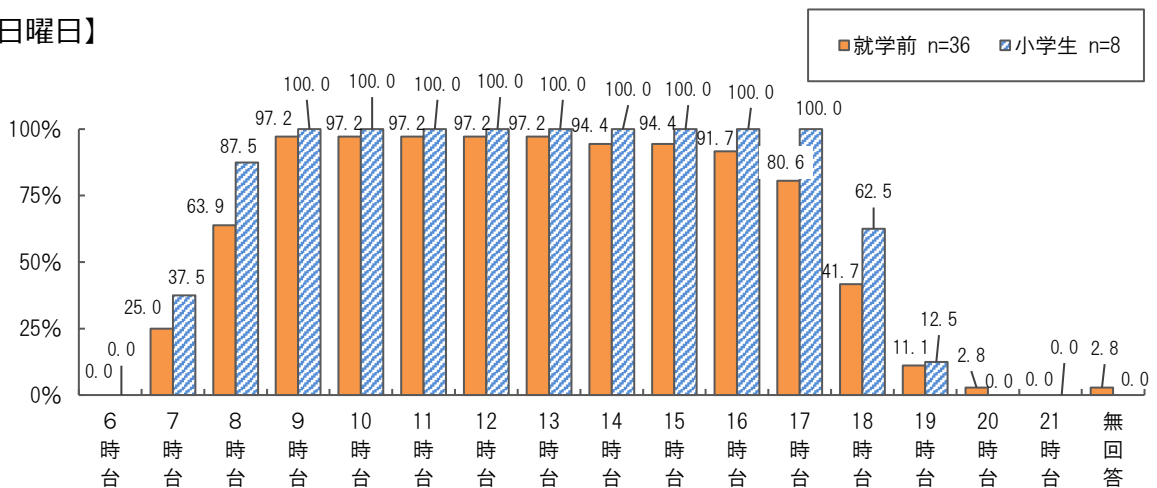


図表83 土曜日、日曜日、祝日の放課後児童クラブの利用したい時間帯 <数量回答>

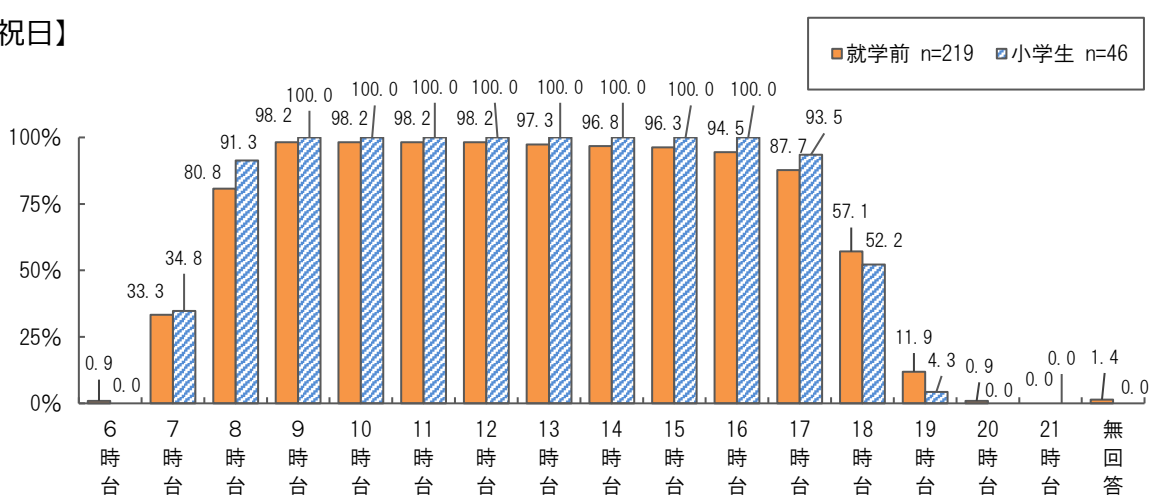
【土曜日】



【日曜日】



【祝日】



(4) 長期休業期間中の放課後児童クラブの利用希望

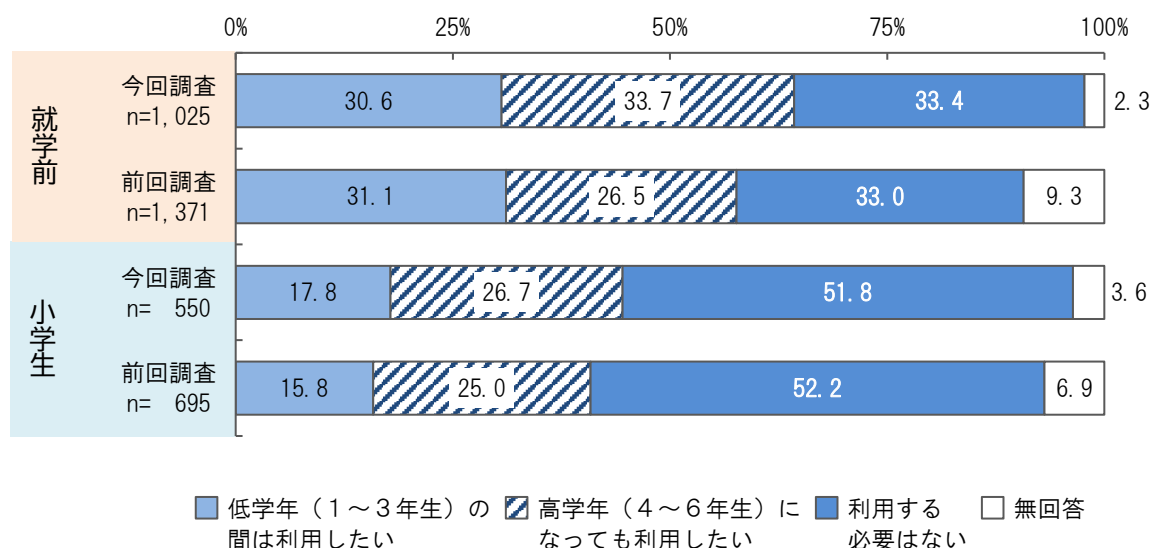
問 あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休み・春休みなどの長期の学校休業期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。

【就学前：問29、小学生：問20】

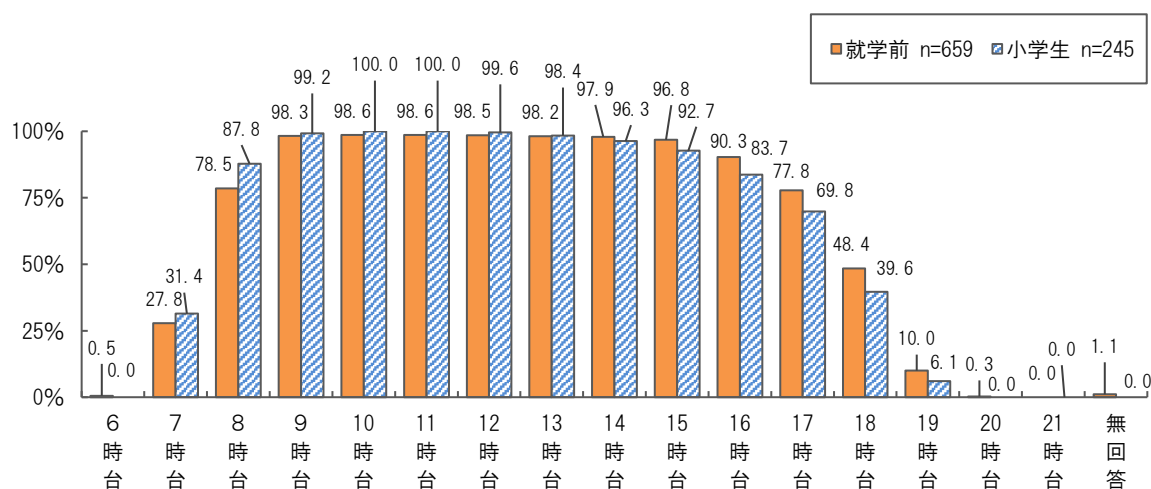
○長期休業期間中の放課後児童クラブの利用希望をみると、“利用したい”（「低学年（1～3年生）の間は利用したい」+「高学年（4～6年生）になっても利用したい」）は、就学前では64.3%、小学生で44.5%となっています。

○前回調査と比較すると、“利用したい”は就学前・小学生ともに増加しています。

図表84 長期休業期間中の放課後児童クラブの利用希望 <単数回答>※前回調査比較



図表85 長期休業期間中の放課後児童クラブの利用したい時間帯 <数量回答>



## 11 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

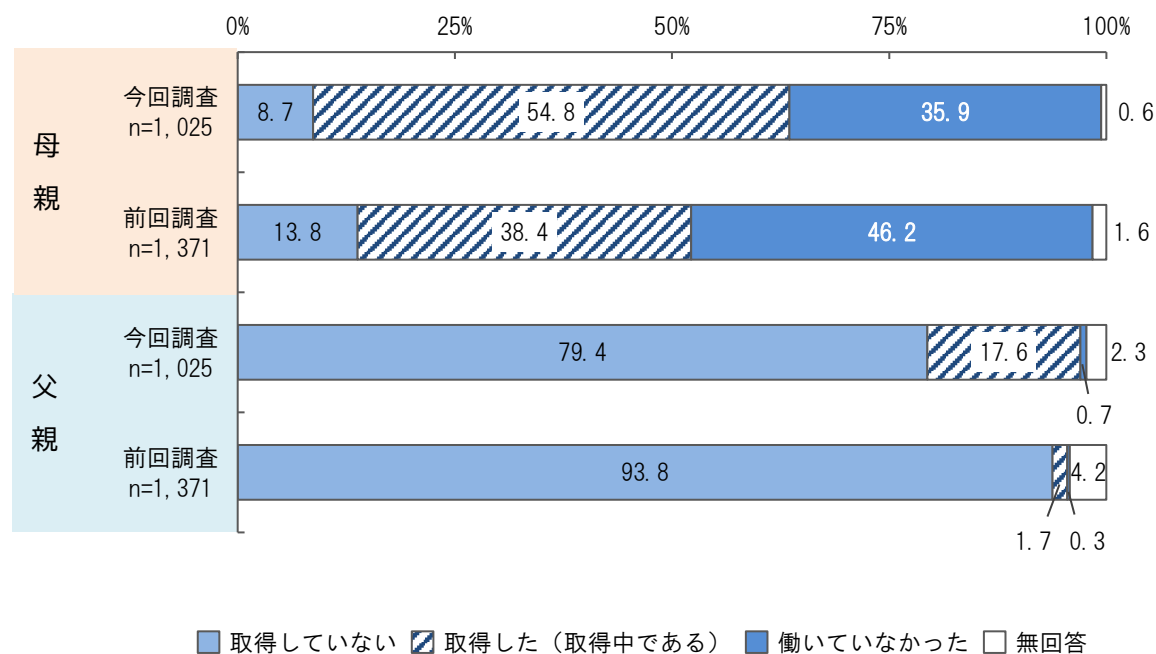
## (1) 育児休業取得の有無

問 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。

【就学前：問30】

- 育児休業の取得状況を見ると、「取得した（取得中である）」は、母親では54.8%、父親では17.6%となっています。
- 前回調査と比較すると、「取得した（取得中である）」は、母親では16.4ポイント、父親では15.9ポイントとともに大きく増加しています。

図表86 育児休業取得の有無 <単数回答> ※前回調査比較



## (2) 育児休業を取得していない理由

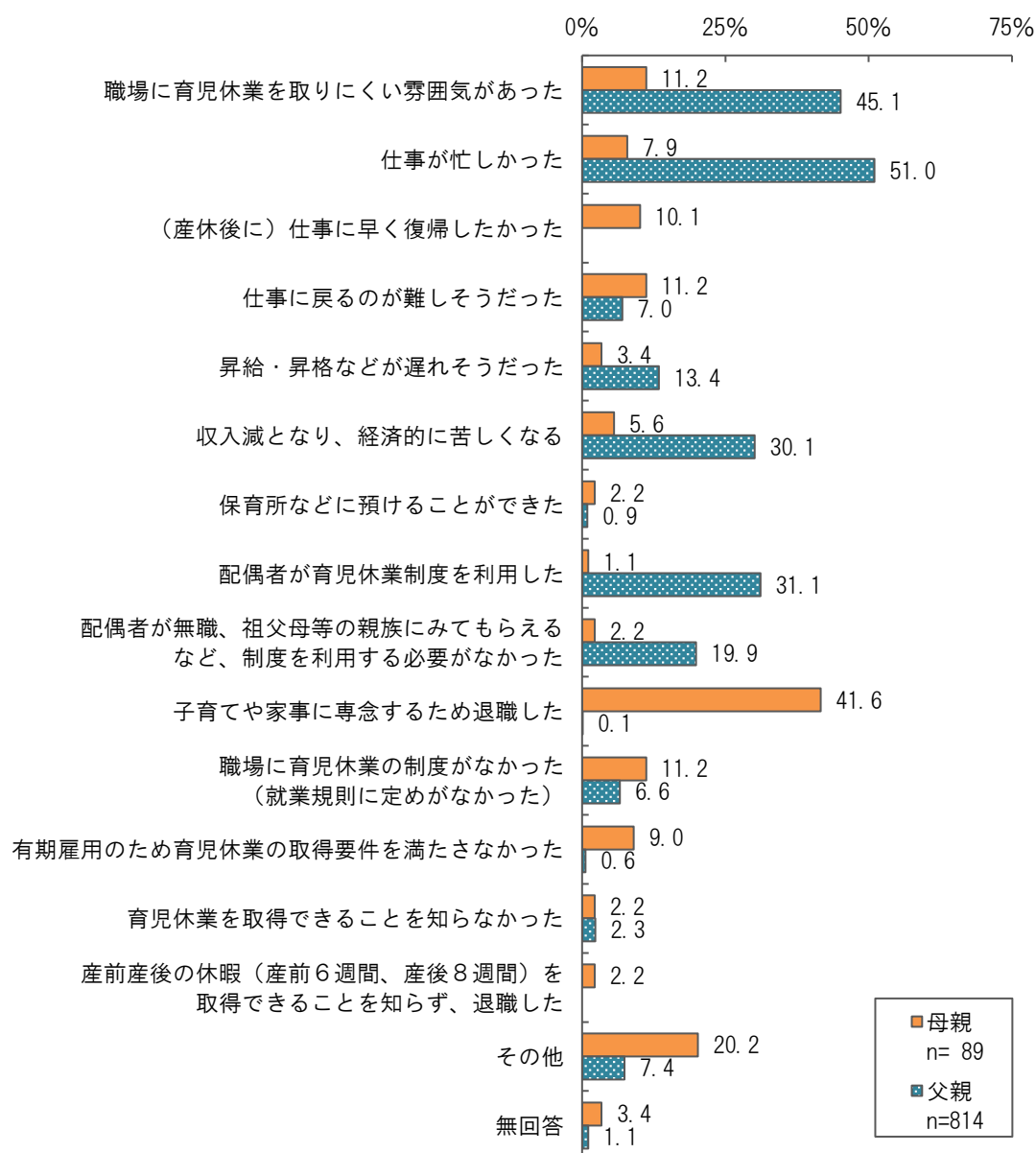
『(1) 育児休業取得の有無』で「取得していない」と回答した方のみ

問 育児休業を取得していない理由は何ですか。

【就学前：問30-1】

- 育児休業を取得していない理由は、母親では、「子育てや家事に専念するため退職した」が41.6%と最も高くなっています。
- 父親では、「仕事が忙しかった」が51.0%と最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(45.1%)、「配偶者が育児休業制度を利用した」(31.1%)、「収入減となり、経済的に苦しくなる」(30.1%)となっています。

図表87 育児休業を取得していない理由 &lt;複数回答&gt;



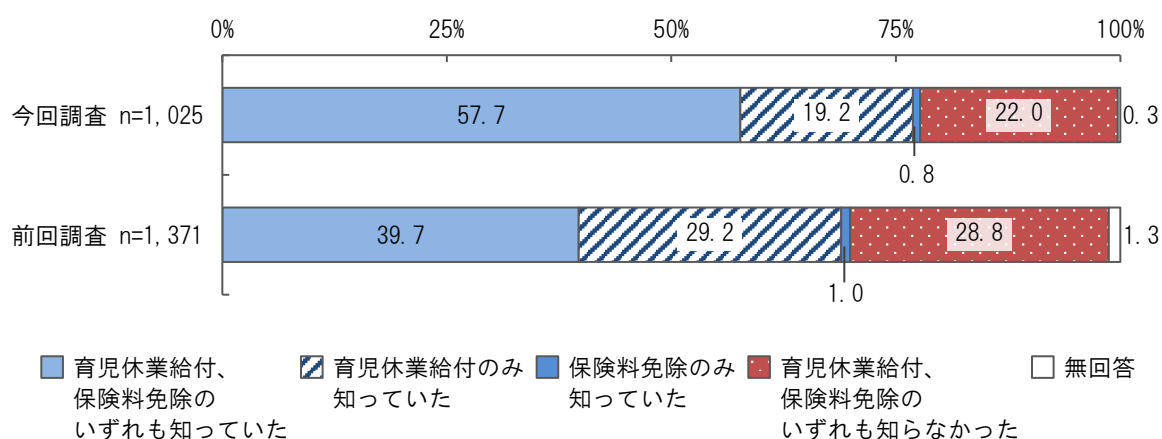
## (3) 育児休業給付と保険料免除の認知度

問 子どもが原則1歳になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。

【就学前：問30-2】

- 育児休業給付と保険料免除の仕組みの認知度は、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が57.7%と最も高くなっています。
- 前回調査と比較すると、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」は18.0ポイントと大きく増加しています。

図表88 育児休業給付と保険料免除 <単数回答> ※前回調査比較



## (4) 職場復帰の有無

『(1) 育児休業取得の有無』で「取得した(取得中である)」と回答した方のみ

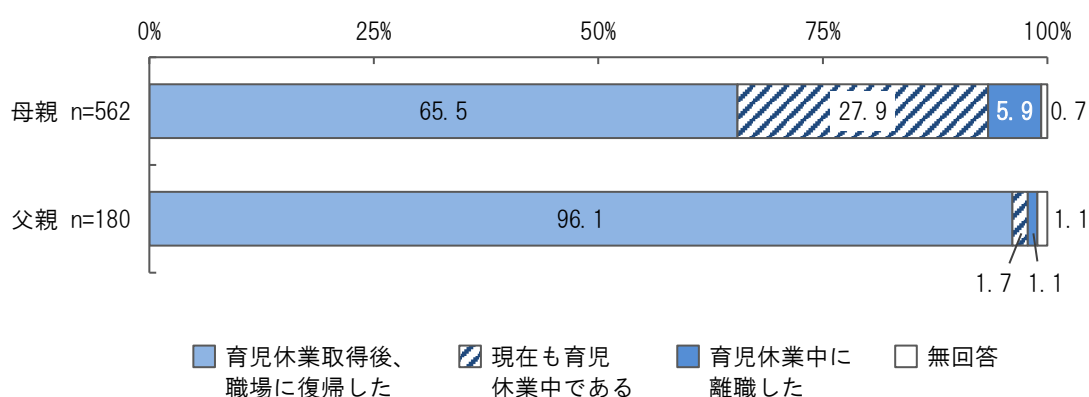
問 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。

【就学前：問30-3】

○育児休業取得後の職場復帰についてみると、母親・父親ともに「育児休業取得後、職場に復帰した」(65.5%・96.1%)がと最も高くなっています。

一方、「育児休業中に離職した」は母親では5.9%、父親では1.1%となっています。

図表89 職場復帰の有無 &lt;単数回答&gt;



## (5) 職場復帰のタイミング

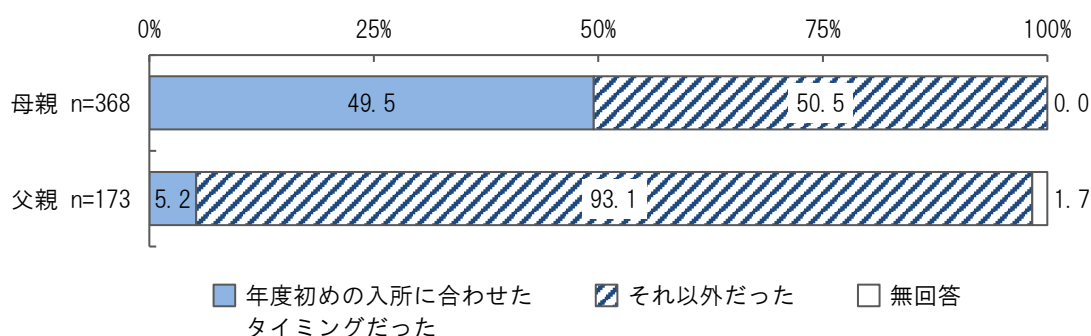
『(4) 職場復帰の有無』で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方のみ

問 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。

【就学前：問30-4】

○職場復帰のタイミングをみると、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」は母親では49.5%、父親で5.2%となっています。

図表90 職場復帰のタイミング &lt;単数回答&gt;





## (6) 育児休業の実際の取得期間と希望の取得期間

『(4) 職場復帰の有無』で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方のみ

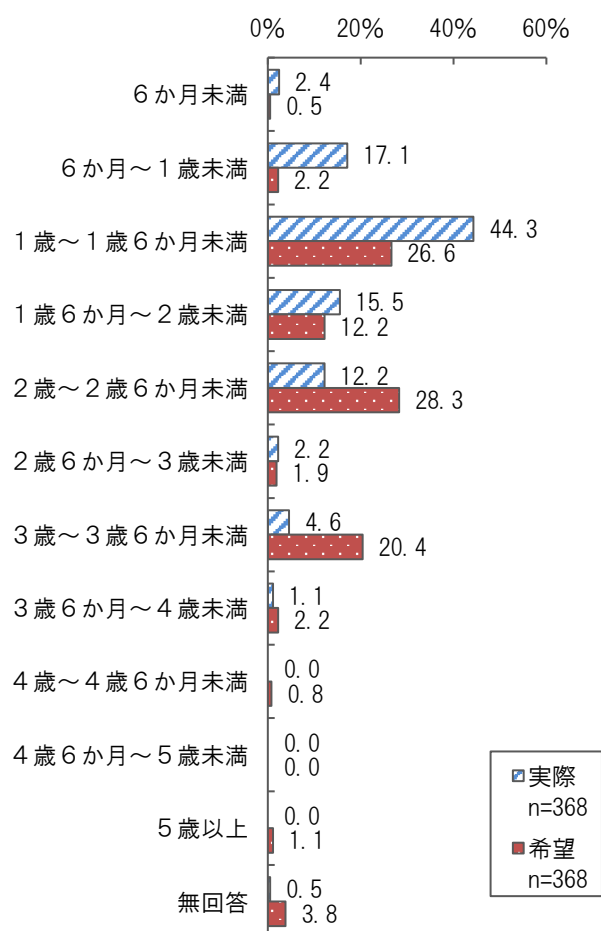
問 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。

【就学前：問30-5】

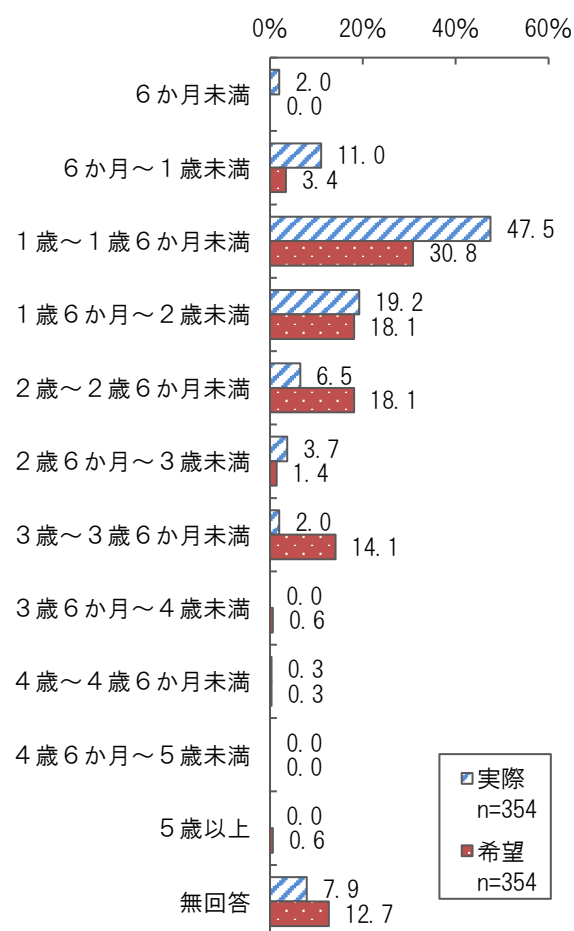
- 母親の育児休業の取得期間（実際）は、「1歳～1歳6か月未満」が44.3%と最も高く、次いで「6か月～1歳未満」（17.1%）となっています。
- 一方、希望は「2歳～2歳6か月未満」が28.3%と最も高く、次いで「1歳～1歳6か月未満」（26.6%）となっています。
- また、3歳以上の取得希望は24.5%あるものの、実際に3歳以上まで取得したのは5.7%となっています。
- 前回調査と比較すると、「2歳～2歳6か月未満」の取得希望は、前回の18.1%に対し、今回は28.3%と10.2ポイント増加しています。

図表91 育児休業の実際の取得期間と希望の取得期間 &lt;数量回答&gt; ※前回調査比較

【母親：今回調査】

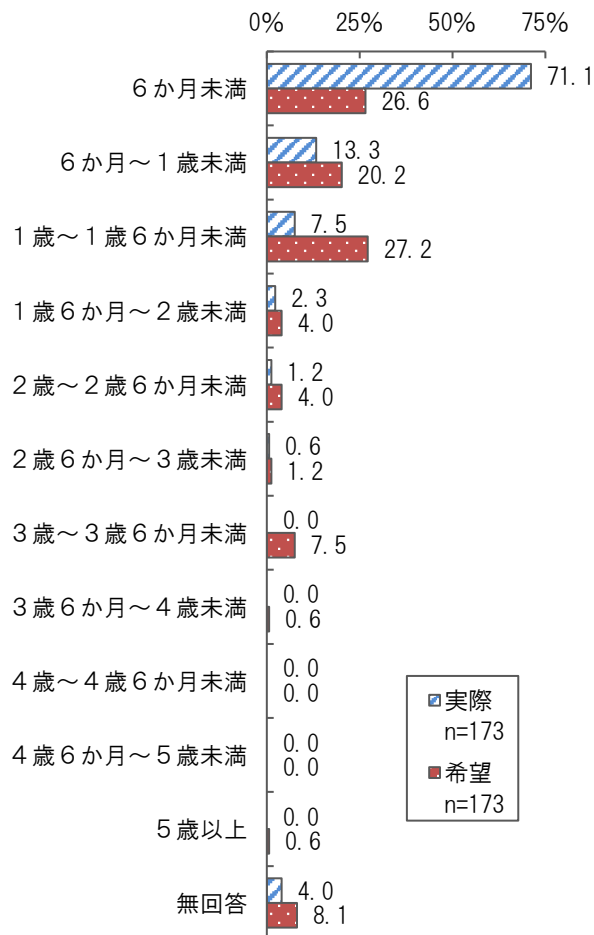


【母親：前回調査】

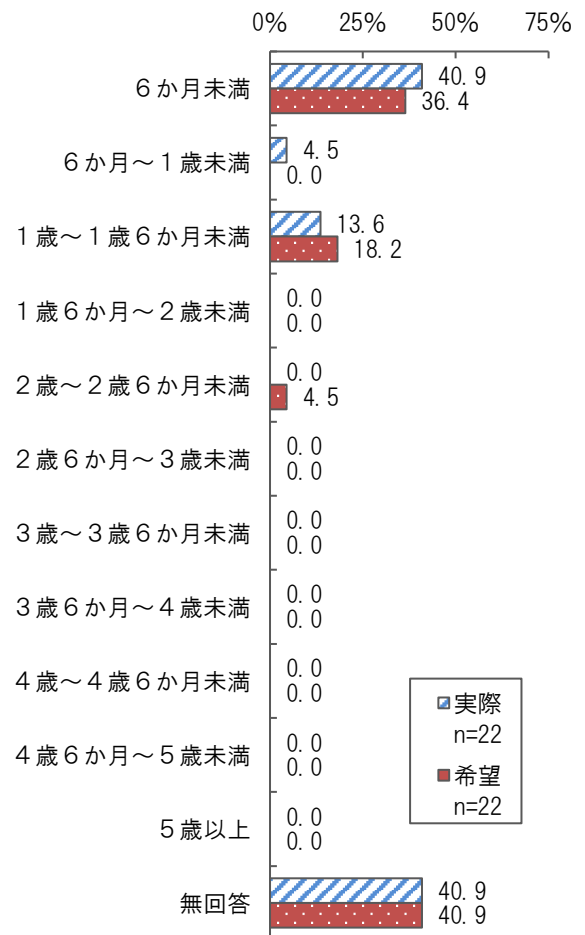


- 父親の育児休業の取得期間（実際）は、「6か月未満」が71.1%と最も高くなっています。一方、希望は「1歳～1歳6か月未満」が27.2%と最も高く、僅差で「6か月未満」（26.6%）となっています。
- 前回調査と比較すると、取得希望は「6か月未満」では減少し、「6か月～1歳未満」、「1歳～1歳6か月未満」では増加しています。

【父親：今回調査】



【父親：前回調査】



## (7) 3歳まで育児のための休暇を取得できる場合の希望期間

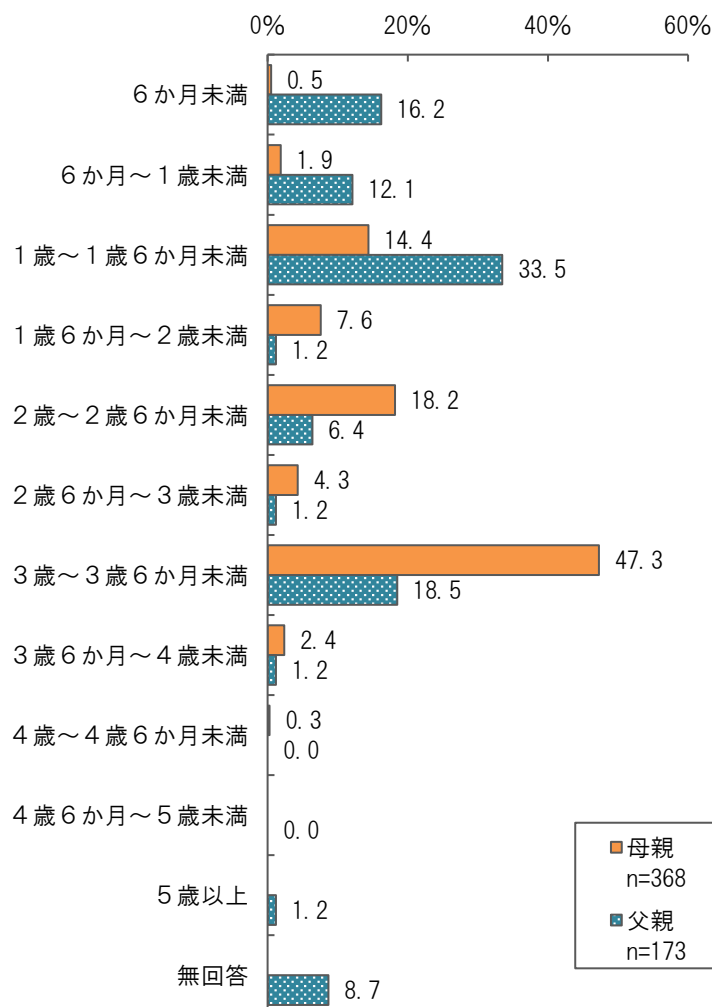
『(4) 職場復帰の有無』で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方のみ

問 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。

【就学前：問30-6】

- 3歳まで育児のための休暇を取得できる場合の希望期間をみると、母親では「3歳～3歳6か月未満」が47.3%と最も高く、3歳以上の取得希望は約5割となっています。一方、父親では「1歳～1歳6か月未満」が33.5%と最も高く、3歳以上の取得希望は約2割となっています。

図表92 3歳まで育児のための休暇を取得できる場合の希望期間 &lt;数量回答&gt;



## (8) 希望の時期に職場復帰しなかった理由

『(6) 育児休業の実際の取得期間と希望の取得期間』で実際の復帰と希望が異なる方のみ

問 希望の時期に職場復帰しなかったのはなぜですか。

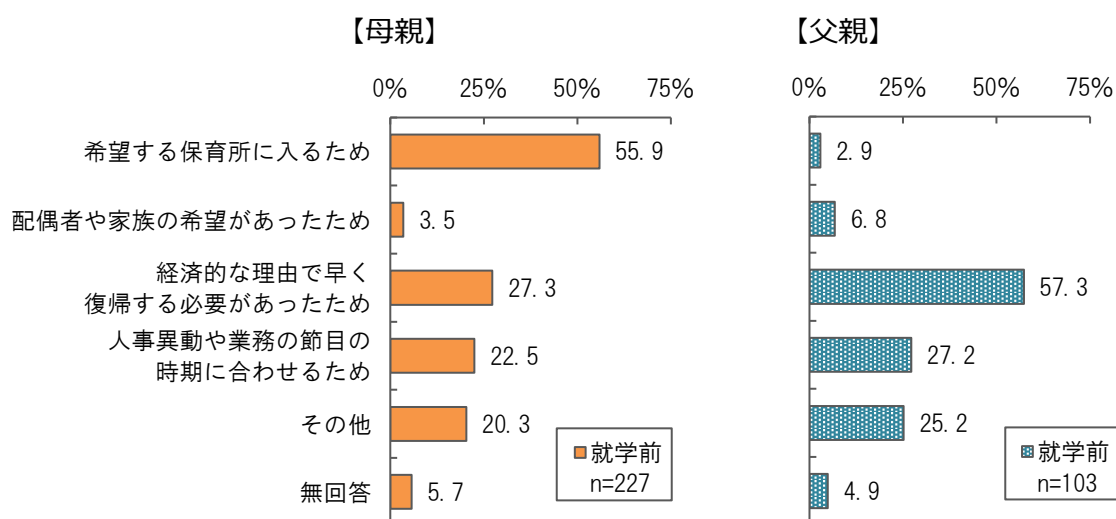
【就学前：問30-7】

○希望よりも早く職場復帰した理由は、母親では「希望する保育所に入るため」が55.9%と最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」(27.3%)となっています。

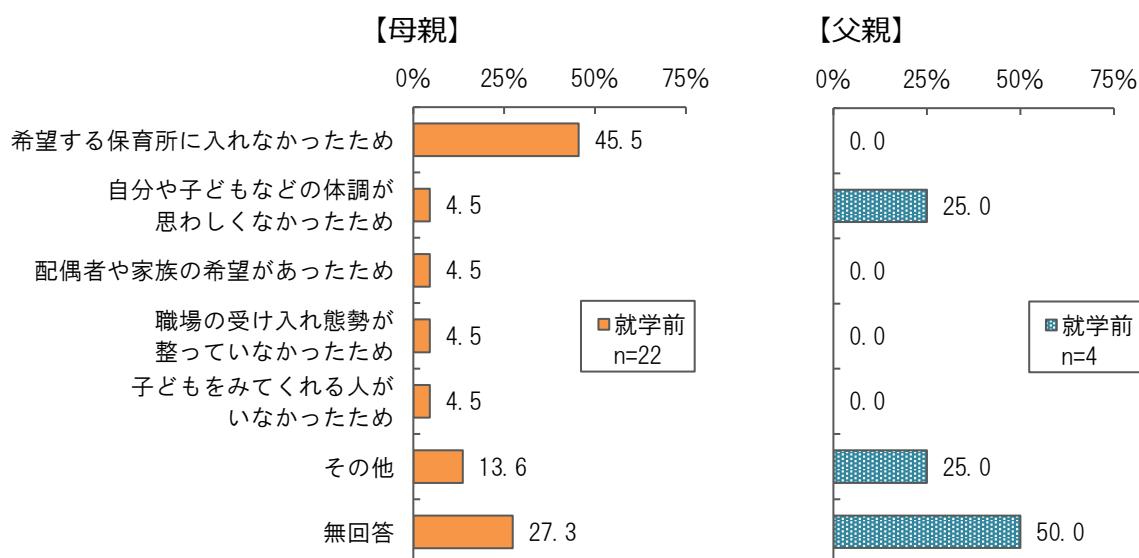
一方、父親では「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」が57.3%と最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」(27.2%)となっています。

○希望よりも遅く職場復帰した理由は、母親では「希望する保育所に入れなかったため」が45.5%と最も高くなっています。

図表93 希望よりも早く職場復帰した理由 &lt;複数回答&gt;



図表94 希望よりも遅く職場復帰した理由 &lt;複数回答&gt;



## (9) 短時間勤務制度の利用の有無

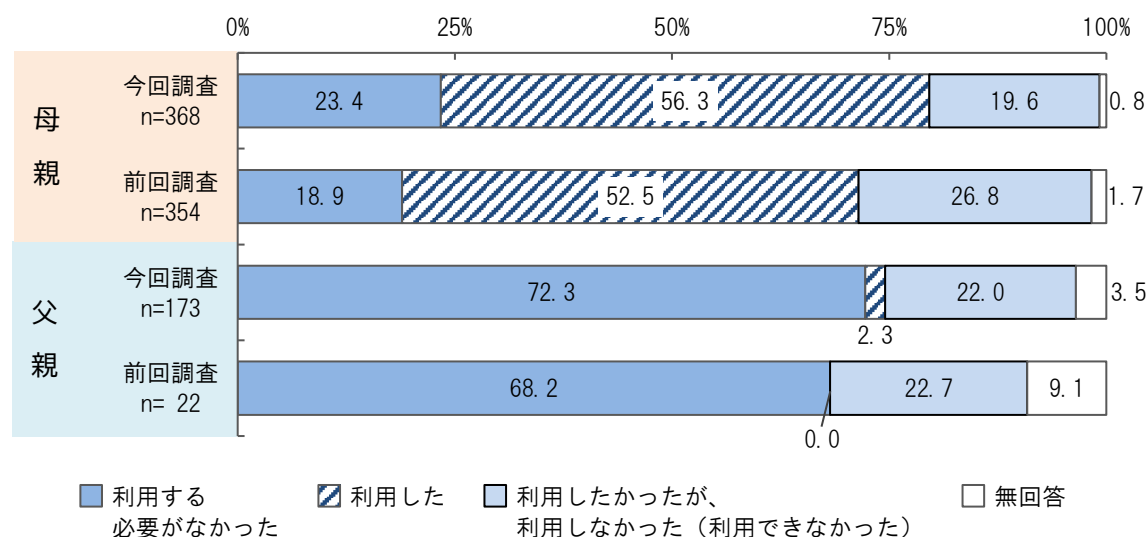
『(4) 職場復帰の有無』で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方のみ

問 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。

【就学前：問30-8】

- 短時間勤務制度の利用についてみると、母親では「利用した」が56.3%と最も高くなっています。一方、「利用しなかったが、利用しなかった」は19.6%となっています。父親では、「利用する必要がなかった」が72.3%を占め、「利用した」は2.3%となっています。一方、「利用しなかったが、利用しなかった」は22.0%となっています。
- 前回調査と比較すると、「利用した」は母親では3.8ポイント増加し、父親では前は利用がなかったものの、今回は2.3%が利用しています。

図表95 短時間勤務制度の利用の有無 &lt;単数回答&gt; ※前回調査比較



## (10) 短時間勤務制度を利用しなかった理由

『(9)短時間勤務制度の利用の有無』で「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」と回答した方のみ

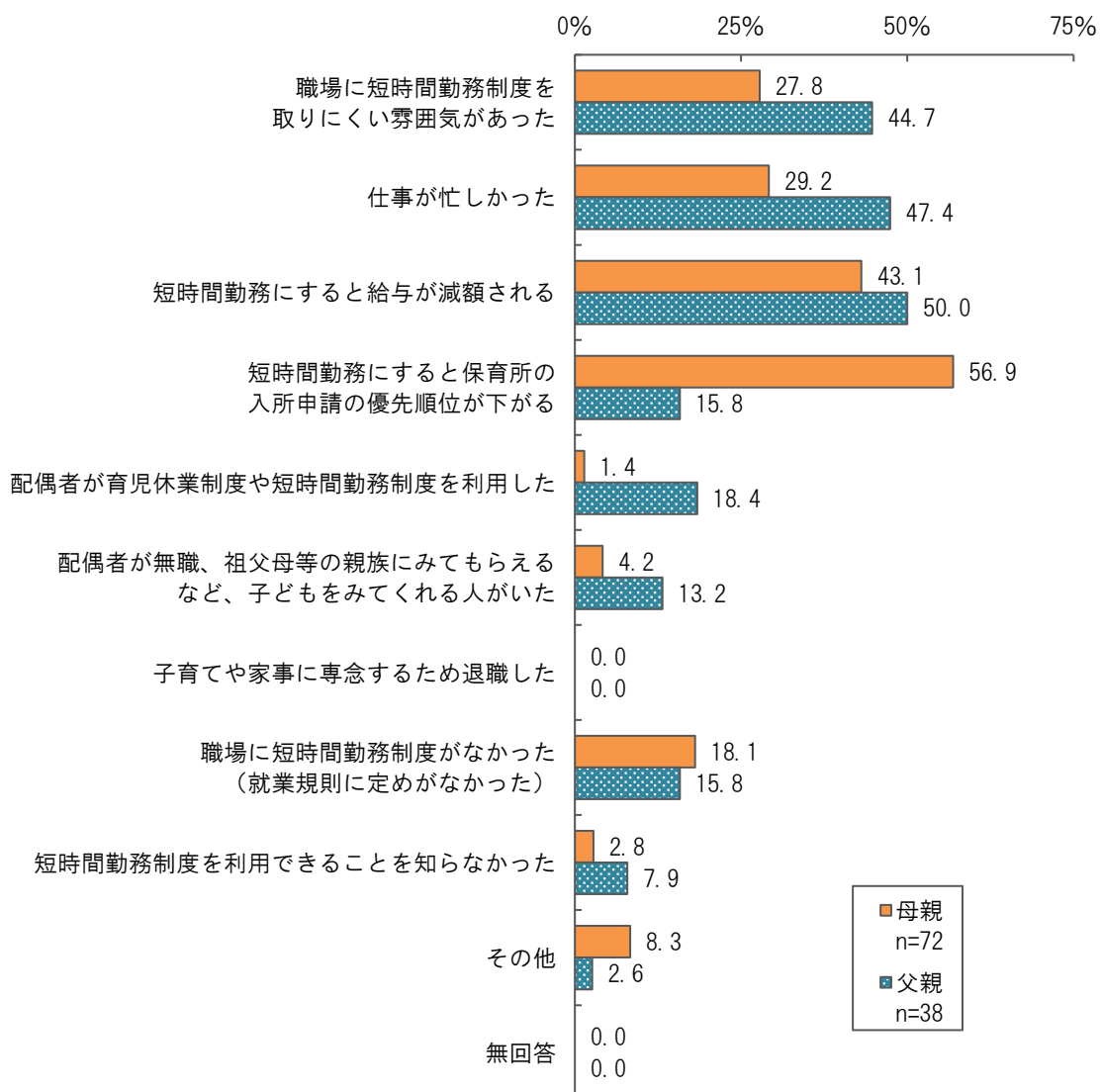
問 短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)のはなぜですか。

【就学前：問30-9】

○短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由は、母親では「短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる」が56.9%と最も高く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額される」(43.1%)となっています。

父親では、「短時間勤務にすると給与が減額される」が50.0%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」(47.4%)、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」(44.7%)となっています。

図表96 短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由 <複数回答>



## (11) 1歳になるまでの育児休業取得希望

『(4) 職場復帰の有無』で「現在も育児休業中である」と回答した方のみ

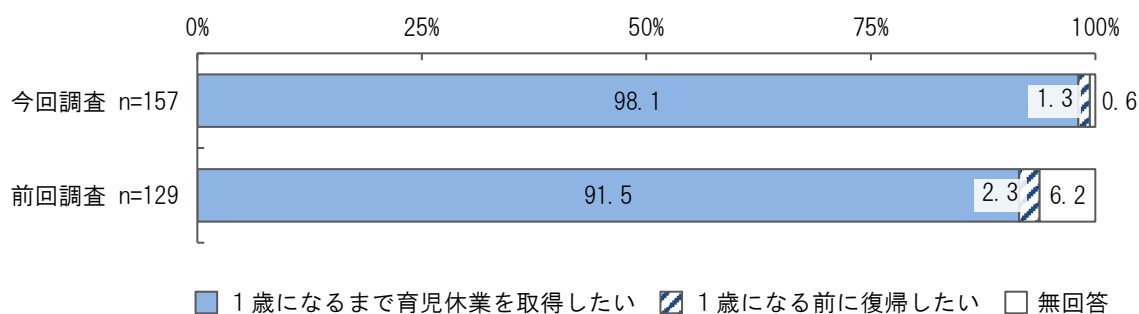
問 お子さんが1歳になったときに必ず利用できる保育所等事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、利用できる保育所等事業があっても1歳になる前に復帰しますか。

【就学前：問30-10】

- 1歳になった時に必ず預けられる事業があることを前提とした、育児休業取得の希望をみると、母親では「1歳になるまで育児休業を取得したい」が98.1%を占めています。
- 前回調査と比較すると、母親では「1歳になるまで育児休業を取得したい」は6.6ポイント増加しています。

図表97 1歳になるまでの育児休業取得希望 &lt;単数回答&gt; ※前回調査比較

## 【母親】



## 【父親】

今回調査 (n=3)

« 「1歳になるまで育児休業を取得したい」(2人)・「1歳になる前に復帰したい」(1人) »

## 12 刈谷市の子育てサービス、子育てに関連する分野の満足度について

### (1) 刈谷市の子育てサービスの認知度・利用状況

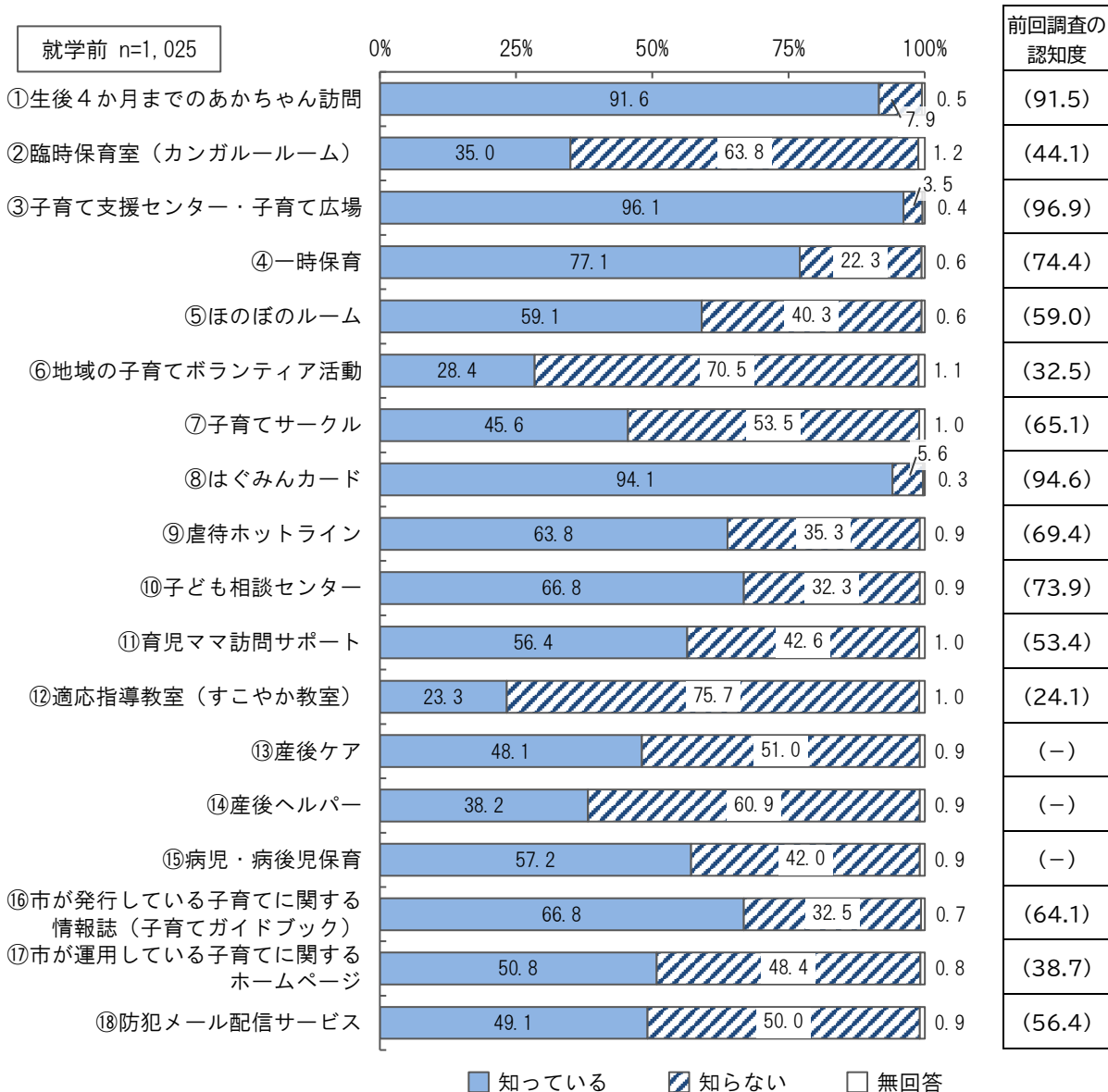
問 ①～⑱のサービスを知っていますか。また、知っている方は利用したことがありますか。

【就学前：問31】

○刈谷市の子育てサービスの認知度は、『①生後4か月までのあかちゃん訪問』、『③子育て支援センター・子育て広場』、『⑧はぐみんカード』では「知っている」が9割以上と高くなっています。

○一方で、『②臨時保育室（カンガールーム）』、『⑥地域の子育てボランティア活動』、『⑦子育てサークル』、『⑫適応指導教室（すこやか教室）』、『⑬産後ケア』、『⑭産後ヘルパー』、『⑱防犯メール配信サービス』では「知らない」が5割以上となっています。

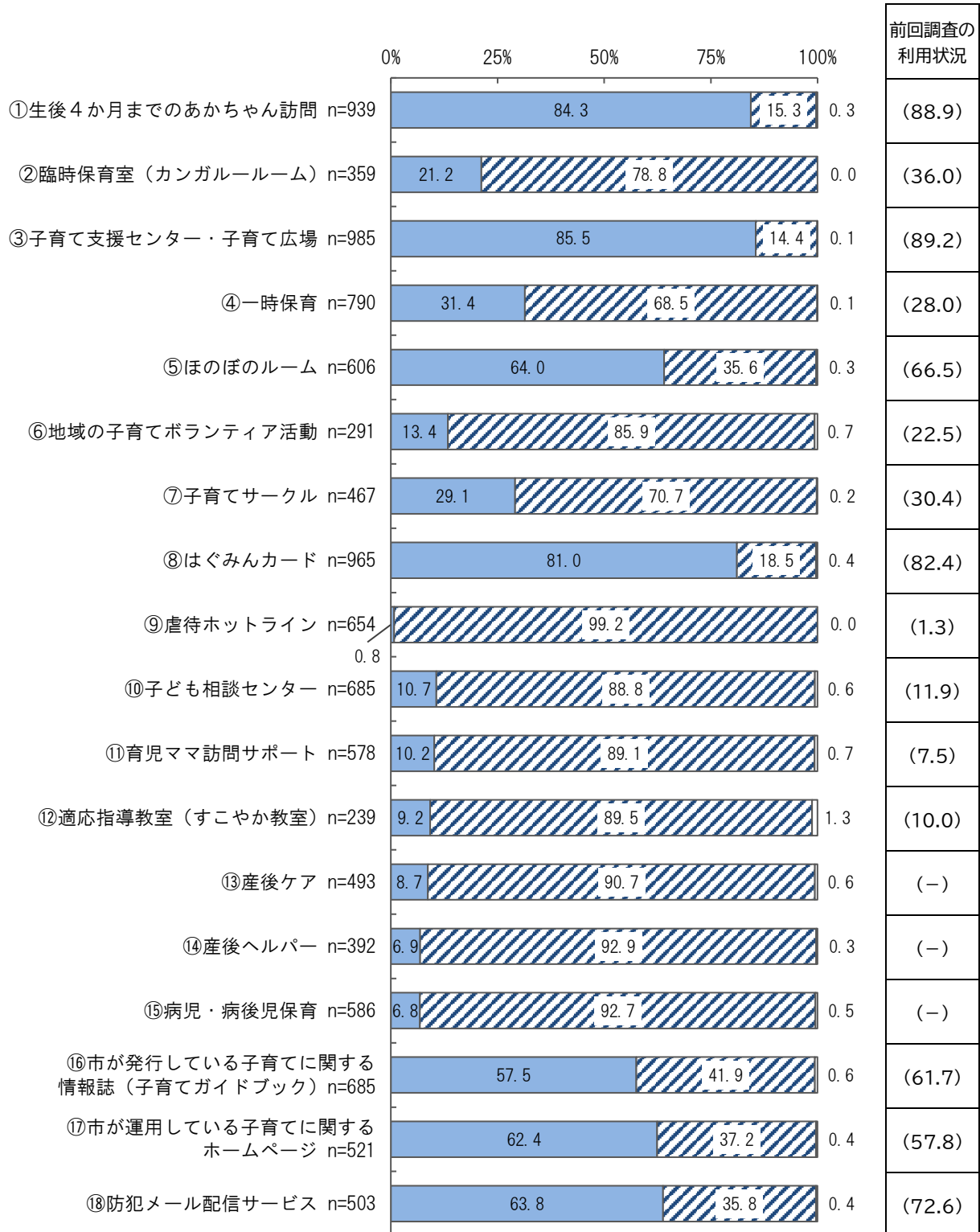
図表98 刈谷市の子育てサービスの認知度 <単数回答>





○刈谷市の子育てサービスの利用状況は、『①生後4か月までのあかちゃん訪問』、『③子育て支援センター・子育て広場』、『⑧はぐみんカード』では「利用している・利用したことがある」が8割以上と高くなっています。

図表99 刈谷市の子育てサービスの利用状況 <単数回答>



■ 利用している・利用したことがある    ▨ 利用したことはない    □ 無回答

(2) 刈谷市の子育てサービスの満足度・利用意向

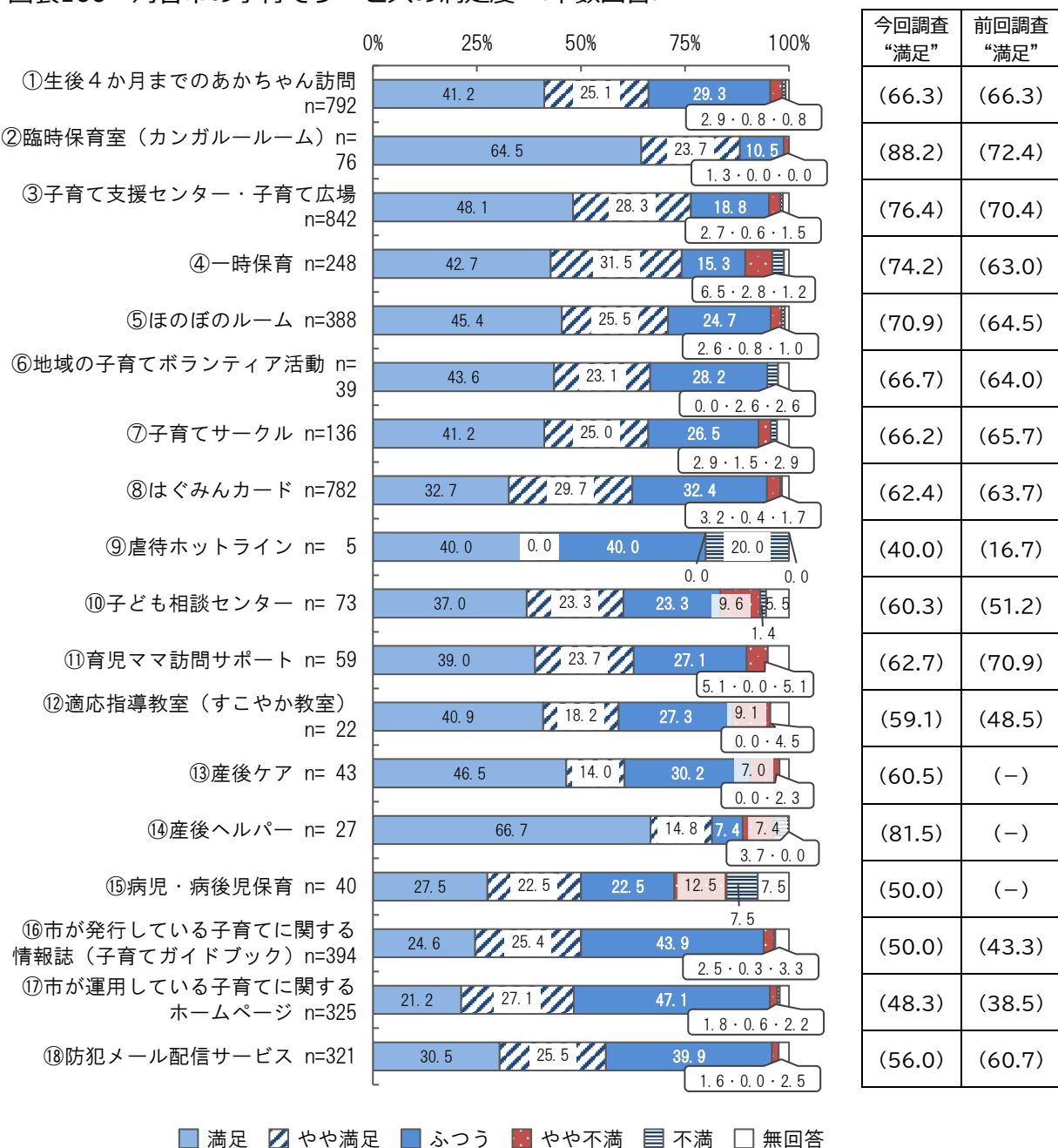
『(1) 刈谷市の子育てサービスの認知度・利用状況』で「利用している・利用したことがある」または「利用したことはない」と回答した方のみ

問 利用している・利用したことがある方はそれぞれのサービスの満足度について、利用したことのない方は今後の利用意向についてお答えください。

【就学前：問31-1】

○刈谷市の子育てサービスの満足度をみると、“満足”（「満足」+「やや満足」）が7割以上のサービスは、『②臨時保育室（カンガールーム）』、『③子育て支援センター・子育て広場』、『④一時保育』、『⑤ほのぼのルーム』、『⑭産後ヘルパー』となっています。

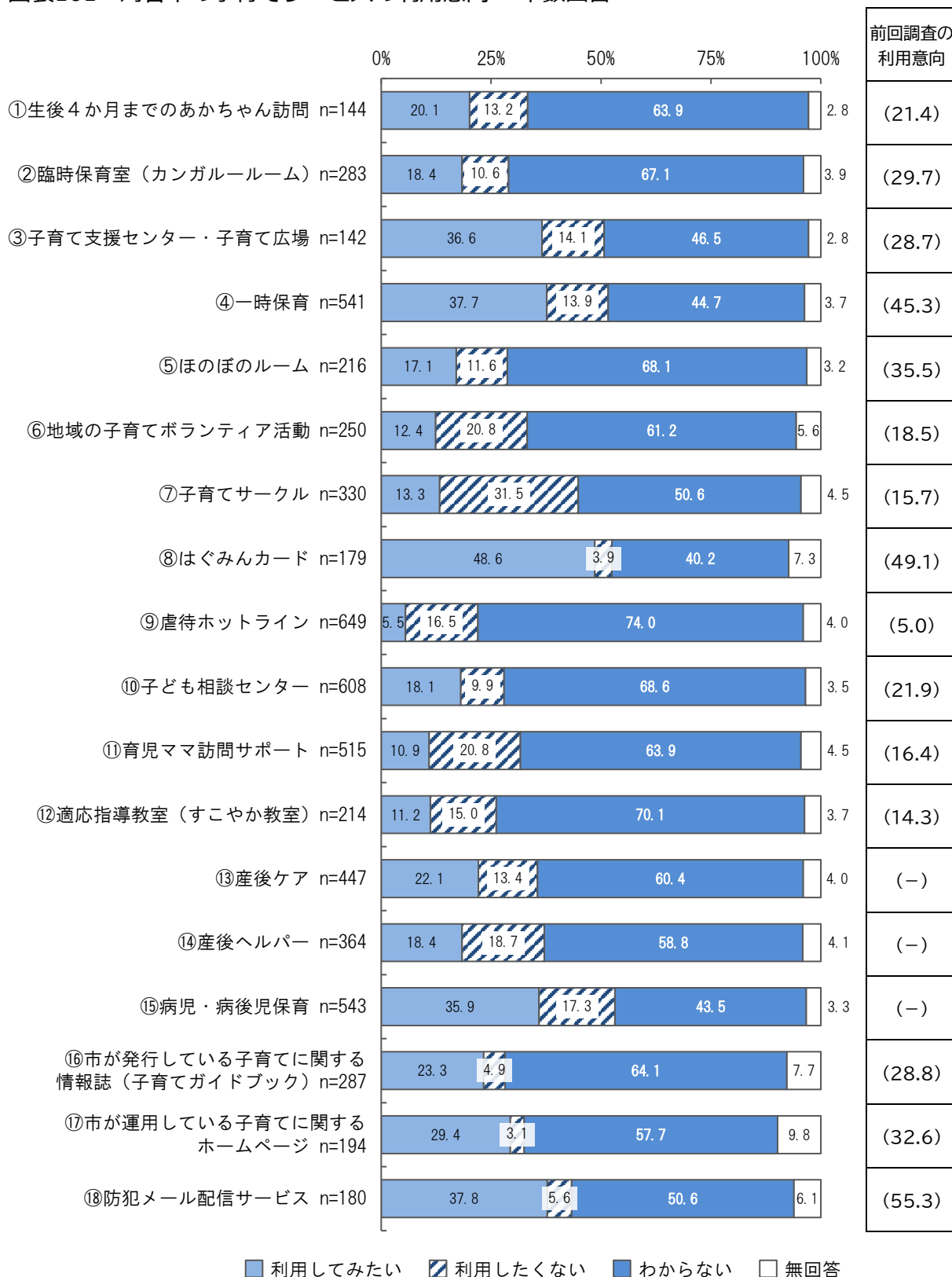
図表100 刈谷市の子育てサービスの満足度 <単数回答>



※“満足”は「満足」と「やや満足」を合わせています。

○刈谷市の子育てサービスの利用意向をみると、「利用してみたい」は『⑧はぐみんカード』では5割弱、『③子育て支援センター・子育て広場』、『④一時保育』、『⑮病児・病後児保育』、『⑱防犯メール配信サービス』では3割台となっています。

図表101 刈谷市の子育てサービスの利用意向 <単数回答>



(3) 刈谷市の子育てに関連する分野の満足度

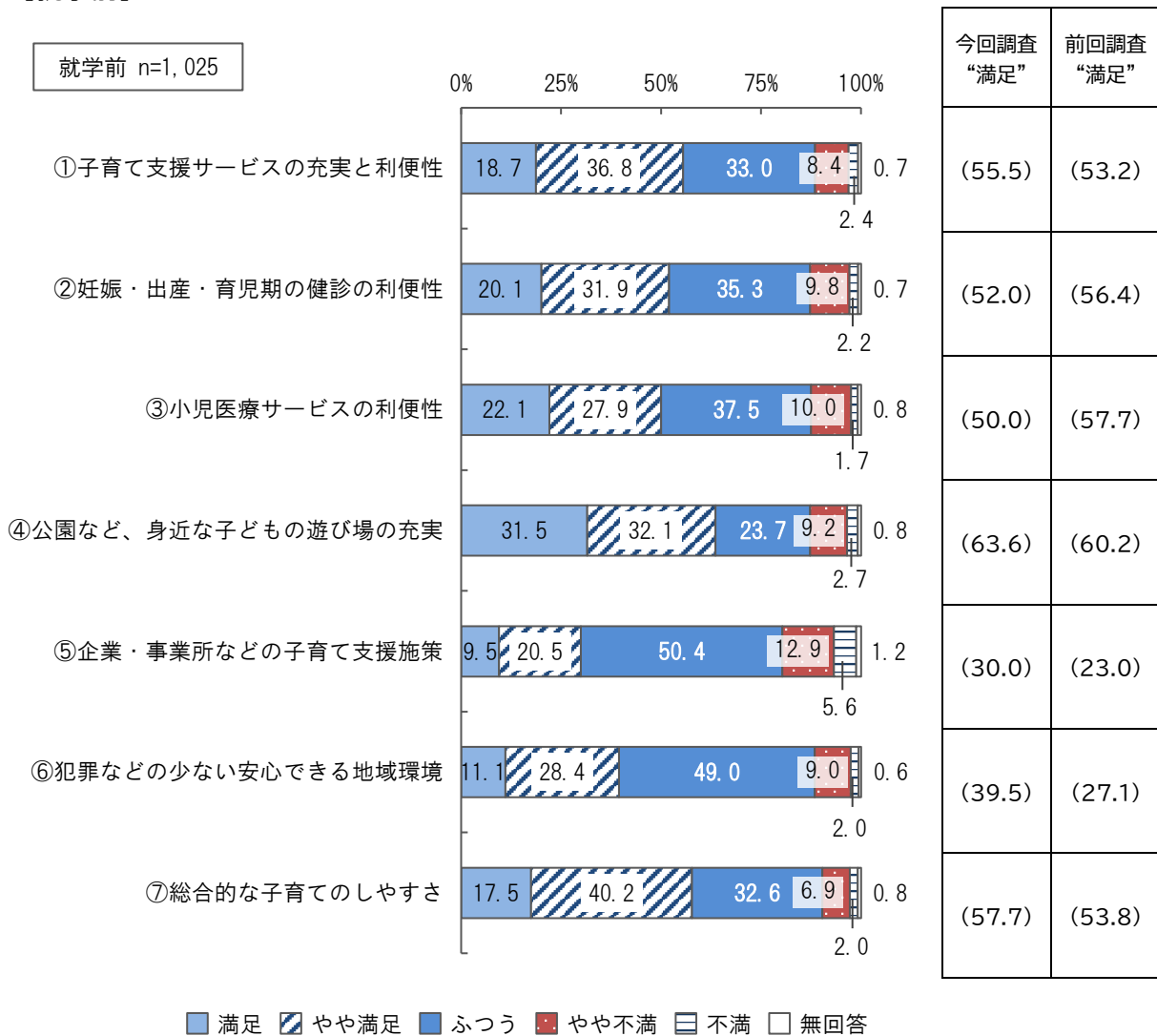
問 あなたは、刈谷市における下記①～⑦の分野についてどのように感じていますか。

【就学前：問32、小学生：問21】

○刈谷市の子育て関連分野別の満足度をみると、“満足”（「満足」＋「やや満足」）は、就学前では『④公園など、身近な子どもの遊び場の充実』で6割を超え高く、『⑦総合的な子育てのしやすさ』も6割弱と高くなっています。  
また、7項目中5項目で“満足”が前回調査を上回っています。

図表102 刈谷市の子育てに関連する分野の満足度 <単数回答>

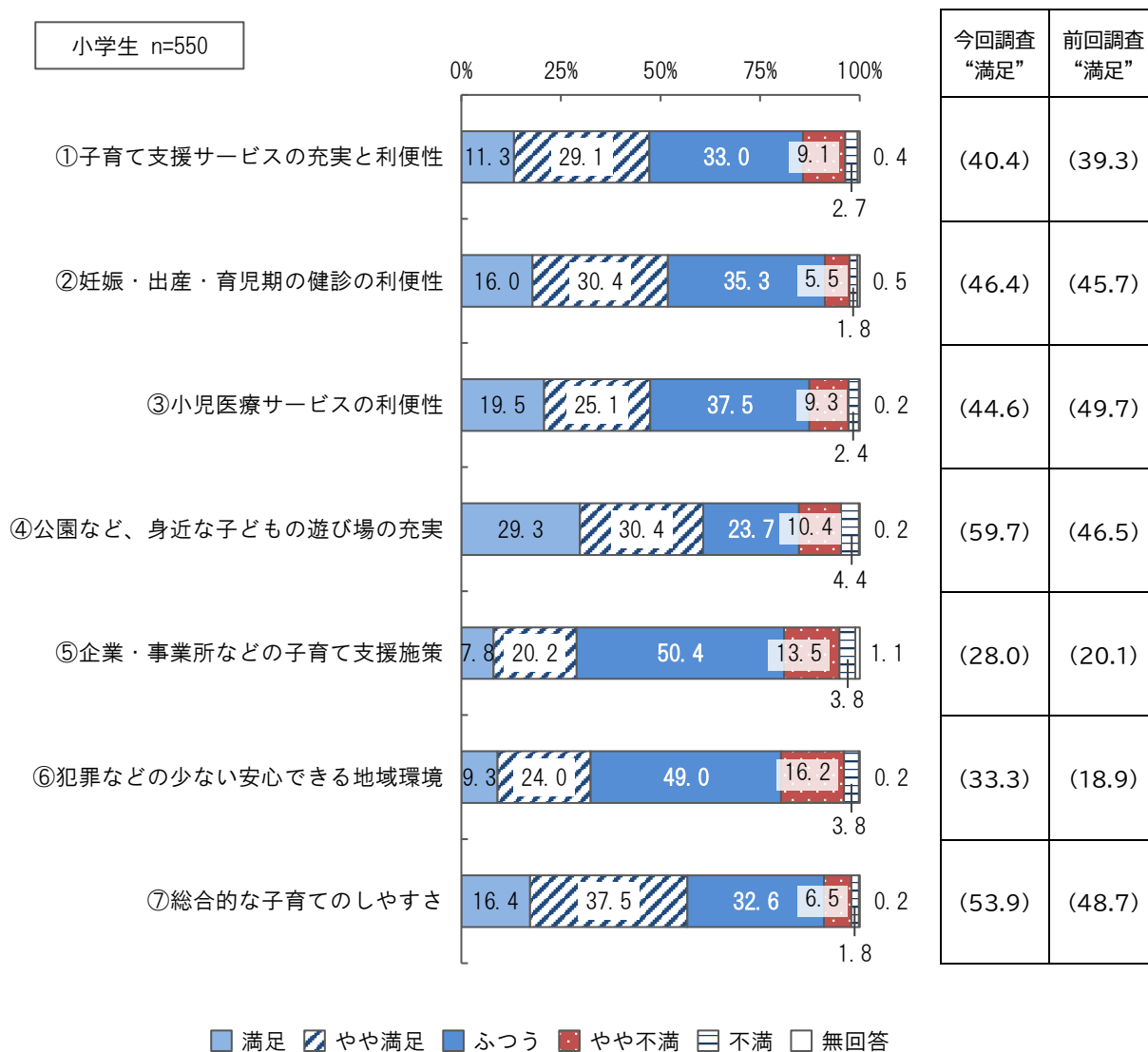
【就学前】



○小学生では、『④公園など、身近な子どもの遊び場の充実』で約6割と高く、『⑦総合的な子育てのしやすさ』も5割強と高くなっています。

また、「③小児医療サービスの利便性」以外の分野では“満足”が前回調査を上回っています。

【小学生】



## 13 子育て全般について

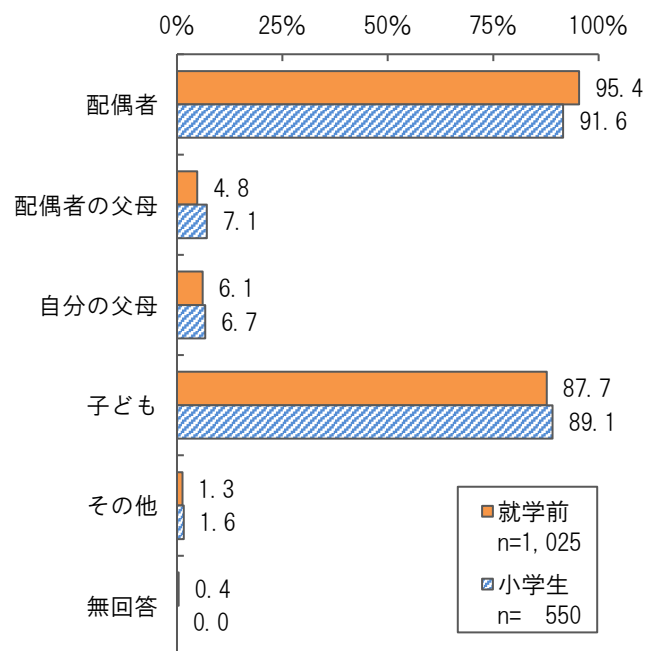
### (1) 同居者の状況

問 あなたと一緒に住んでいる方はどなたですか。

【就学前：問33、小学生：問22】

○同居者は、就学前・小学生ともに「配偶者」（95.4%・91.6%）が最も高く、次いで「子ども」（87.7%・89.1%）となっています。

図表103 一緒に住んでいる方 <複数回答>



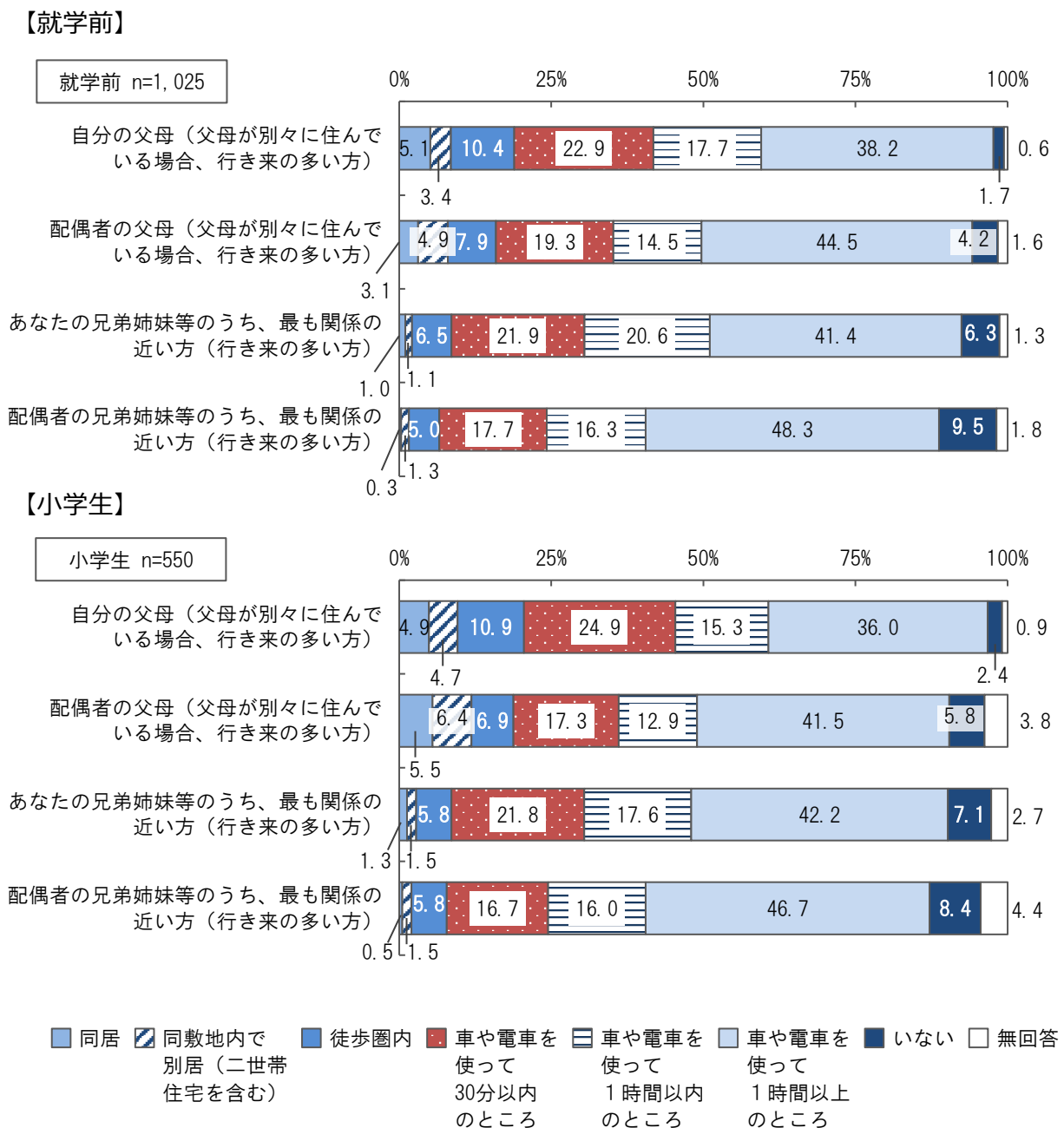
(2) 親族との関係

問 次の親族の方は、現在、どちらに住んでいますか。

【就学前：問34、小学生：問23】

- 親族との状況をみると、就学前では“近距離”（「同居」+「同敷地内で別居（二世帯住宅を含む）」+「徒歩圏内」+「車や電車を使って30分以内のところ」）に『自分の父母』がいる方は41.8%、『配偶者の父母』がいる方は35.2%となっています。
- 小学生では、“近距離”に『自分の父母』がいる方は45.4%、『配偶者の父母』がいる方は36.1%となっています。

図104 親族との地理的距離 <単数回答>



## (3) 子育ての楽しさの程度

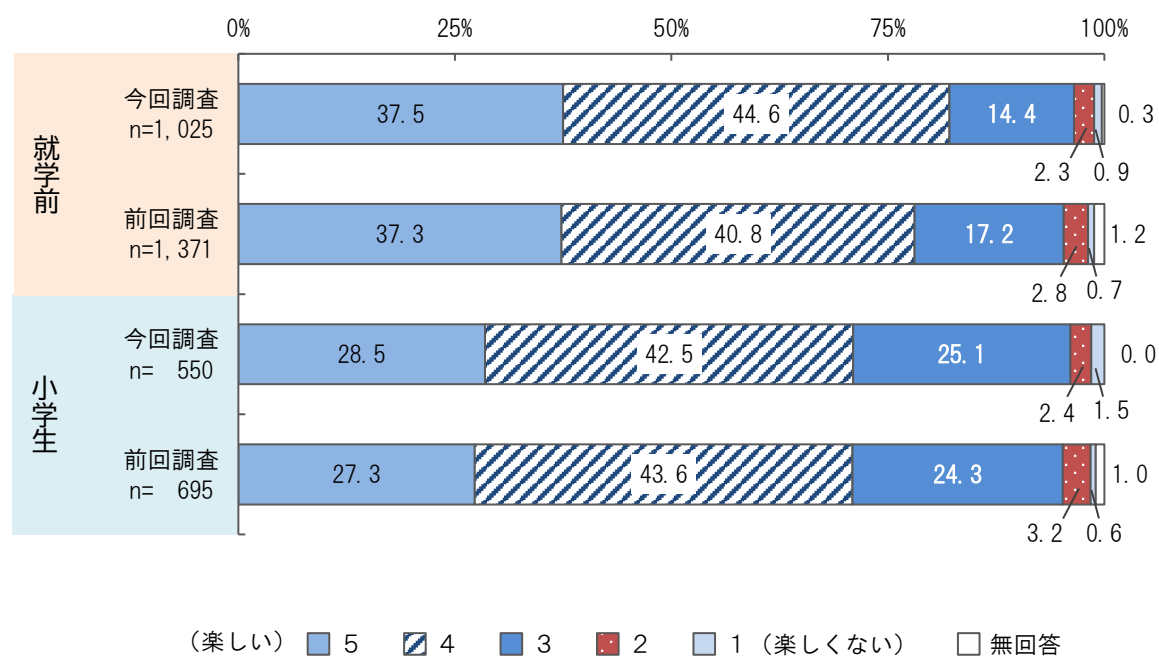
問 あなたは、自身の子育てについての楽しさの程度はどのように感じていますか。

【就学前：問35、小学生：問24】

○子育ての楽しさの程度は、就学前・小学生ともに「4点」（44.6%・42.5%）が最も高く、次いで「5点」（37.5%・28.5%）となり、楽しいと感じている割合が高くなっています。

○前回調査と比較すると、“楽しい”（「5点」+「4点」）は就学前では4.0ポイント増加し、小学生では0.1ポイントと微増しています。

図表105 子育ての楽しさの程度 <単数回答> ※前回調査比較





## (4) 子育てのつらさの程度

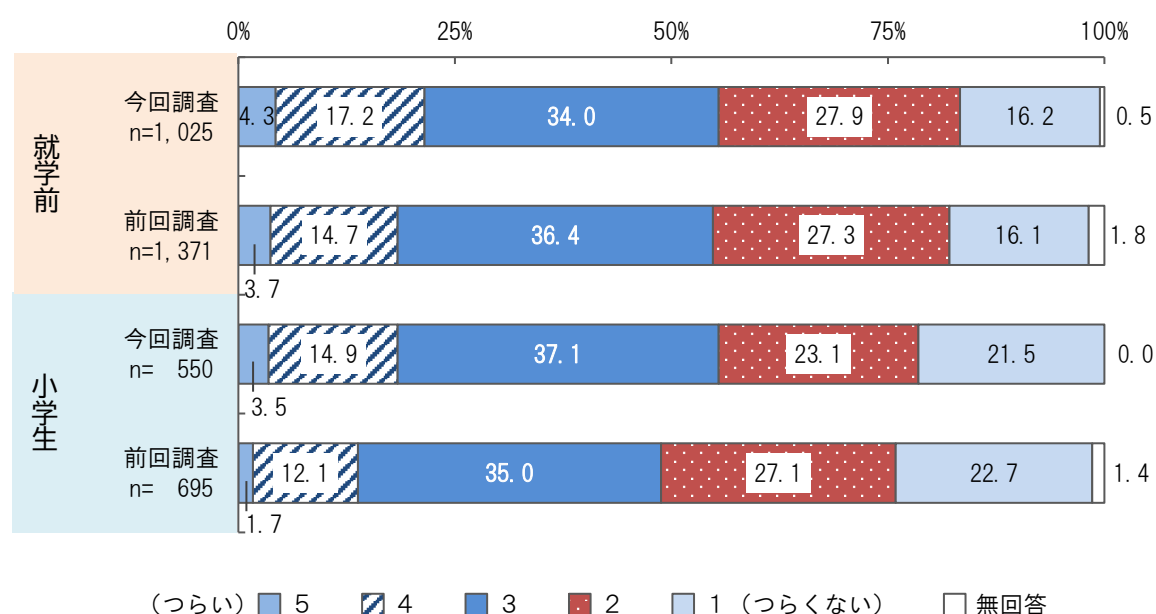
問 あなたは、自身の子育てについてのつらさの程度はどのように感じていますか。

【就学前：問36、小学生：問25】

○子育てのつらさの程度は、就学前・小学生ともに「3点」（34.0%・37.1%）が最も高く、次いで「2点」（27.9%・23.1%）となっています。

○前回調査と比較すると、“つらい”（「5点」+「4点」）は就学前では3.1ポイント、小学生では4.6ポイント増加しています。

図表106 子育てのつらさの程度 <単数回答>※前回調査比較



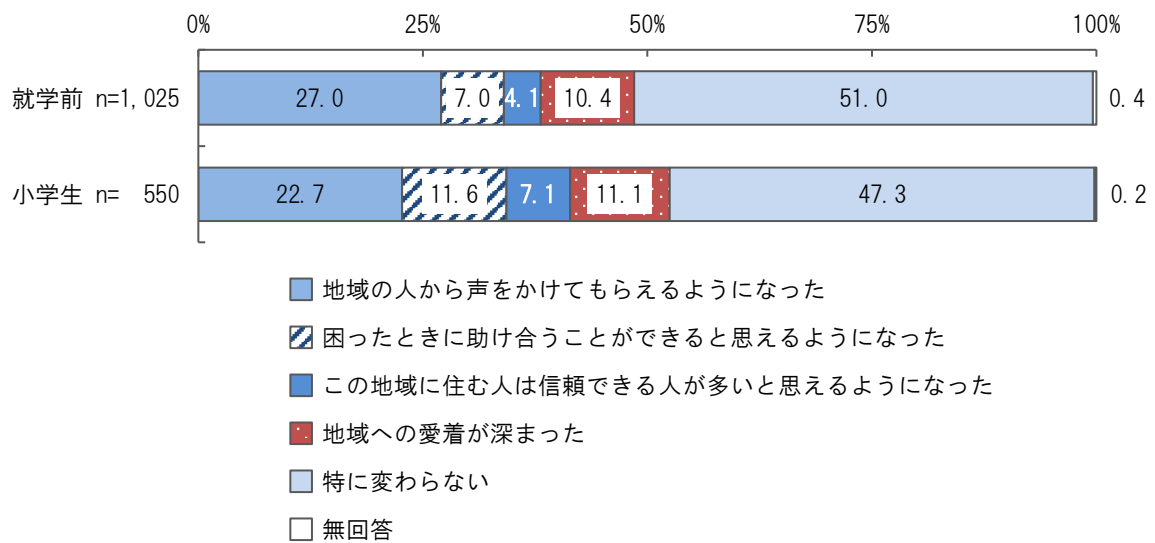
## (5) 子育て支援にかかる地域の状況

問 あなたは、子どもが生まれてからの子育て支援にかかる地域の状況についてどのように感じていますか。

【就学前：問37、小学生：問26】

○子育て支援にかかる地域の状況をみると、就学前・小学生ともに「特に変わらない」(51.0%・47.3%)が最も高く、次いで「地域の人から声をかけてもらえるようになった」(27.0%・22.7%)となっています。

図表107 子育て支援にかかる地域の状況 <単数回答>



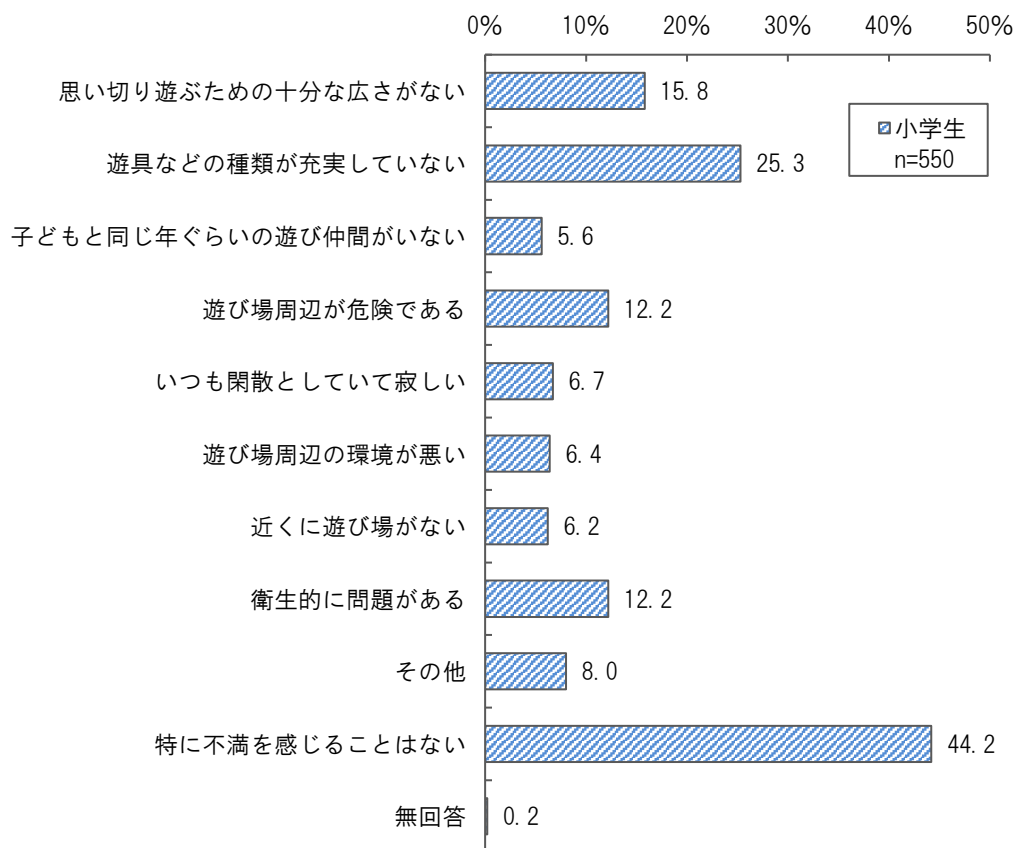
## (6) 刈谷市の子どもの遊び場について不満に感じること

問 あなたは、刈谷市の地域の子どもの遊び場について日ごろから不満を感じていることはありますか。

【小学生：問27】

○刈谷市の子どもの遊び場について不満を感じることをみると、「特に不満を感じることはない」が44.2%と最も高いものの、「遊具などの種類が充実していない」（25.3%）は2割強が不満を感じていると回答しています。

図表108 刈谷市の子どもの遊び場について不満に感じること <複数回答>



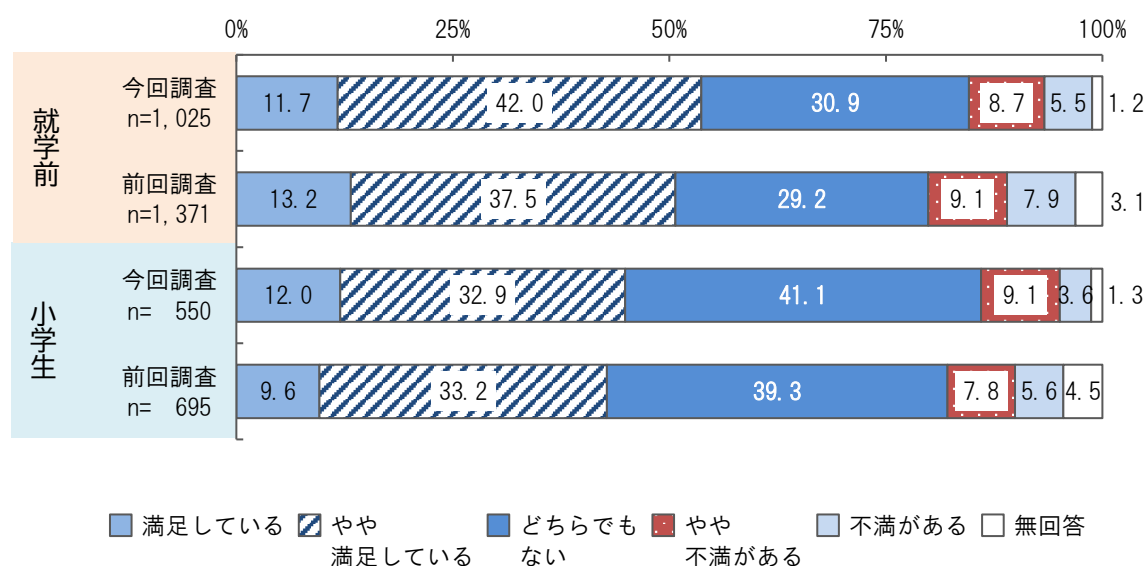
## (7) 刈谷市の子育て施策の満足度

問 あなたは、刈谷市の子育て施策についてどのように感じていますか。

【就学前：問38、小学生：問28】

- 刈谷市の子育て施策の満足度をみると、“満足している”（「満足している」＋「やや満足している」）は、就学前では53.7%、小学生では44.9%となっています  
一方、“不満がある”（「やや不満がある」＋「不満がある」）は、就学前では14.2%、小学生では12.7%となっています。
- 前回調査と比較すると、“満足している”は就学前では3.0ポイント、小学生では2.1ポイント増加しています。

図表109 刈谷市の子育て施策の満足度 <単数回答> ※前回調査比較

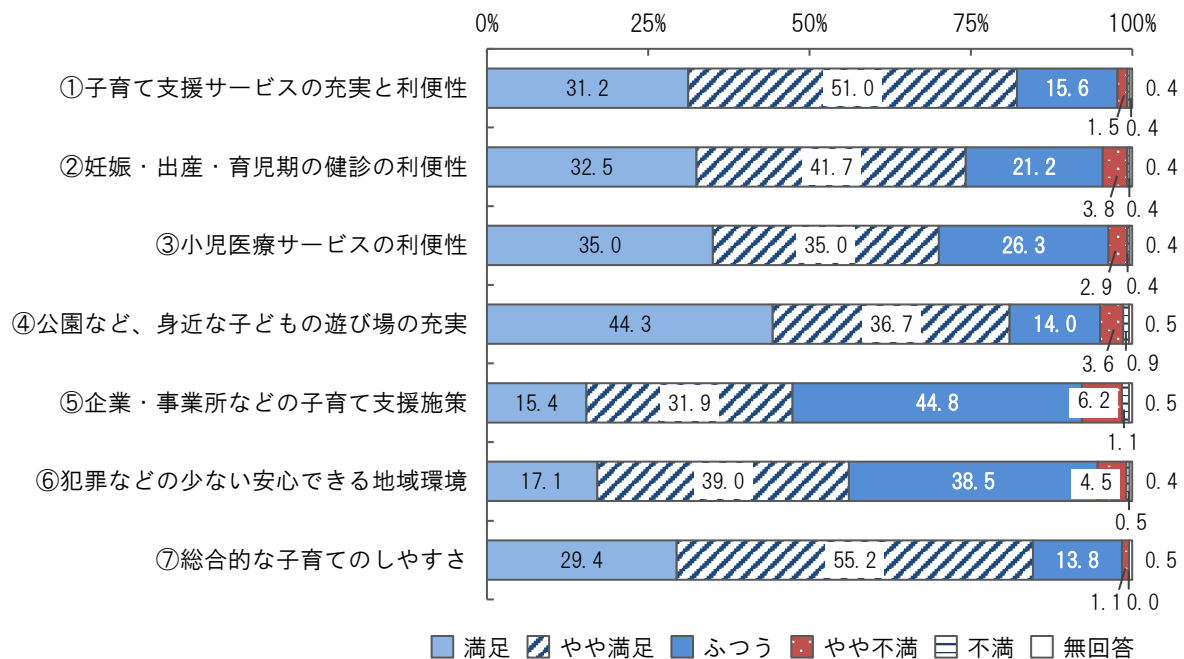


○刈谷市の子育て施策に“満足している”と回答した方の分野別の満足度をみると、『⑦総合的な子育てのしやすさ』、『④公園など、身近な子どもの遊び場の充実』に“満足”している方は就学前・小学生ともに8割以上と高く、加えて就学前では、『①子育て支援サービスの充実と利便性』も8割以上と高くなっています。

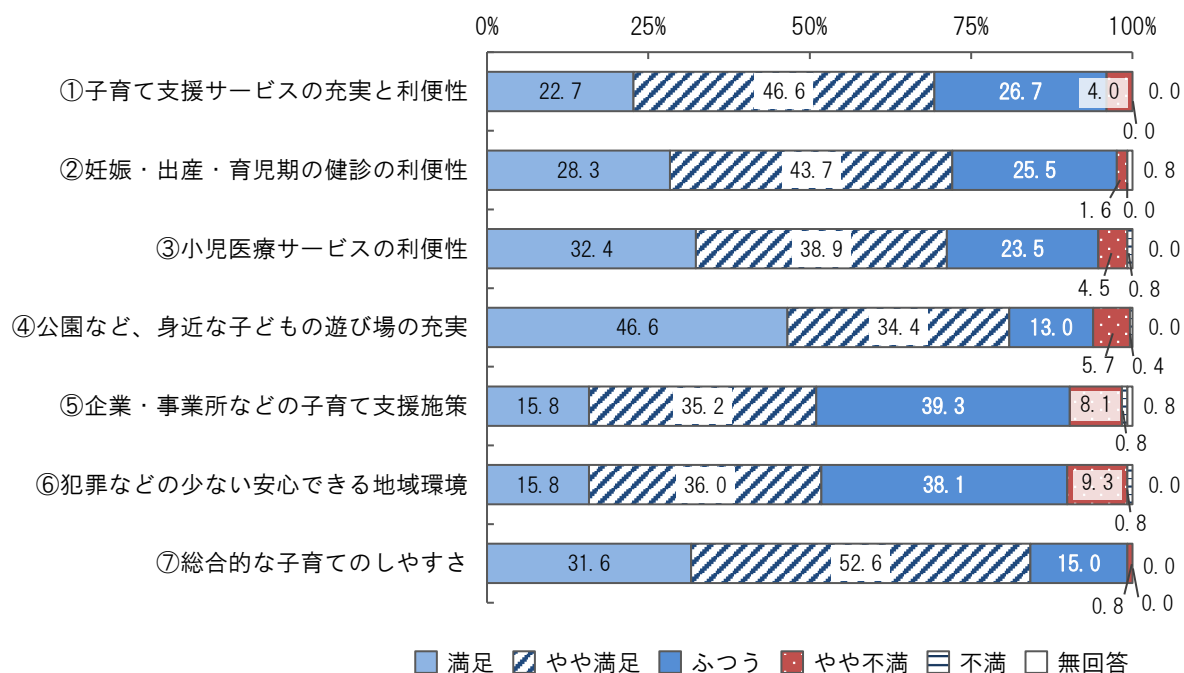
一方、『⑤企業・事業所などの子育て支援施策』、『⑥犯罪などの少ない安心できる地域環境』に“満足”している方は就学前・小学生ともに5割前後と他分野より低くなっています。

図表110 子育て施策の満足度別子育てに関連する分野の満足度

【就学前】子育て施策の満足度 “満足している” n=551



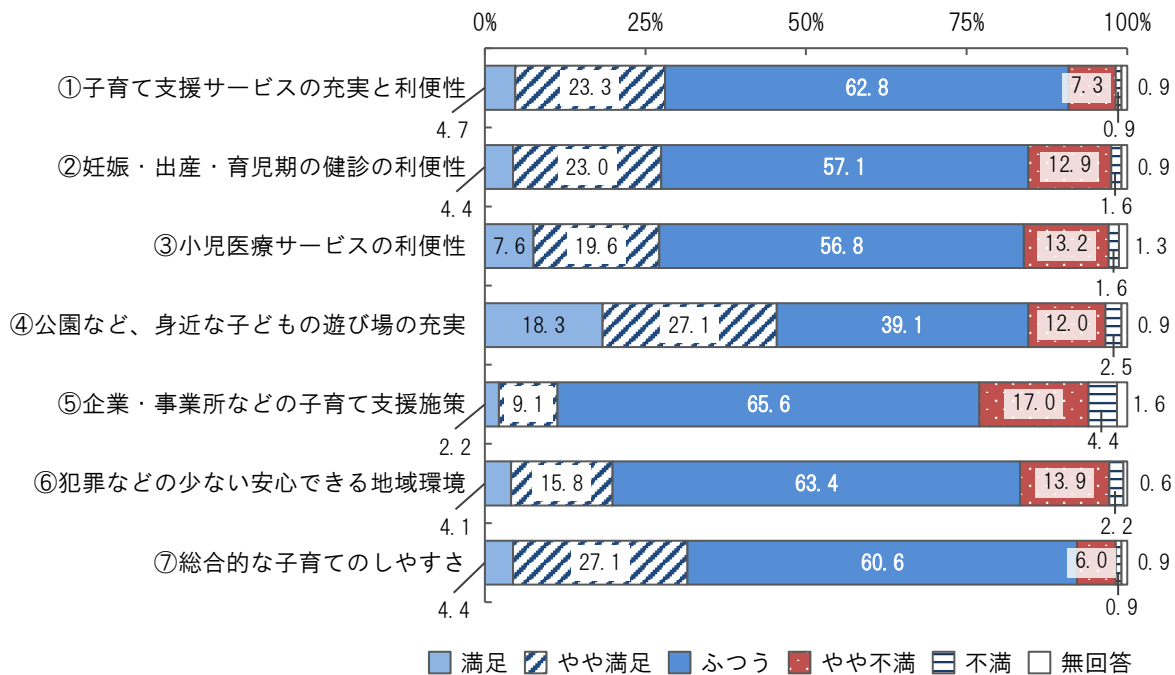
【小学生】子育て施策の満足度 “満足している” n=247



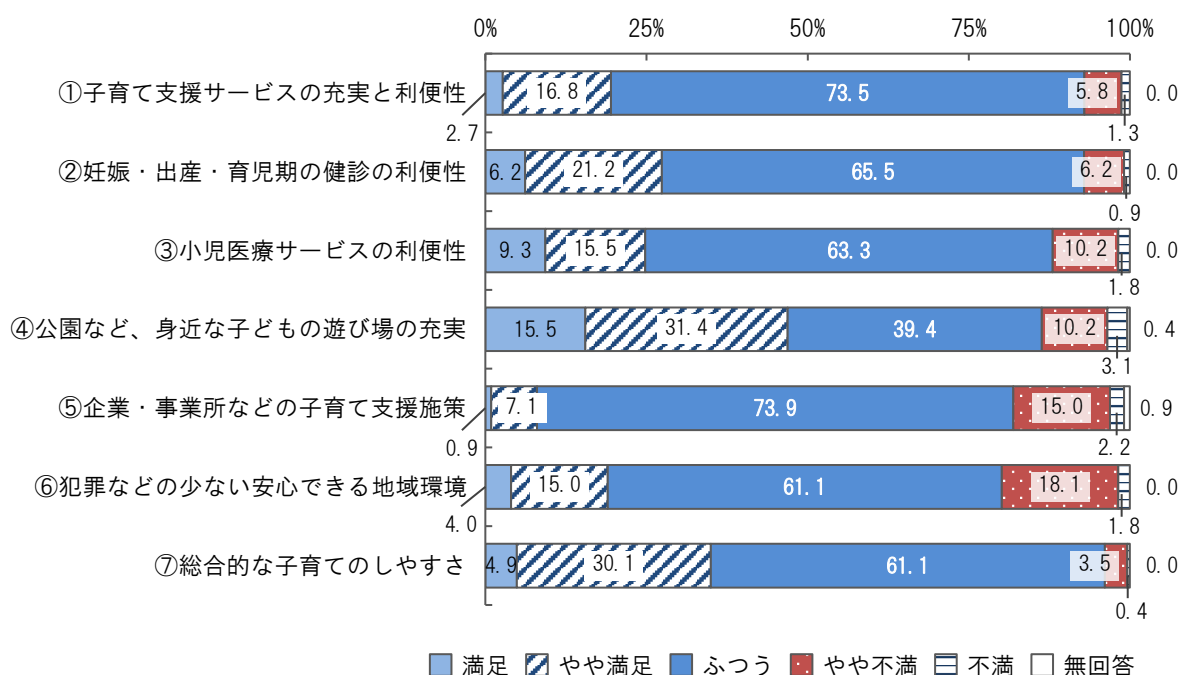
○刈谷市の子育て施策に「どちらでもない」（満足もしていないが不満もない方）と回答した方の分野別の満足度をみると、就学前・小学生ともにすべての分野で「ふつう」が最も高くなっているものの、『④公園など、身近な子どもの遊び場の充実』では就学前・小学生ともに“満足”が5割弱と他の分野より高くなっています。

また、『⑤企業・事業所などの子育て支援施策』では就学前・小学生ともに“不満”が“満足”の割合を上回っています。加えて、小学生では『⑥犯罪などの少ない安心できる地域環境』も“不満”が“満足”の割合を上回っています。

【就学前】子育て施策の満足度 「どちらでもない」 n=317



【小学生】子育て施策の満足度 「どちらでもない」 n=226

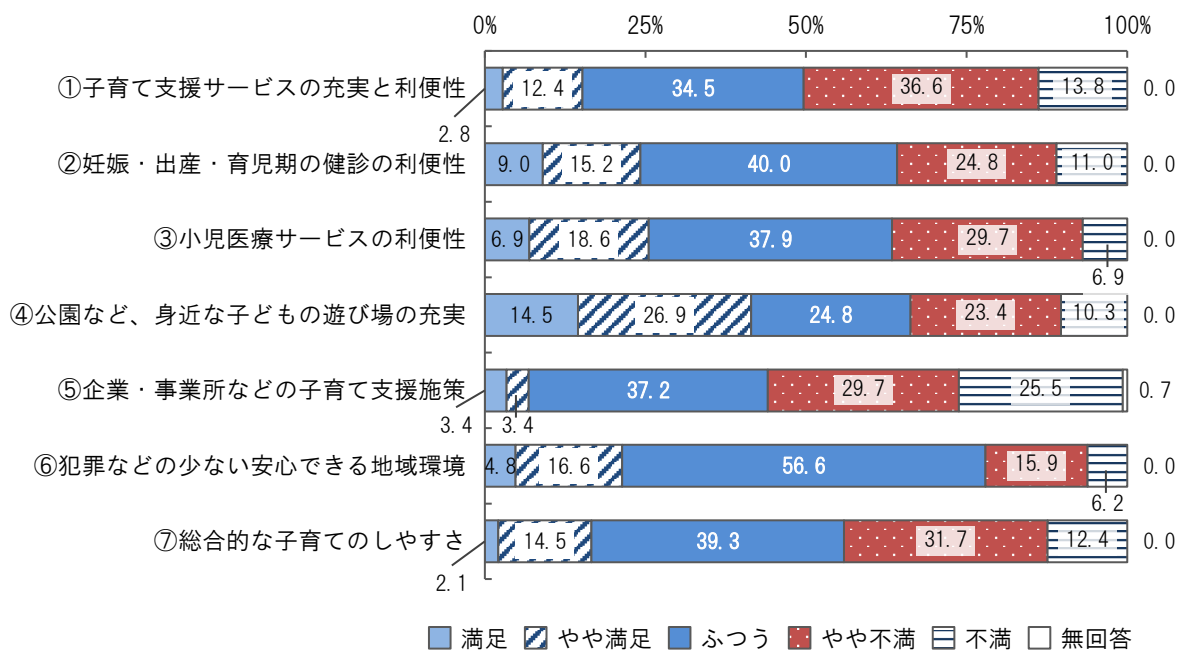


○刈谷市の子育て施策に“不満がある”と回答した方の分野別の満足度をみると、就学前では『④公園など、身近な子どもの遊び場の充実』を除く全ての分野で、小学生は全ての分野で“不満”が“満足”の割合を上回っています。

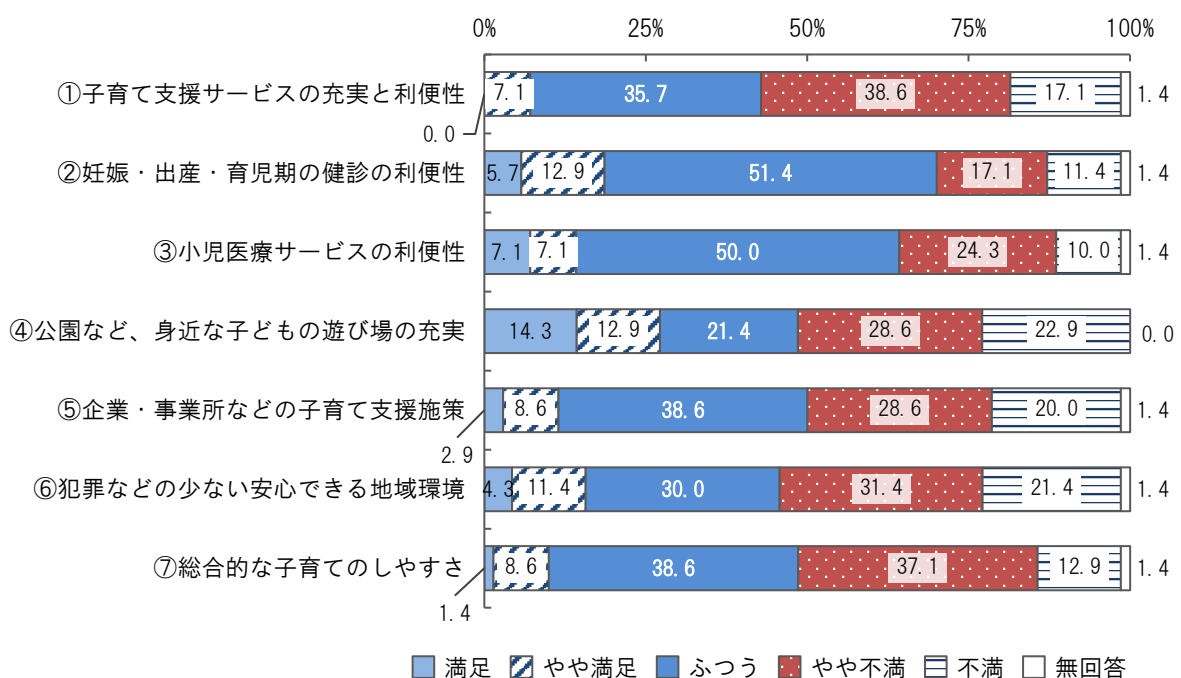
また、就学前では、『①子育て支援サービスの充実と利便性』、『⑤企業・事業所などの子育て支援施策』で5割以上が“不満”と回答しています。

小学生では『①子育て支援サービスの充実と利便性』、『④公園など、身近な子どもの遊び場の充実』、『⑥犯罪などの少ない安心できる地域環境』、『⑦総合的な子育てのしやすさ』で5割以上が“不満”と回答しています。

【就学前】子育て施策の満足度 “不満がある” n=145



【小学生】子育て施策の満足度 “不満がある” n=145



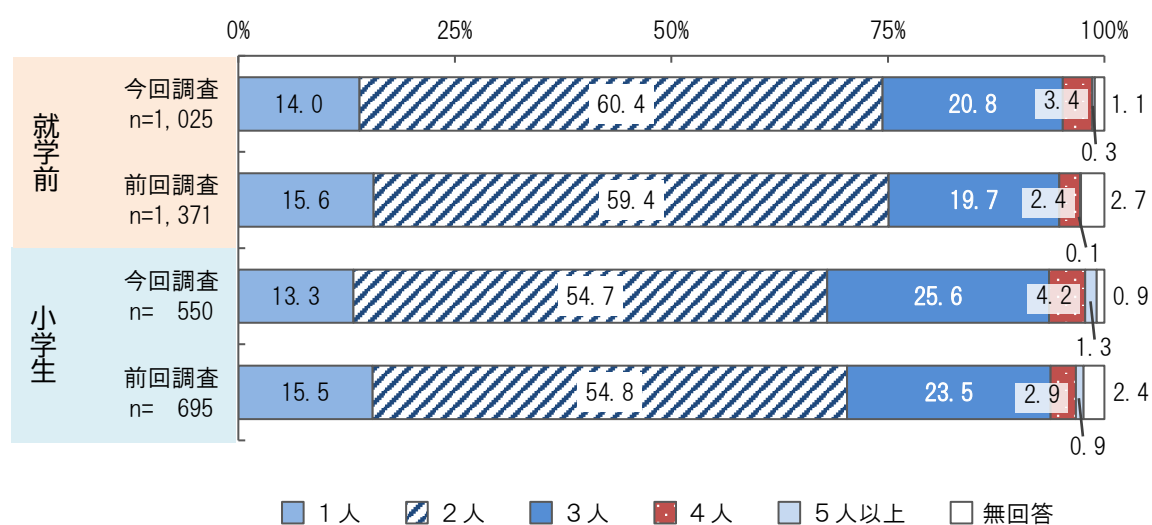
## (8) 実際に持つ予定の子どもの数

問 あなたは、実際に何人の子どもの持つ予定ですか。

【就学前：問39、小学生：問29】

- 実際に持つ予定の子どもの数は、就学前・小学生ともに「2人」(60.4%・54.7%)が最も高く、次いで「3人」(20.8%・25.6%)となっています。
- 前回調査と比較すると、3人以上を予定している方は、就学前では2.3ポイント、小学生では3.8ポイント増加しています。

図表111 実際に持つ予定の子どもの数 <単数回答> ※前回調査比較





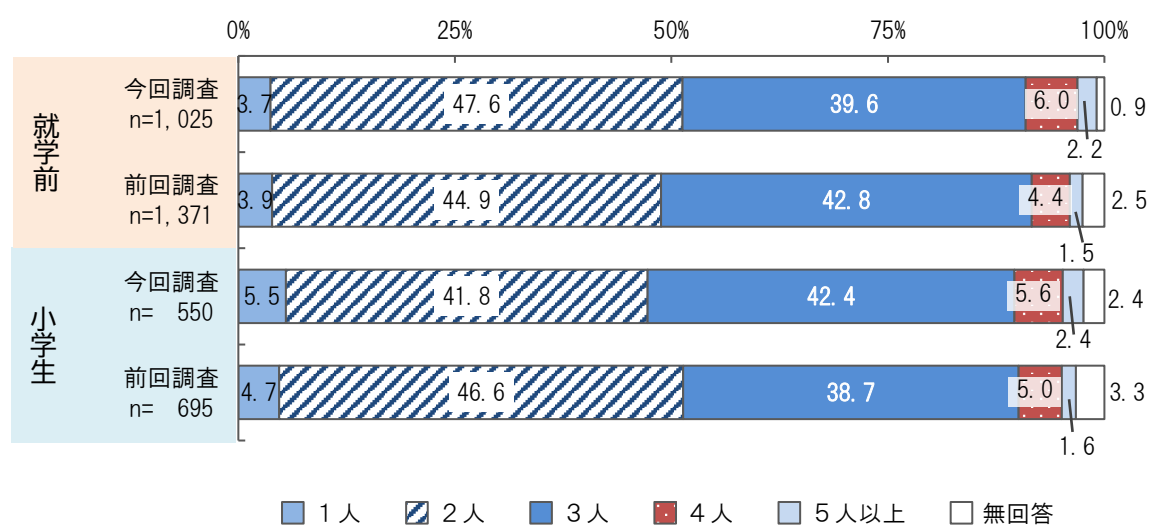
## (9) 理想として持ちたい子どもの数

問 あなたは、理想として何人の子どもを持ちたいと考えますか。

【就学前：問40、小学生：問30】

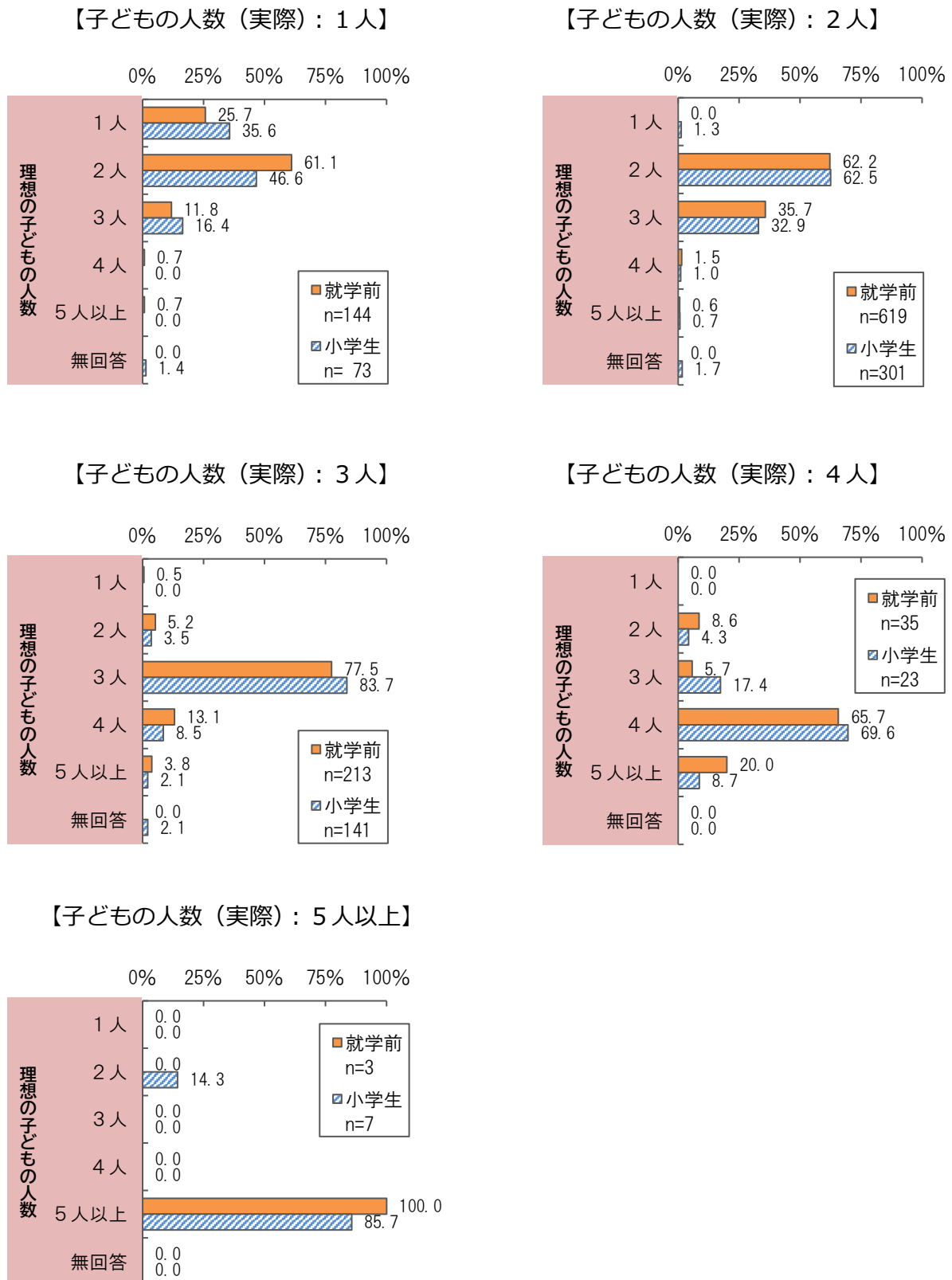
- 理想として持ちたい子どもの数は、就学前では「2人」が47.6%と最も高く、小学生では「3人」が42.4%と最も高くなっています。
- 前回調査と比較すると、3人以上を理想としている方は、就学前では微減し、小学生では5.1ポイント増加しています。

図表112 理想として持ちたい子どもの数 <単数回答>※前回調査比較



○実際に持つ予定の子どもの数と理想として持ちたい子どもの数との比較をみると、実際の子どもの持つ予定が「1人」と回答した方の理想の子どもの数は、就学前・小学生ともに「2人」（61.1%・46.6%）が最も高く、予定と理想の間に乖離がみられます。

図表113 実際の子どもの持つ予定別理想として持ちたい子どもの数



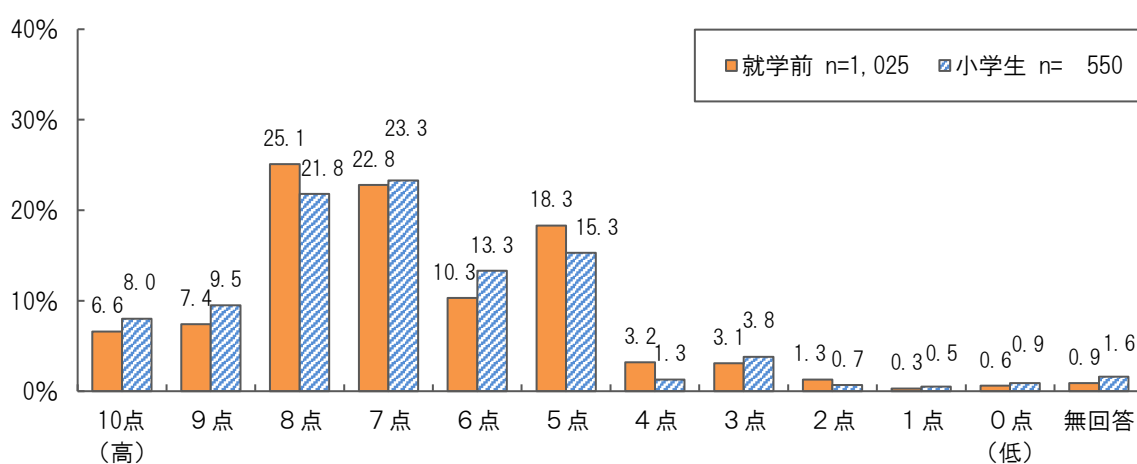
(10) 市外在住の友人・知人に対する刈谷市のおすすめの程度

問 あなたが、刈谷市外に住む友人や知人等へ刈谷市をおすすめするとしたら、おすすめ程度はどのように感じていますか。

【就学前：問41、小学生：問31】

○市外在住の友人・知人に対する刈谷市のおすすめの程度をみると、就学前では「8点」(25.1%)、小学生では「7点」(23.3%)が最も高くなっています。  
また、就学前・小学生ともに“おすすめ度7点以上(おすすめである)”(「10点」+「9点」+「8点」+「7点」)は6割以上と高くなっています。

図表114 市外在住の友人・知人に対する刈谷市のおすすめの程度 <単数回答>



図表115 子育て施策の満足度別市外在住の友人・知人に対する刈谷市のおすすめの程度

単位：人・%

	調査数	刈谷市外に住む友人や知人等への刈谷市をおすすめ度											
		10点	9点	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点	0点	無回答
調査数(就学前)	1,025	6.6	7.4	22.8	10.3	18.3	3.2	3.1	25.1	1.3	0.3	0.6	0.9
刈谷市の子育て 施策の満足度	“満足している”	551	11.4	12.3	27.4	7.6	5.4	0.5	0.4	34.8	0.0	0.0	0.0
	“どちらでもない”	317	1.3	1.6	20.8	13.9	36.9	3.5	5.0	15.5	1.3	0.3	0.0
	“不満がある”	145	0.7	1.4	11.7	13.8	26.9	12.4	9.7	11.0	6.2	1.4	4.1
調査数(小学生)	550	8.0	9.5	21.8	23.3	13.3	15.3	1.3	3.8	0.7	0.5	0.9	1.6
刈谷市の子育て 施策の満足度	“満足している”	247	15.8	16.2	32.8	20.6	6.9	4.5	0.4	1.2	0.0	0.0	1.6
	“どちらでもない”	226	1.3	4.9	15.0	29.2	19.0	21.7	0.9	4.4	0.4	0.0	0.9
	“不満がある”	70	1.4	1.4	5.7	11.4	15.7	34.3	5.7	11.4	4.3	4.3	0.0

※最も高い箇所に網掛けをしています。

## 第3章 自由意見

### 1 就学前児童保護者

問12 子育てや教育をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。		
自由回答分類	内容	件数
教育・保育事業全般	気軽に預けられる場所の充実（病院・買い物時等）	48
	緊急時の預かり等の支援（夜間含む）	18
	必要な時にすぐに預けられる支援	6
	教育・保育施設の充実・拡充	6
	身近な場所での保育・教育施設の整備	1
	安心して子どもを預けられる施設（人）の整備	1
保育	病児・病後児保育の充実	21
	保育園の充実・拡充	15
	土日祝・夜間保育の実施	10
	一時預かりの充実・拡充	8
	病児・病後児保育の利用しにくさの解消	5
	休中の保育の拡充	4
	待機児童の解消	4
	障がい児保育の充実	1
幼稚園	勉強など教育の充実	1
子育て支援センター、 児童館、ファミリー・サポート・センター等	子育て支援センターの充実・拡充	9
	児童館の充実・拡充	3
	ファミリー・サポート・センターの充実	2
乳幼児健診	乳幼児健診の拡充	4
	健診場所・時間帯の拡充	2
	訪問健診の充実	2
保護者支援全般	家事・育児支援	16
	幼稚園・保育園・習い事などへの送迎支援	16
	レスパイト支援	3
	気軽に頼れる環境づくり	3
	産前産後の支援の充実	3
	保護者への精神的サポート・話し相手等	2
	周囲からの見守り支援	2
	保護者同士の交流、仲間づくり支援	1

自由回答分類	内 容	件 数
相談支援	気軽に相談できる場、環境の整備	24
	電話相談、ネット・ライン・メール相談等の充実	11
	行政による定期的な面談等、相談機会の創出	10
	子育て・教育に関する相談支援	8
	専門家や経験者からのアドバイス	4
	訪問による相談支援	3
	発達に関する相談	2
	24時間対応の相談窓口	2
	相談方法の周知	1
情報提供	子育て・教育の情報提供	22
	情報提供の充実	5
	メールやアプリによる情報提供	2
	子育て・教育の情報誌・マップ等	1
地域・周囲の支援等	地域で一体となった子育ての支援	5
教育・遊び場、イベント等	情報交換や交流ができる場の確保	16
	公園や遊び場（室内含む）の充実	9
	子どもが集まる機会・イベントの充実	4
	幼児が参加できるイベント	2
仕事と子育ての両立	仕事と子育てが両立できる環境	4
	父親の子育て参加に向けた支援	1
手当等	経済的支援・手当の拡充	16
	教育費（習い事含む）の支援	5
	保育料の無償化	2
	おむつ券などクーポン券の拡充	2
その他	小学生以上への支援の充実	7
	療育・障害児支援の充実	6
	市役所の対応に対する不満	5
	支援満足している、感謝等	5
	子育て環境の整備	3
	支援のあり方	3
	医療機関の充実	2

問42 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、自由にご記入ください。		
自由回答分類	内 容	件 数
保育園	預ける条件の見直し・拡大	32
	育休中の退園制度の見直し・廃止	19
	施設数・定員数の拡大	17
	待機児童の解消	13
	保育士の待遇の改善・配置人数の充実	11
	休日保育の拡大	9
	きょうだいで同じ園に入れてほしい	4
	利用時間の延長・拡大	3
	早めの入所可否の連絡	3
	園ごとの保育内容（時間）の違いへの不満	3
	保育料の軽減	2
	保育内容の充実（保育時間内の習い事など）	2
	申請書等の簡略化	2
	設備の改善	1
	乳児園になったことへの不満	1
幼稚園（認定こども園）	預かり保育の充実（預ける条件の緩和・利用時間の拡大）	7
	送迎（車・バス利用希望）	6
	駐車場の設置・駐輪場の整備	5
	利用時間の延長・拡大	5
	教育の充実	3
	園庭開放の希望	3
	休日保育	2
	行事の開催日等の配慮	2
	アレルギー児への対応	1
	学区内の園に入園希望	1
	施設の改善	1
	園への不満	1
	防犯等の安全対策	1
	幼稚園	私立幼稚園の増設希望
送迎方法限定への不満		3
満3歳児クラスの希望		2
駐車場の整備		1
教育の充実		1
満足している・感謝		1

自由回答分類	内 容	件 数
病児・病後児保育	施設の増加	7
	利用時間の延長・拡大	6
	利用がしにくい	4
	利用料の軽減	1
一時保育	利用枠の拡充（空きがない）	18
	利用のしやすさ（手続等の改善）	4
	一時保育の質の向上	1
	訪問保育の希望	1
	抽選の公平性（当選回数が不平等）	1
	利用料の軽減	1
認可外保育施設	保育料の軽減	2
こども誰でも通園制度(仮称)	利用希望	2
	既存の施設の負担を懸念	1
子育て支援センター	利用対象の拡大	7
	職員の対応に対する不満	4
	満足している・感謝	4
	設備・環境の改善	2
	講座・イベントの充実	1
	飲食スペースの確保	1
ファミリー・サポート ・センター	利用方法の改善	3
	サービスの質の向上	1
	利用料が高い	1
	利用料の助成	1
放課後児童クラブ	給食・夕食・おやつを提供	9
	利用条件の見直し・拡大	7
	サービスの質の向上	2
放課後子ども教室	利用日の拡大	1
小学校	制服の廃止・着用ルールの見直し	4
	教育等学校生活の充実	3
	設備の充実	3
	給食の充実	3
	教職員等の配置の充実	2
	タブレット学習（目が悪くなる）	1
	小学校の新設・学区の変更	1
	P T A 活動の見直し	1
	子ども会（勧誘してほしかった）	1

自由回答分類	内 容	件 数
学童保育	お弁当の提供	6
	定員の拡大	3
	サービスの質の均一化、向上	3
	利用条件の見直し・拡大	1
	指導員の増員	1
	利用前の情報提供	1
部活動	活動の継続・充実	2
公園・遊び場	遊具の整備・設備の充実	22
	全天候型の遊べる施設希望	18
	公園のトイレの整備	7
	遊び場の充実	6
	新しい公園の整備	5
	公園の安全面の確保	3
	公園に満足・感謝	2
	駐車場の整備	1
	親子で楽しめる施設の設置	1
児童館	施設の設置・充実	2
	設備の充実	2
	職員の対応の改善	1
	充実した施設なので周知してほしい	1
	満足している・感謝	1
図書館	設備の充実	3
	利用方法の改善	2
	施設によって充実度が違う	1
	満足している・感謝	1
乳幼児健診	内容の充実（不満含む）	7
	実施日・時間の配慮・工夫	5
	実施場所の増加	3
	実施回数の拡大	2
障害児	障害児に対する支援の充実	4
	療育の充実	2
	保護者のケア	2
	早期発見・早期療育できる仕組みの充実	1
相談支援	気軽に相談できる場、環境の整備	6
	24時間対応の相談	1
	訪問相談の充実	1
情報提供	分かりやすい情報提	9
	子育て情報の充実	8



自由回答分類	内 容	件 数
助成・経済的支援	オムツ券等の子育て支援クーポンの拡充	12
	子育て家庭に対する経済的支援	12
	医療費助成の継続・拡充	7
	高校・大学までの継続的な支援の充実	5
	子ども手当の所得制限撤廃	4
	子どもが多い家庭に対する経済的支援	3
	予防接種の助成	3
	ひとり親家庭の支援	2
	継続的な支援	1
無償化	保育料の無償化	6
	高校・大学までの学費の無償化	6
	給食費の無償化	3
交通機関	公共交通機関（バス）の充実	6
	車がないと不便	2
	「かりまる」の充実	1
道路等の整備	交通安全対策	7
	道路・街灯の整備	3
地域の環境整備	商業施設が少ない（欲しい）	7
	子どもと行ける飲食店の充実	4
	北部地域の利便性の向上	3
	防犯対策	1
医療機関	医療機関の充実（近隣に小児科がない等）	6
出産	陣痛タクシーの導入	6
	不妊治療に対する補助	4
	産後サポートの拡大	3
	出産祝い金制度の導入	3
	妊娠中のサポートの充実	1
	妊娠中の妊婦検診の無料化	1
	産院が少ない	1
習い事	送迎支援	5
	費用の助成	4
	保育・教育施設等との連携	2
	情報提供	1
仕事と子育ての両立	育児をしながら働ける環境の整備	15
	職場の理解	5
	父親の育児参加の支援	3
交流・イベント	交流・イベントの充実	5
教育	教育環境の充実（英語教育の充実等）	3

自由回答分類	内 容	件 数
仕事と子育ての両立	育児をしながら働ける環境の整備	15
	職場の理解	5
	父親の育児参加の支援	3
子育て支援	子育て支援の充実	8
	安心して子どもを産み育てられる支援の充実	7
	切れ目ない支援	5
	刈谷市の子育て支援に不満	3
	多子世帯への支援	3
	子ども用品のリユース	3
	親のレスパイト支援	1
	訪問の保育サービスの充実	1
	市民館の利用促進	1
	満足している・感謝	21
	行政	書類等の手続きの簡素化・利便性の向上
子育て関連施策の充実		6
窓口・職員の対応に対する不満		4
説明等のわかりやすさ		2
県民の日対応が難しい		2
課の連携の強化		1
市役所の施設の改善		1
多様性を認めた対応の充実		1
アンケート	内容への要望	5
	意見の反映	3
	回答に時間がかかる	3
	実施方法の改善	3
	意見を出せる機会となり良かった	2
その他	その他	18

## 2 小学生児童保護者

問10 子育てや教育をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。自由にご記入ください。		
自由回答分類	内 容	件 数
放課後児童クラブ等	利用条件の緩和	4
	昼食の提供	3
	放課後児童クラブの時間延長、曜日の拡充	2
	長期休業中の預かり支援	1
放課後子ども教室	学童との併用	1
	開催日の拡大	1
病児・病後児保育	病児・病後児保育の充実	8
ファミリー・サポート・センター	ファミリー・サポート・センターの使いづらさ	1
	利用方法の周知	1
学校	学校内での習い事	3
	登下校の安全	2
	連絡のデジタル化	2
	教師との連携	2
	学校生活における教育等の支援	1
	教職員の配置人数の拡大	1
	道徳教育の充実	1
	相談対応	1
	P T Aの外注化	1
学童保育	長期休暇や休日保育の充実	2
	職員の対応への不満	1
	施設の拡大	1
相談支援	気軽に相談できる場、環境	20
	総合の相談窓口	3
	子育て・教育に関する相談支援	2
	発達障害に対する相談	2
	子どもの心のケア	1
	乳幼児健診のような定期的な相談の場	1
	匿名での相談	1
	相談後のフォロー	1
情報提供	専門的なカウンセリング	1
	子育て（支援）情報の充実	5
	習い事等の情報提供	2
	アクセスしやすい情報提供体制	1
	ひとり親世帯への支援情報	1
	ニーズに合った情報提供	1

自由回答分類	内 容	件 数
地域・周囲の支援等	登下校時等の見守りの充実	4
	地域における交流の増加	1
	ゆるやかな地域交流	1
	防犯対策	1
教育・遊びの場、イベント等	交流の場の確保	3
	親の交流の場	3
	子どもたちが交流するイベント	2
	公園の充実	1
	全天候型の遊べる施設の充実	1
送迎等	塾や習い事への送迎	24
	緊急時のお迎え支援	1
施設	気軽に預かってくれる場所（緊急時の対応）	27
	無料の塾（勉強を教えてくれる）	9
	下校後など、子どもが集まれる場所	6
	学校での預かり	4
	遊べる場所の充実（長期休業中など）	3
	市民センターの利活用	1
	休日保育の充実	1
	その他	経済的支援
配食	2	
緊急時の対応	1	
休日診療	1	
習い事の助成	1	
自宅での保育サービス	1	
ひとり親家庭への支援	1	
不登校等への支援	1	
家事支援（高所での作業）	1	
遊び相手	1	
衣装レンタル（入学式・卒業式等）	1	

問32 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、自由にご記入ください。		
自由回答分類	内 容	件 数
保育園	預ける条件の見直し・拡大	3
	保育士の待遇改善	2
	審査時の対応改善	1
	休日保育の拡大	1
	持ち物の簡略化	1
	保育料が高い	1
	育休中の退園制度の見直し・廃止	1
	保育園が乳児園になったことへの不満	1
一時預かり	気軽に預かってもらえる施設の充実	4
	親のレスパイト目的の預かりの拡大	2
	緊急時の柔軟な対応	1
	学級閉鎖時の預かり	1
放課後児童クラブ	内容の充実	9
	昼食・おやつの提供	8
	預ける条件の緩和	7
	単発など多様な利用方法の充実	4
	利用時間延長	2
	習い事等ができる	2
	日曜日・祝日の利用拡大	1
	長期休業期間中の利用拡大	1
	お迎え不要にしてほしい	1
放課後子ども教室	放課後子ども教室の拡大	1
学童保育	昼食の提供	3
	職員の質の向上	2
	公立学童の充実	2
	民間学童利用料の助成	1
児童館	施設数・規模の拡大	2
	職員の質の向上	1
	満足・感謝	1
図書館	設備の充実	3
	利用方法の改善	1
	利用時間の拡大	1
	施設の増設	1

自由回答分類	内 容	件 数
小学校	宿題の軽減	5
	学校行事の見直し	4
	教職員の労働環境の改善	4
	部活動の充実	3
	教職員の質の向上	2
	設備・施設の充実	2
	提出書類のデジタル化	2
	体験学習の充実	2
	P T A 活動の見直し・廃止	2
	購入教材の見直し	1
	学級閉鎖時の負担	1
	きょうだい下校の実施	1
	スクールバスの導入	1
	教育方針の見直し	1
	学校教育内容の充実	1
	食育の充実	1
	体育館の自由開放	1
	小学校の新設・学区の変更	1
	制服の廃止・着用ルールの見直し	1
	アレルギー児への対応の充実	1
	タブレットの活用の充実	1
	歯みがきの習慣づけ	1
	不登校への対策	1
満足している	1	
公園・遊び場	トイレの整備	8
	設備の充実	8
	安全面の確保	4
	新しい公園の整備	4
	全天候型の遊べる施設希望	4
	ボール遊びが出来る場所の充実	2
	学童期の遊び場の充実	1
交通機関	公共交通機関の充実	6
安全・安心	登下校の安全対策	7
	道路・街灯の整備	6
	交通安全対策	6
	地域環境が悪い	1
	パトロール・声かけ等の充実	1
	防犯対策	1
	見守りが充実していて安心	1

自由回答分類	内 容	件 数
子どもの居場所	放課後等に子どもが集まれる場の確保	6
交流・イベント	講座・イベント等の充実	4
相談	気軽に相談できる場、環境の整備	2
	悩み相談の充実	1
	学校のことを相談できる窓口	1
	相談後のフォローの充実	1
情報提供	子育て支援の情報の充実	2
	習い事の情報提供	1
障害児	障害児に対する支援の充実	1
	専門人材設置の充実	1
習い事	送迎支援	3
	習い事費用の助成	2
	習い事の種類等の充実	1
	スポーツクラブの充実	1
無償化	給食費の無償化	6
	高校の無償化	4
	教育費用の無償化	3
	保育料の無償化	1
助成・経済的支援	子育て家庭に対する経済的支援	8
	医療費助成の拡大	6
	ひとり親家庭への経済的支援	2
	多子世帯への支援	1
	高校・大学までの継続的な支援の充実	1
	タクシーチケットの配布	1
	ファミサポの利用料助成	1
	子ども手当の支給条件の緩和	1
	制限されない平等な助成	1
子育て支援	病後児保育の充実	2
	条件制限のない預かり施設	2
	ひとり親家庭のサポート	2
	刈谷市の子育て支援に不満	2
	無料の塾など、勉強のサポート	1
	緊急時に預けられる場所	1
	ワンオペに対する支援の充実	1

自由回答分類	内 容	件 数
仕事と子育ての両立	育児をしながら働ける環境の整備	12
	職場の理解促進	1
小児保健・小児医療	医療機関の充実	7
	インフルエンザ等の予防接種の補助	1
	予防接種の市外での接種	1
	休日の医療機関開設	1
	医師の質の向上	1
	市外での健診受診	1
行政	子育て施策の充実	4
	職員の対応に満足・感謝	2
	ファミリー向け市営住宅の整備	1
	各種手続きの簡略化	1
	予防接種の個別通知	1
アンケート	内容への要望	5
	質問内容に対する不満	2
	回答しにくい	1
その他	産後ケアの充実	1
	学校の施策を示してほしい	1
	中学校のクラス編成	1
	私立幼稚園の増設	1
	学校（高校等）の誘致	1
	幼稚園の送迎方法制限の緩和	1
	フリースクールの充実	1
	支援に満足・感謝	1



## 子育て支援に関するアンケート調査 結果報告書

刈谷市

令和6年3月

刈谷市 次世代育成部 子育て推進課

愛知県刈谷市東陽町1丁目1番地

電話：0566-62-1061（ダイヤルイン） FAX：0566-24-3481